

HT-4558-80
HT-4558-80R
HT-4558-120
HT-4558-120A
HT-4558-150A

HITACHI
Inspire the Next

ソフトウェア&ユーティリティ ユーザーズガイド

～ PCL5 プリンタドライバ編 ～

マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・操作を行なう前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。
- ・このマニュアルはいつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

来歴表

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
00	初版－全ページ	2003年1月
01	全面改定	2003年2月
02	表紙、ii(02)～vi(02)、1-2(02)～1-4(02)、2-2(02)、2-4(02)、2-9(02)、2-14(02)～2-15(02)、2-17(02)、3-4(02)、4-2(02)、4-7(02)、4-10(02)、4-18(02)、5-26(02)、6-2(02)、6-4(02)～6-6(02)、6-8(02)～6-10(02)、6-13(02)	2003年4月
03	表紙、iii(03)～vi(03)、1-2(03)～1-4(03)、2-1(02)、2-2(03)、2-3(02)、2-4(03)、2-5(02)～2-8(02)、2-9(03)、2-10(02)～2-13(02)、2-14(03)、2-15(03)、2-16(02)、2-17(03)、2-18(02)、3-4(03)、3-5(02)、3-8(02)、3-9(02)、3-16(02)、4-2(03)、4-3(02)、4-4(02)、4-14(02)、5-2(02)～5-4(02)、5-7(02)～5-25(02)、5-26(03)、5-27(02)、5-28(02)、5-29(03)、5-30(03)、6-2(03)、6-3(02)、6-4(03)～6-6(03)、6-11(02)、6-13(03)	2004年2月
04	表紙、iii(04)、2-8(03)、2-9(04)、3-7(02)、3-8(03)、4-7(03)、4-8(02)、4-9(02)、4-11(02)、4-17(02)、4-18(03)、5-9(03)、5-27(03)、5-30(04)、7-3(02)、7-4(02)、7-8(02)	2004年10月
05	表紙、iii(05)、v(04)、vi(04)、1-2(04)～1-4(04)、2-5(03)、2-8(04)、2-12(03)、5-9(04)、5-20(03)、5-25(03)、5-30(05)、5-31(01)、5-32(01)、6-2(04)、6-3(03)、6-4(04)～6-6(04)、6-7(02)、6-8(03)～6-10(03)、7-2(02)、7-3(03)、7-4(03)、7-8(03)	2005年1月
06	2-5(04)、2-12(04)	2005年1月
07	iv(04)、v(05)、1-2(05)、1-3(05)、1-4(05)、2-2(04)、2-4(04)、2-6(03)、2-8(06)、2-9(05)、2-10(03)、2-15(04)、2-16(03)、2-17(03)、2-18(03)、3-2(02)、3-4(04)、3-5(03)、3-7(03)、3-8(04)、3-9(03)、3-13(02)、3-14(02)、3-15(02)、3-16(03)、4-2(04)、4-7(04)、4-8(03)、4-9(03)、4-10(03)、4-11(03)、4-15(02)、4-16(02)、4-17(03)、4-18(04)、5-1(02)、5-2(03)、5-3(03)、5-4(03)、5-8(03)、5-9(05)、5-11(03)、5-12(03)、5-13(03)、5-17(03)、5-18(03)、5-19(03)、5-20(04)、5-22(03)、5-23(03)、5-24(03)、5-25(04)、5-26(04)、5-27(04)、5-28(03)、5-30(06)、6-2(05)	2006年1月
08	表紙、ii(03)、iii(06)、iv(05)、v(06)、1-2(06)、1-3(06)、1-4(00)～1-8(00)、1-5(06)、「第2章 Windows Vista からの印刷」の追加に伴い第3章以降の全ページ変更	2007年7月
09	表紙、ii(04)、2-11(01)	2007年10月
10	表紙、iii(07)、iv(06)、v(07)、1-3(07)、2-5(00)、「2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」の追加に伴い2.3 項以降の2章全ページ変更、3-4(00)、3-5(00)、「3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」の追加に伴い3.3 項以降の3章全ページ変更、4-27(06)、4-32(08)	2008年6月
11	iv(07)、v(08)、1-2(07)、1-3(08)、2-1(01)～2-5(01)、2-6(02)～2-11(02)、2-12(03)、2-13(02)～2-24(02)、3-8(06)、3-20(06)、4-27(07)、4-29(06)、4-32(09)、4-33(03)、5-3(01)～5-8(01)、5-10(06)、5-15(05)、5-18(01)	2008年11月
12	表紙、ii(05)、iii(08)、iv(08)、v(09)、1-2(08)、1-3(09)、2-1(02)～2-5(02)、2-6(03)～2-11(03)、2-12(04)、2-13(03)～2-24(03)、3-7(07)、3-14(07)、3-15(05)、3-16(06)、4-27(08)、4-29(07)、4-30(05)、4-31(05)、4-32(10)、4-33(04)、4-34(01)、4-35(00)、4-36(00)、5-3(02)～5-8(02)、5-9(05)、5-10(07)、5-11(06)、5-12(06)、5-13(04)、5-14(05)、5-15(06)、5-16(05)、5-17(01)、5-18(02)、5-19(05)、5-20(01)	2010年6月
13	表紙、iii(09)、v(10)、1-2(09)、2-7(04)、2-17(04)、3-7(08)、3-14(08)、5-10(08)、5-11(07)、5-12(07)、5-13(05)、5-14(06)、5-16(06)、5-17(02)、5-20(02)	2011年10月

マニュアル Rev.	追加・変更内容	変更年月日
14	<ul style="list-style-type: none"> ・社名変更 表紙、iv(10) ・Windows 8/Server 2012 追加 1-3(10)、2-1(03)、2-2(03)、2-3(03)、2-4(03)、2-6(03)、2-8(04)、 2-11(04)、2-12(04)、2-13(04)、2-14(05)、2-15(04)、2-17(04)、2-23(04)、 2-26(04)、2-27(04)、4-27(09)、4-30(06)、4-33(05)、4-35(01)、5-3(03)、 5-5(03)、5-7(03)、5-16(07)、5-19(06) ・Windows 2000 削除 1-3(10)、3章全ページ変更、4-27(09)、4-29(08)、4-33(05) ・インフォメーション画像変更 4-10(07) ・画像のOS表記削除 1-2(10) ・手順修正 2-21(04)、2-22(03)、3-15(06)、3-16(07)、3-19(06)、5-10(09)、5-13(06)、 5-21(03) ・誤記修正 2-25(4) ・空白ページ追加 2-30(00)、5-22(00) ・来歴ページ追加 ii ・目次更新 v(09)、vi(11) 	2013年9月
15	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権情報変更 表紙、iv(11) ・社名変更 表紙、iv(11) ・誤記修正 4-10(8) 	2014年4月

はじめに

このマニュアルは、以下のプリンタに添付される「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM の使用方法、PCL5 プリンタドライバのインストール方法および操作方法について説明しています。

モデル名	形名
HT-4558-80	LB035AKT
HT-4558-80R	LB035AKT2
HT-4558-120	LB050AKT
HT-4558-120A	LB050AKT2
HT-4558-150A	LB068AKT2



- ・操作する前に、このマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。
- ・このマニュアルは必要なときすぐ参照できるよう、使いやすい場所に保管してください。
- ・このマニュアルの内容の一部または全部を無断掲載することは禁止されています。
- ・本製品、本マニュアルまたはソフトウェアの欠陥による直接または間接的に生じた損害については一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。

商標について

Copyright (c) 2014 Ricoh Company, Ltd.
All Rights Reserved.

このマニュアルおよびマニュアル中に記載されている内容は株式会社リコーによりすべての著作権が保存されています。このマニュアルの一部または全部を、電気、機械、磁気、光学、化学、文書その他のいかなる形式または方法により、無断で使用、複写、転写、検索システムへの保存またはコンピュータ言語を含めいかなる言語に翻訳することはできません。

Adobe、PostScript、Acrobat は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標もしくは商標です。
Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標もしくは商標です。
NetWare は米国ノベル社の登録商標です。

その他、記載されている製品名、会社名は、各社の登録商標もしくは商標です。

目次

第 1 章 ご使用の前に

- 1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について 1-2
- 1.2 プリンタドライバについて 1-3
 - 1.2.1 プリンタドライバの動作環境 1-3
 - 1.2.2 プリンタドライバの選択 1-3
 - 1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について 1-4

第 2 章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷

- 2.1 プリンタとの接続確認 2-2
- 2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加 2-6
- 2.3 LPR ポートの追加 2-8
- 2.4 プリンタドライバのインストール 2-11
- 2.5 プロパティの表示 2-15
- 2.6 プリンタ共有 2-17
- 2.7 印刷するポートの変更 2-19
 - 2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合 2-20
 - 2.7.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 2-22
- 2.8 プリンタドライバ初期値の変更 2-23
- 2.9 アプリケーションソフトからの印刷 2-25
- 2.10 プリンタドライバのアンインストール 2-26
 - 2.10.1 プリンタアイコンの削除 2-26
 - 2.10.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除 2-29

第 3 章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

- 3.1 プリンタとの接続確認 3-2
- 3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加 3-4
- 3.3 プリンタドライバのインストール 3-6
- 3.4 プロパティの表示 3-11
- 3.5 プリンタ共有 3-12
- 3.6 印刷するポートの変更 3-13
 - 3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合 3-14
 - 3.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合 3-16
- 3.7 プリンタドライバ初期値の変更 3-17
- 3.8 アプリケーションソフトからの印刷 3-18
- 3.9 プリンタドライバのアンインストール 3-19
 - 3.9.1 プリンタアイコンの削除 3-19
 - 3.9.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除 3-20

第 4 章 プリンタドライバの設定

- 4.1 ダイアログの構成 4-2
- 4.2 [ドキュメント] ダイアログ 4-3
- 4.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ 4-5
- 4.4 [透かし文字の設定] ダイアログ 4-6

4.5	[フォント設定] ダイアログ	4-7
4.6	[イメージ] ダイアログ	4-8
4.7	[高度な設定] ダイアログ	4-9
4.8	[インフォメーション] ダイアログ	4-10
4.9	フィックスオリエンテーションについて	4-11
4.10	プロファイルの活用	4-13
4.10.1	プロファイルによる設定内容の切り換え	4-13
4.10.2	プロファイルの登録	4-14
4.10.3	プロファイル登録内容の変更	4-15
4.10.4	プロファイルの削除	4-16
4.11	PCL マクロによる重ね合わせ印刷	4-17
4.11.1	PCL マクロの概要	4-17
4.11.2	マクロデータについて	4-18
4.11.3	マクロデータの作成	4-19
4.11.4	マクロデータの登録 (PC 上のディスク)	4-20
4.11.5	マクロデータの登録 (プリンタメモリ)	4-21
4.11.6	マクロデータの登録 (プリンタディスク)	4-22
4.11.7	マクロデータを指定した重ね合わせ印刷	4-24
4.11.8	マクロデータの属性編集	4-25
4.11.9	マクロデータの削除	4-26
4.12	プリントモニタについて	4-27
4.12.1	プリントモニタの概要	4-27
4.12.2	プリントモニタの起動	4-28
4.12.3	プリントモニタの画面	4-31
4.12.4	ステータス通知の設定	4-32
4.12.5	プリントモニタ設定値の変更	4-33
4.12.6	ファイアウォールの設定について	4-34

第5章 その他のプリンタドライバについて

5.1	Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 添付 PCL5 プリンタドライバ	5-3
5.1.1	インストール手順	5-3
5.1.2	プリンタドライバ初期値の変更	5-7
5.1.3	アプリケーションソフトからの印刷	5-9
5.2	Windows XP/Server 2003 添付 PCL5 プリンタドライバ	5-10
5.2.1	インストール手順	5-10
5.2.2	プリンタドライバ初期値の変更	5-13
5.2.3	アプリケーションソフトからの印刷	5-14
5.3	プリンタ固有機能	5-15
5.4	カスタムサイズ用紙に印刷するには	5-16
5.5	フィックスオリエンテーションについて	5-18
5.6	プリンタドライバのバージョンを確認するには	5-19
5.6.1	Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 添付 PCL5 プリンタドライバ	5-19
5.6.2	Windows XP/Server 2003 添付 PCL5 プリンタドライバ	5-21

第 1 章

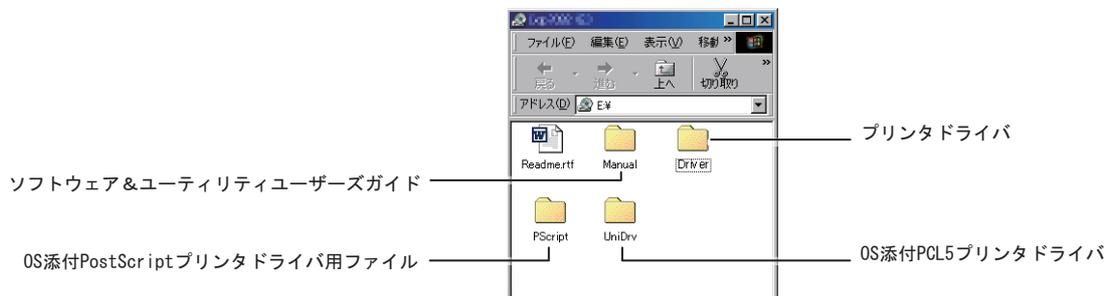
ご使用の前に

OG	B	01	
----	---	----	--

第1章 ご使用前に

1.1 ソフトウェア&ユーティリティ CD-ROM について

「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROMには、次のようなソフトウェアやユーティリティが格納されています。



注意

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM 内の“Readme.rtf”ファイルには、このユーザーズガイドに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ等の使用上の注意事項が記述されています。「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM に格納されているソフトウェアやユーティリティをご使用前にお読みください。



注意

「PostScript プリンタドライバ用ファイル」は、ご購入のプリンタにポストスクリプトオプションが搭載されている場合にのみご使用ください。また、これらのファイルの使用方法については「ソフトウェア & ユーティリティユーザーズガイド ~ PostScript プリンタドライバ編~」をご覧ください。

1.2 プリンタドライバについて

Windows などの基本ソフトが動作するコンピュータからご購入のプリンタに印刷するためには、“プリンタドライバ”と呼ばれるソフトウェアが必要となります。



注意 ポストスクリプトオプション付きのプリンタでPostScriptプリンタドライバから印刷する場合は、「ソフトウェア & ユーティリティユーザーズガイド ～ PostScript プリンタドライバ編～」をご覧ください。

1.2.1 プリンタドライバの動作環境

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM に格納されている PCL5 プリンタドライバは、以下の基本ソフトが動作するコンピュータに組み込むこと (= インストール) ができます。

- ◇ Microsoft Windows Server 2012 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 8 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版
- ◇ Microsoft Windows 7 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2008 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Vista 日本語版
- ◇ Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- ◇ Microsoft Windows XP 日本語版



ポイント 印刷を行うコンピュータには、コンピュータ上で動作している基本ソフトの種類に応じて、個々にプリンタドライバをインストールします。



参考 プリンタドライバは、コンピュータの基本ソフト上で動作するソフトウェアですが、次のような役割があります。

- (1) 印刷可能な用紙サイズやプリンタに搭載されているフォントなどのプリンタ情報を、アプリケーションソフトに伝達する。
- (2) 用紙サイズを選択など、プリンタ固有の機能を利用できるようにユーザインタフェースを提供する。
- (3) アプリケーションソフトから印刷が指示されると、アプリケーションソフト上の文書データを、プリンタで処理可能な印刷データに変換する。

1.2.2 プリンタドライバの選択

プリンタドライバのインストール方法や使用方法については、以下の説明箇所をご覧ください。

基本ソフト	プリンタドライバの種類	説明箇所
Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012	当社製プリンタドライバ	「第2章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷」 「第4章 プリンタドライバの設定」
	PCL5 プリンタドライバ	「第5章 その他のプリンタドライバについて」
Windows Server 2003 Windows XP	当社製プリンタドライバ	「第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷」 「第4章 プリンタドライバの設定」
	PCL5 プリンタドライバ	「第5章 その他のプリンタドライバについて」

PCL5 プリンタドライバは Windows システムに標準添付されているプリンタドライバです。



注意 Windows XP 環境で当社製プリンタドライバをご使用になる場合、Service Pack 1 以上の修正プログラムを適用してください。



ポイント 本マニュアルの説明文中、単に「プリンタドライバ」と表現しているものは、当社製プリンタドライバに対する記述を表しています。その他のプリンタドライバは、「PCL5 プリンタドライバ」と明示しています。

1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について

プリンタドライバのインストール時には、以下のプリンタモデルが選択できます。

プリンタドライバの種類	説明箇所
当社製プリンタドライバ	Hitachi HT-4558 Series/Type A Hitachi HT-4558 Series/Type B
PCL5 プリンタドライバ	HT-4558 Series PCL/Type A HT-4558 Series PCL/Type B

HT-4558-80 および HT-4558-120 用に提供してきましたプリンタドライバはご利用になるプリンタドライバの種類（当社製プリンタドライバ／PCL5 プリンタドライバ）によって、印刷の向きと用紙余白の考え方が異なっていました。この従来仕様の互換性を維持するためにプリンタモデル名として“Type B”を付加したプリンタドライバを選択することができます。

“Type A”の付いたモデルはプリンタドライバ間で印刷の向きと用紙余白の仕様を統一しておりますが、HT-4558-80 または HT-4558-120 への印刷出力にお使いいただいたアプリケーションソフトウェアによっては印刷の向き、あるいは印刷位置が意図しない結果となる場合があります。

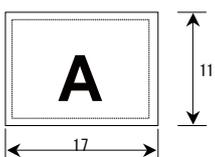
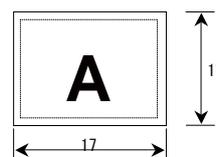
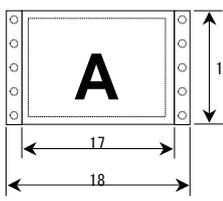
このような場合は従来仕様の互換モデルである“Type B”を選択してください。

Type A と Type B の仕様差の例を以下に示します。以下の例では、横長／縦長文書を定型サイズ、またはカスタムサイズを指定して印刷する場合を示しています。

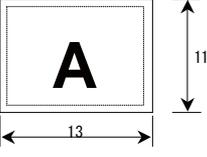
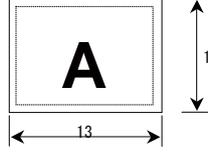
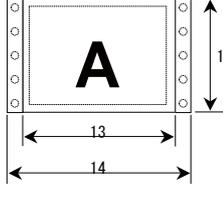
◇当社製プリンタドライバをご使用の場合

＜横長用紙＞

- ・ 定型サイズ (18x11 inch)

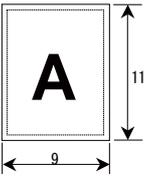
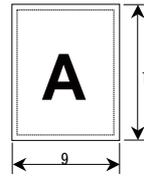
項目		“Type A”	“Type B”	備考	
用紙サイズの設定	用紙名称	18x11 (17x11) inch	18x11 (17x11) inch	18x11inch の用紙をプリンタにセットし、横長文書を印刷する場合（長辺給紙）	
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない 18x11 (17x11) inch	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない 18x11 (17x11) inch		
	印刷の向き	縦	横		
	文書イメージ				
	余白：上下 [inch]	0	0		
	余白：左右 [inch]	0	0		

・カスタムサイズ (14x11 inch)

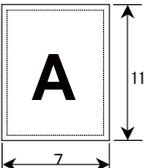
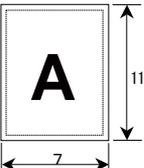
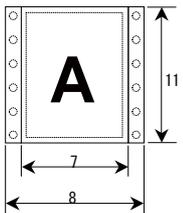
項目		“Type A”	“Type B”	備考	
カスタムサイズの設定	用紙名称	カスタムサイズ	カスタムサイズ		
	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む		
	幅 [inch]	13	14		
	長さ [inch]	11	11		
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	14x11inch の用紙をプリンタにセットし、横長文書を印刷する場合 (長辺給紙)	
		カスタムサイズ	カスタムサイズ		
	印刷の向き	縦	横		
	文書イメージ				
	余白 : 上下 [inch]	0	0		
余白 : 左右 [inch]	0	0			

< 縦長用紙 >

・定型サイズ (10x11 inch)

項目		“Type A”	“Type B”	備考
用紙サイズの設定	用紙名称	10x11 (9x11) inch	10x11 (9x11) inch	10x11inch の用紙をプリンタにセットし、縦長文書を印刷する場合 (短辺給紙)
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	
		10x11 (9x11) inch	10x11 (9x11) inch	
	印刷の向き	縦	縦	
	文書イメージ			
余白 : 上下 [inch]	0	0		
余白 : 左右 [inch]	0	0		

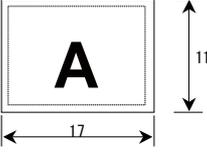
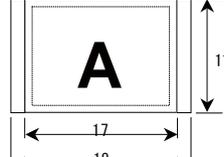
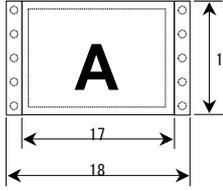
・カスタムサイズ (8x11 inch)

項目		“Type A”	“Type B”	備考	
カスタムサイズの 設定	用紙名称	カスタムサイズ	カスタムサイズ		
	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分 の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分 の長さを含む		
	幅 [inch]	7	8		
	長さ [inch]	11	11		
アプリケーション ソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分 の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分 の長さは含まない	8x11inch の用紙をプリンタに セットし、縦長文書を印刷する場合 (短辺給紙)	
		カスタムサイズ	カスタムサイズ		
	印刷の向き	縦	縦		
	文書イメージ				
	余白：上下 [inch]	0	0		
	余白：左右 [inch]	0	0		

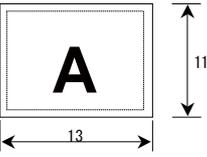
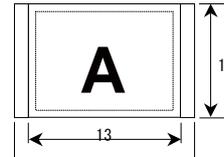
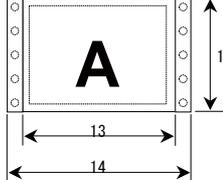
◇ PCL5 プリンタドライバをご使用の場合

＜ 横長用紙 ＞

・ 定型サイズ (18x11 inch)

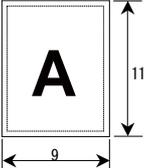
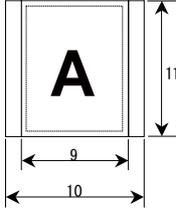
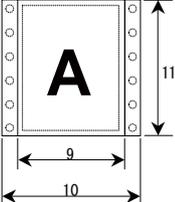
項目		“Type A”	“Type B”	備考	
用紙サイズの設定	用紙名称	18x11 (17x11) inch	18x11	18x11inch の用紙をプリンタにセットし、横長文書を印刷する場合 (長辺給紙)	
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む		
		18x11 (17x11) inch	18x11		
	印刷の向き	縦	縦		
	文書イメージ				
	余白 : 上下 [inch]	0	0		
	余白 : 左右 [inch]	0	各 0.5		

・ カスタムサイズ (14x11 inch)

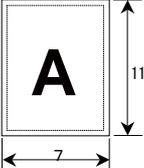
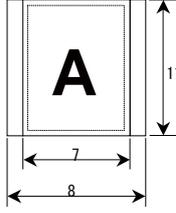
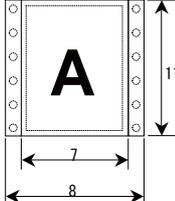
項目		“Type A”	“Type B”	備考
カスタムサイズの設定	用紙名称	14x11 (13x11) inch	14x11	14x11inch の用紙をプリンタにセットし、横長文書を印刷する場合 (長辺給紙)
	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む	
	幅 [inch]	13	14	
	長さ [inch]	11	11	
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む	
		14x11 (13x11) inch	14x11	
	印刷の向き	縦	縦	
	文書イメージ			
	余白 : 上下 [inch]	0	0	
	余白 : 左右 [inch]	0	各 0.5	

＜縦長用紙＞

・定型サイズ (10x11 inch)

項目		“Type A”	“Type B”	備考	
用紙サイズの設定	用紙名称	10x11 (9x11) inch	10x11 インチ	10x11inch の用紙をプリンタにセットし、縦長文書を印刷する場合 (短辺給紙)	
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む		
	印刷の向き	縦	縦		
文書イメージ					
余白：上下 [inch]		0	0		
余白：左右 [inch]		0	各 0.5		

・カスタムサイズ (8x11 inch)

項目		“Type A”	“Type B”	備考	
カスタムサイズの設定	用紙名称	8x11 (7x11) inch	8x11		
	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む		
	幅 [inch]	7	8		
	長さ [inch]	11	11		
アプリケーションソフトでの扱い	用紙サイズ	用紙両端の送り穴部分の長さは含まない	用紙両端の送り穴部分の長さを含む	8x11inch の用紙をプリンタにセットし、縦長文書を印刷する場合 (短辺給紙)	
	印刷の向き	縦	縦		
文書イメージ					
余白：上下 [inch]		0	0		
余白：左右 [inch]		0	各 0.5		

第 2 章

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/ 8/Server 2012 からの印刷

第2章 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 からの印刷

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、LPRポートの追加、プリンタドライバをインストールしてください。

2.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

 プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、
参考 Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

1 プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。

 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

(1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。

2 Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。



(2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。

3 まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



(3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。



参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



5 [ローカルエリア接続] の [状態の表示] をクリックします。



参考 Windows 7/Server 2008 R2 の場合は、[アクティブなネットワークの表示] の [ローカルエリア接続] をクリックします。

参考 Windows 8/Server 2012 の場合は、[アクティブなネットワークの表示] の [イーサネット] をクリックします。

4 [ネットワークと共有センター] アイコンをダブルクリックします。[ネットワークと共有センター] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

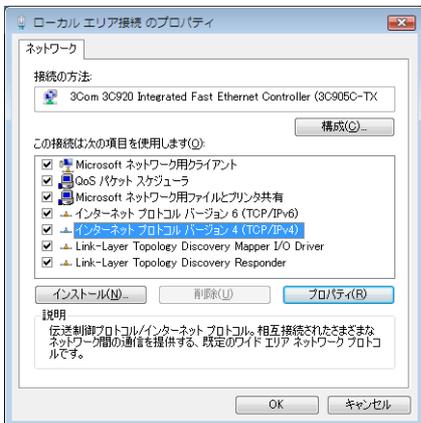


参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

6 [プロパティ] ボタンをクリックします。

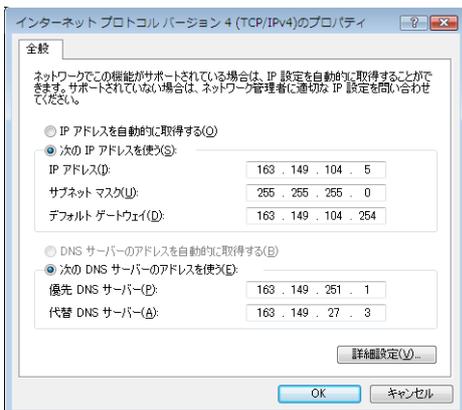


7 リストから [インターネットプロトコルバージョン4 (TCP/IPv4)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



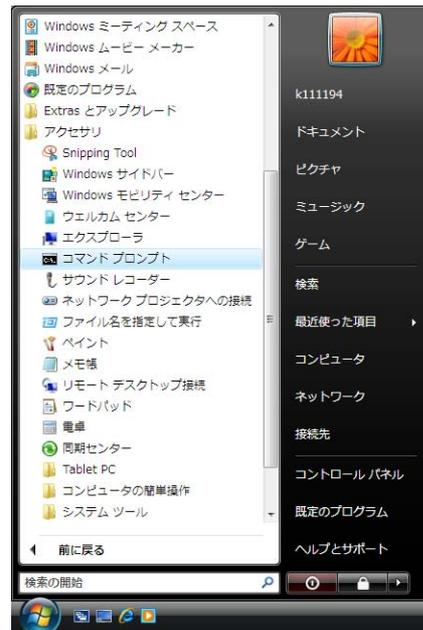
注意 [ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログが表示される前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

8 [IP アドレス] などの設定が正しく行われていることをご確認ください。



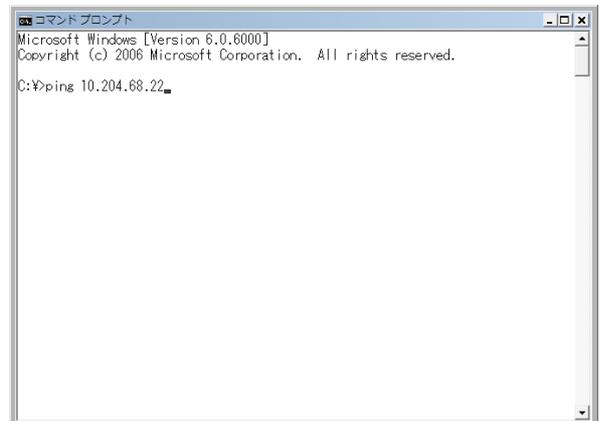
参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

9 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。



参考 Windows 8/Server 2012 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコマンドプロンプトを開きます。
 (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 (3) [アプリ] 画面にて [コマンドプロンプト] を選択します。

10 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。





プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

11

図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。

```
コマンドプロンプト
Microsoft Windows [Version 6.0.6000]
Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:\>ping 10.204.68.22

10.204.68.22 に ping を送信しています 32 バイトのデータ:

10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =4ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254
10.204.68.22 からの応答: バイト数 =32 時間 =1ms TTL=254

10.204.68.22 の ping 統計:
    パケット数: 送信 = 4, 受信 = 4, 損失 = 0 (0% の損失),
ラウンドトリップの概算時間 (ミリ秒):
    最小 = 1ms, 最大 = 4ms, 平均 = 1ms

C:\>
```

2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加

当社製プリンタドライバにおけるプリンタ状態監視機能はネットワーク管理の標準プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を用いてコンピュータとプリンタ間で通信を行い、印刷処理状況やプリンタに障害が発生していないかどうかを確認します。当社製プリンタドライバをインストールする前に、この SNMP を追加します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 Windows Vista/7 の場合
[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

Windows Server 2008/Server 2008 R2 の場合
[スタート] → [管理ツール] → [サービス] をクリックし、**9** に進みます。

Windows 8 の場合
以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

Windows Server 2012 の場合
[スタート] 画面 → [管理ツール] → [サービス] をクリックし、**9** に進みます。

3 [プログラムと機能] をダブルクリックします。[プログラムと機能] アイコンが表示されていない場合は、コントロールパネル画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。

 Windows 7/8 の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

4 [Windows の機能の有効化または無効化] をクリックします。

5 [Windows の機能] の [簡易 TCP/IP サービス (echo, daytime など)] のチェックを ON にし、[OK] ボタンをクリックします。

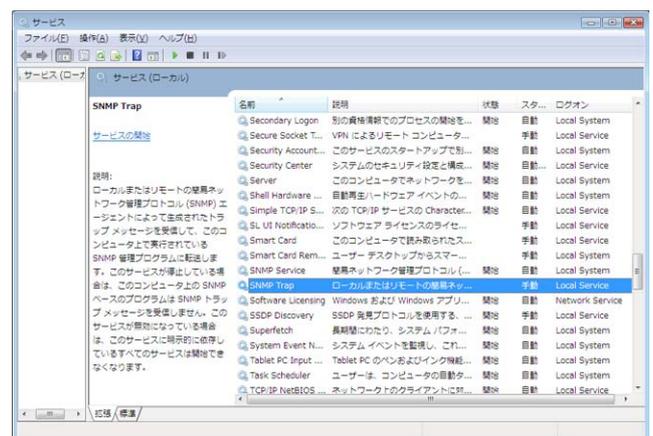


6 [プログラムと機能] 画面左上の [←] をクリックし、コントロールパネルへ戻ります。

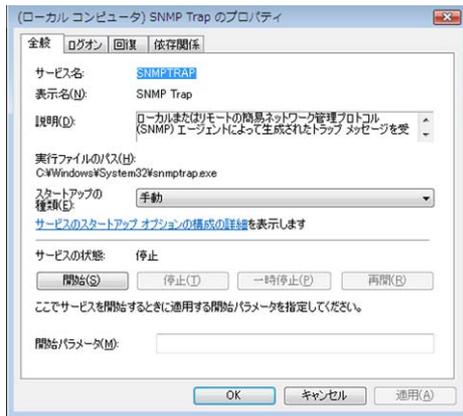
7 コントロールパネル上の [管理ツール] をダブルクリックします。

8 [サービス] をダブルクリックします。

9 [SNMP Trap] をダブルクリックします。



10 [スタートアップの種類] → [自動] を選択し、[開始] をクリックします。



11 [OK] をクリックします。

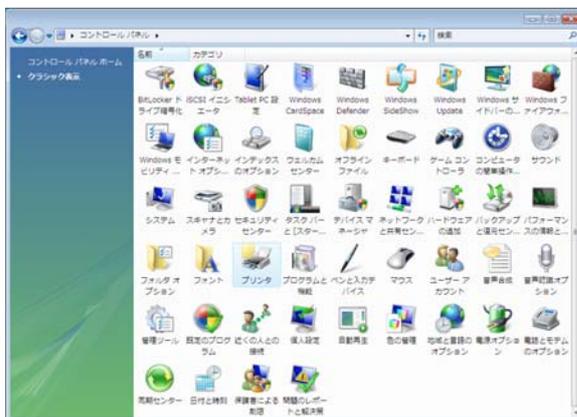
2.3 LPR ポートの追加

プリンタ出力用のポートを追加するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。
- 2 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

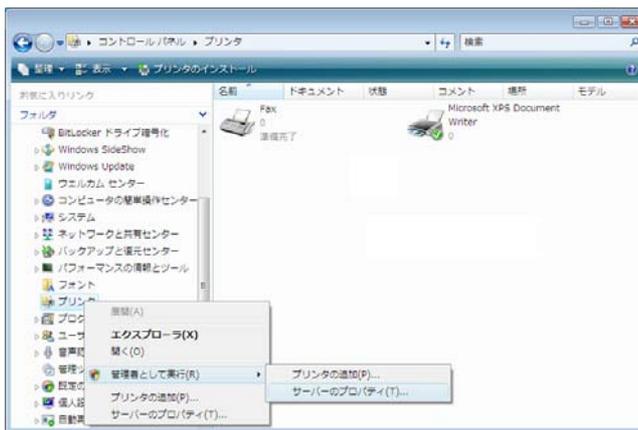


- 3 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 4 画面左側のプリンタメニューをマウス右ボタンクリックし、[管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。[プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、Fax またはプリンタを選択し、画面上的 [プリントサーバープロパティ] をクリックしてください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。
- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 - (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 - (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 5 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログの [ポート] タブを選択して [ポートの追加] ボタンをクリックします。



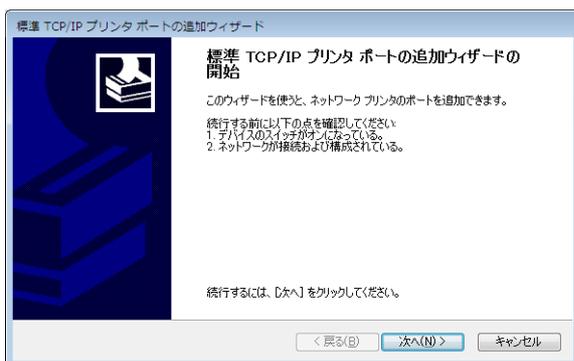
- 参考 Windows Server 2008 R2 の場合は、[ポート設定の変更] ボタンをクリックして [ポートの追加] ボタンをクリックします。

- 6 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



- ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

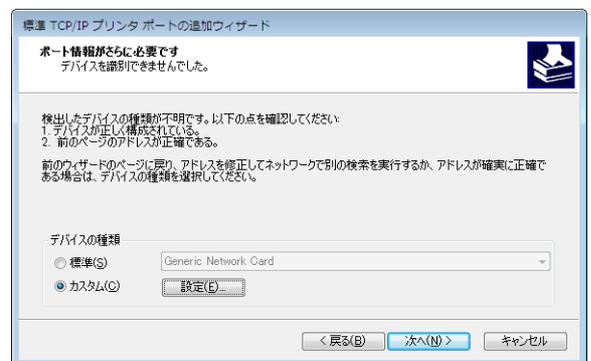
- 7 [次へ] ボタンをクリックします。



- 8 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



- 9 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



- 10 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。



ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

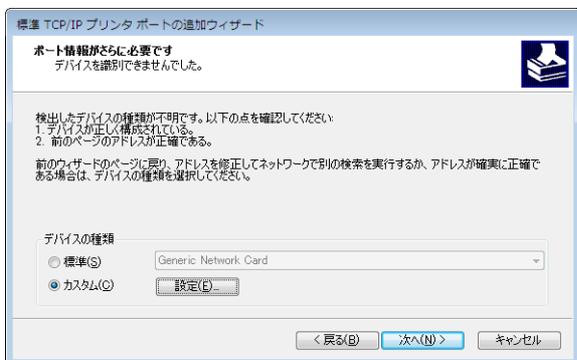
14 [閉じる] ボタンをクリックして [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログを閉じます。



注意

[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックが ON のとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

11 [次へ] ボタンをクリックします。



12 [完了] ボタンをクリックします。



13 [閉じる] ボタンをクリックします。



2.4 プリンタドライバのインストール

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 用プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM から以下の手順にしたがって直接インストールすることができます。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。



注意

製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前に必ずお読みください。



ポイント

プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、同じバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上に複数インストールして併用することは可能ですが、異なるバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上で併用することはできません。

1

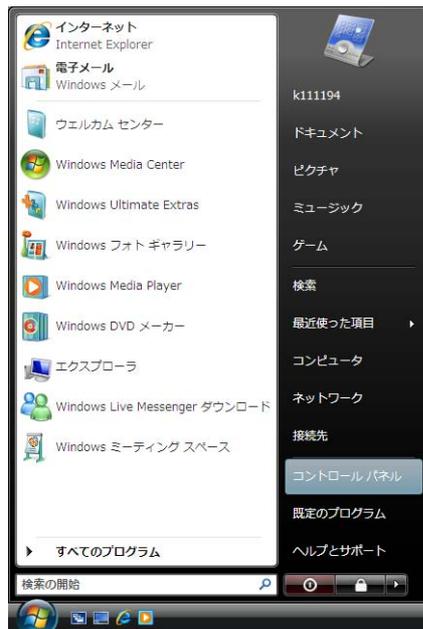
[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2

「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

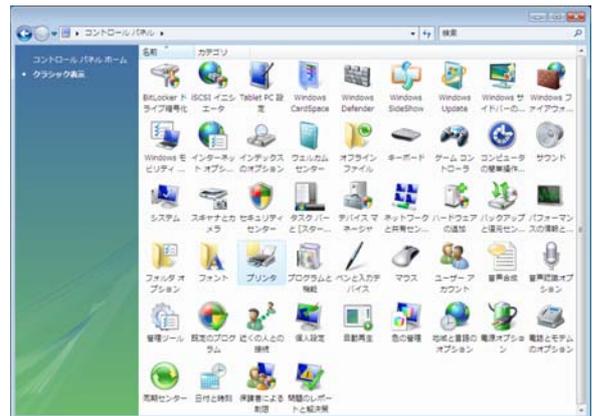


参考

Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

4

[プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



参考

Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

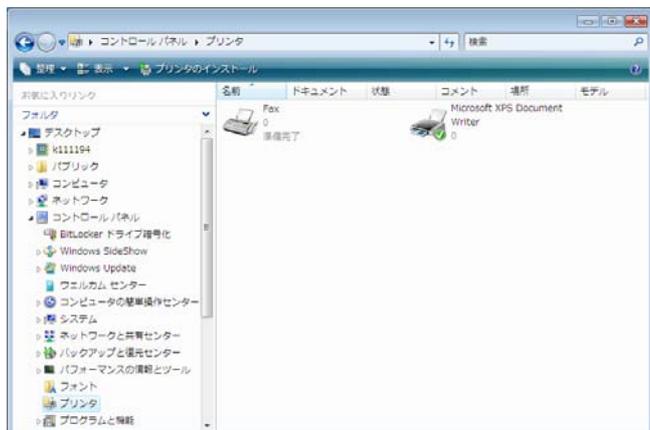


参考

Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

5 Windows Vista の場合
画面上部の [プリンタのインストール] をクリックします。

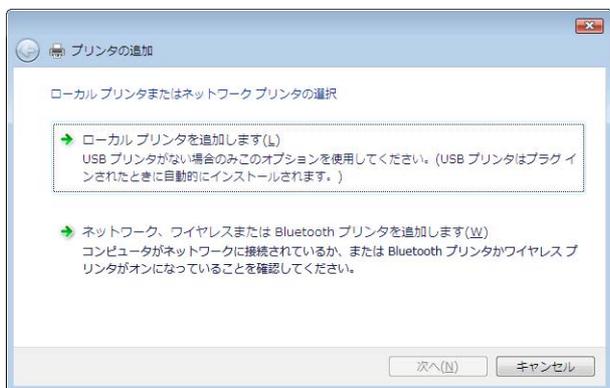


Windows Server 2008 の場合
[ファイル] → [管理者として実行] → [プリンタの追加...] を選択します。

Windows 7/8/Server 2012 の場合
画面上部の [プリンタの追加] をクリックします。

Windows Server 2008 R2 の場合
画面上部の [プリンタの追加] をクリックし、[管理者としてローカルプリンタまたはネットワークプリンタを追加する] をクリックします。

6 [ローカルプリンタを追加します] をクリックします。



ポイント プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は [ローカルプリンタを追加します] を選択してください。

Windows 8/Server 2012 の場合
以下 (1) ~ (2) の手順にて実施してください。

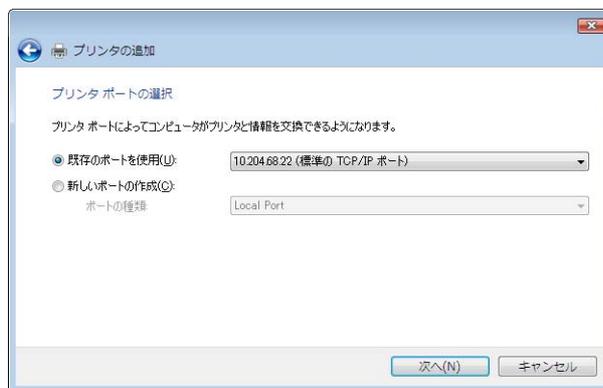
(1) [探しているプリンターはこの一覧にはありません] を選択します。

(2) [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

Windows 8/Server 2012 の場合
[Bluetooth、ワイヤレス、またはネットワーク検出可能プリンタを追加する] を選択します。

7 プリンタとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタポートは [2.3 LPR ポートの追加] で追加したポートを選択してください。

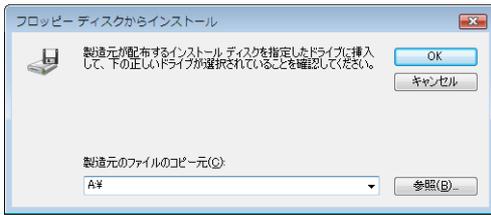


参考 プリンタポートは、プリンタドライバのインストール完了後に変更することもできます。[2.7 印刷するポートの変更] をご覧ください。

8 [ディスク使用] ボタンをクリックします。

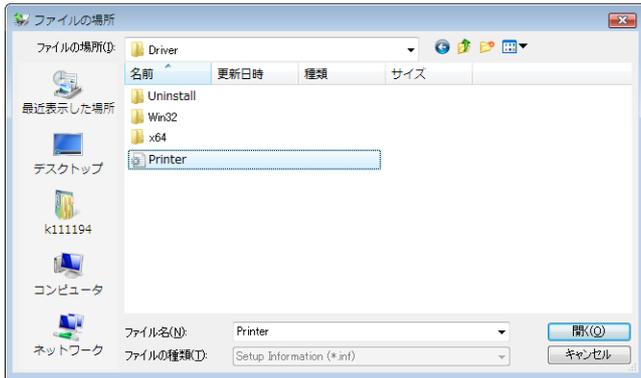


9 [参照] ボタンをクリックします。

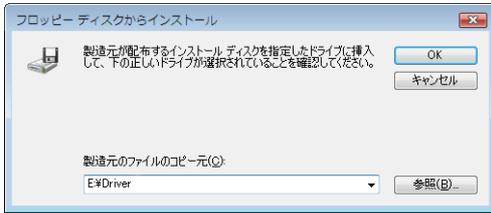


注意 プリンタモデルの違いについては、「1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について」をご覧ください。

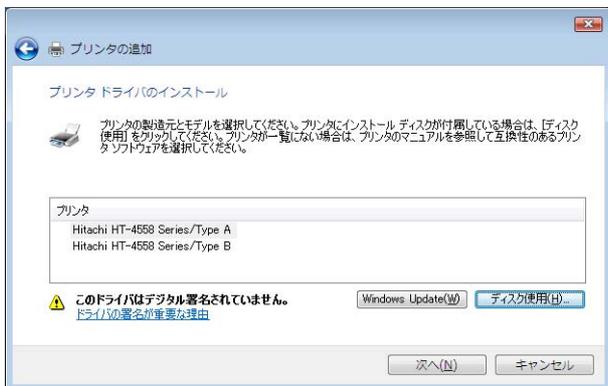
10 CD-ROM ドライブの [Driver] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



11 [OK] ボタンをクリックします。



12 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



プリンタモデル
Hitachi HT-4558 Series/Type A
Hitachi HT-4558 Series/Type B

13 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。このダイアログが表示されない場合は **14** に進みます。



14 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。プリンタドライバのインストールが開始されます。



注意 プリンタの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、プリンタドライバを通常使用するかどうかを **16** で選択します。

参考 [Windows セキュリティ] ダイアログが表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

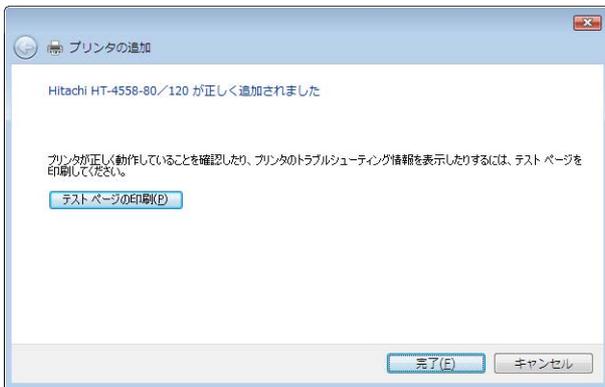
15 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



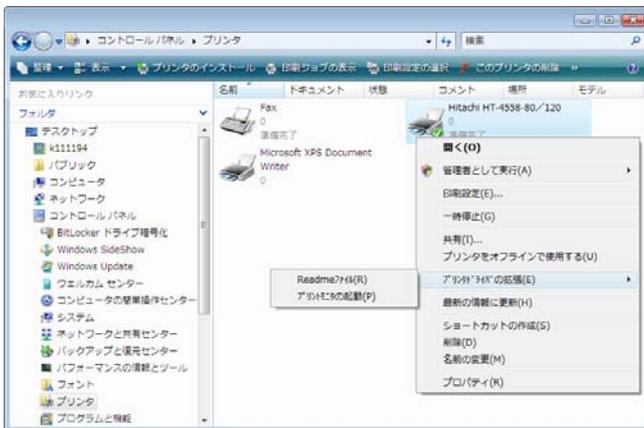
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは 1 つしか表示されません。

ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。「2.6 プリンタ共有」をご覧ください。

16 プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため、[テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



17 最後に Readme ファイルをお読みください。[プリンタ] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プリンタドライバの拡張] → [Readme ファイル] を選択します。



2.5 プロパティの表示

プリンタの [プロパティ] を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 2** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



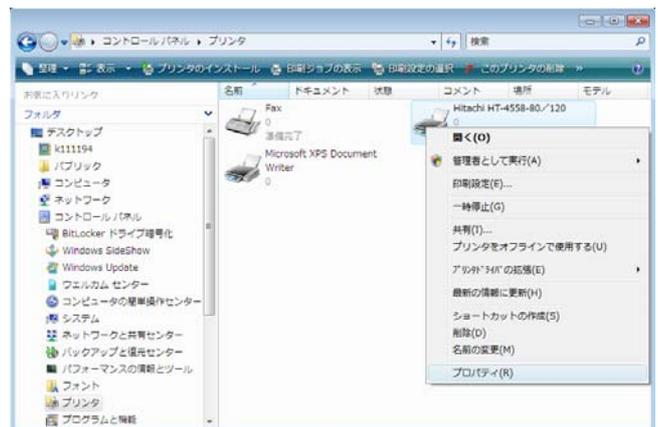
- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 3** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 4** [全般] や [共有] などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。



- 参考** [共有] については、「[2.6 プリンタ共有](#)」を、[ポート] については「[2.7 印刷するポートの変更](#)」をそれぞれご覧ください。

- 5** プリンタドライバのバージョンを確認するには、プリンタアイコンと同じ名称のプロパティを表示します。



- 参考** 本プリンタドライバをご使用の場合はプリンタアイコンと同じ名称のプロパティが表示されますが、別の種類のプリンタドライバでは [デバイスの設定] プロパティが表示されます。

2.6 プリント共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 が動作しているコンピュータを経由して印刷を行うときに、プリンタの [共有] 機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 コントロールパネルを開き [ネットワークと共有センター] を選択します。[共有と探索] のリストから [プリンタ共有] の詳細を開いて [プリンタ共有を有効にする] を選択します。画面右下の [適用] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

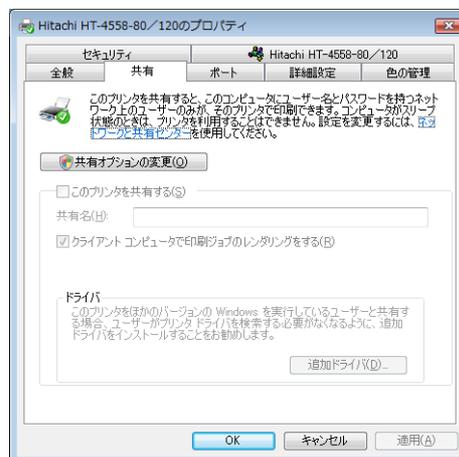
既にプリンタ共有が有効に設定されている場合は **3** に進みます。



注意 [ネットワークと共有センター] で [適用] ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。

参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[共有の詳細設定の変更] をクリックし、[ファイルとプリンターの共有] で [ファイルとプリンターの共有を有効にする] を選択し、[変更の保存] をクリックしてください。

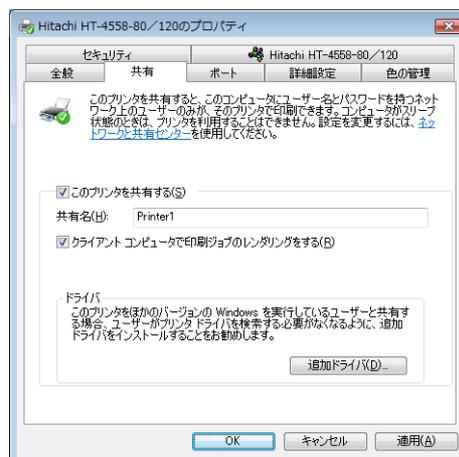
3 「2.5 プロパティの表示」の手順にしたがって、[共有] プロパティを表示し、[共有オプションの変更] ボタンをクリックします。



注意 [共有オプションの変更] ボタンをクリックすると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。

参考 Windows 8/Server 2012 の場合は、[共有] プロパティを表示した後、**4** に進みます。

4 [このプリンタを共有する] のチェックを ON にして [OK] ボタンをクリックします。[共有名] を任意の名前に変更することができます。





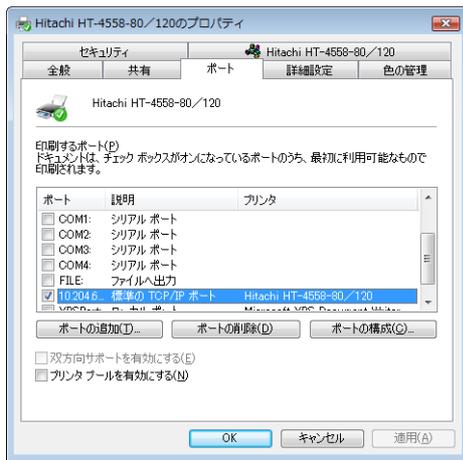
プリンタを [共有する] とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに [ポート] プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータからWindows上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開しているWindowsにネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

2.7 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 「2.5 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



3 [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

ポイント プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

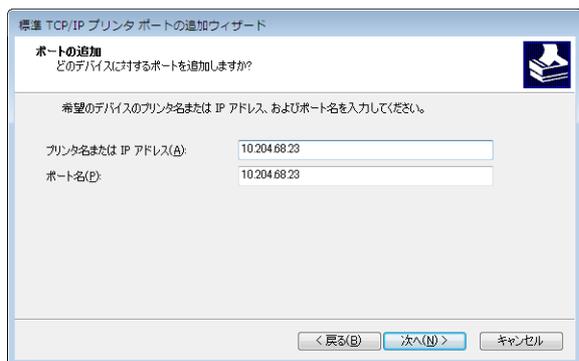


注意 ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

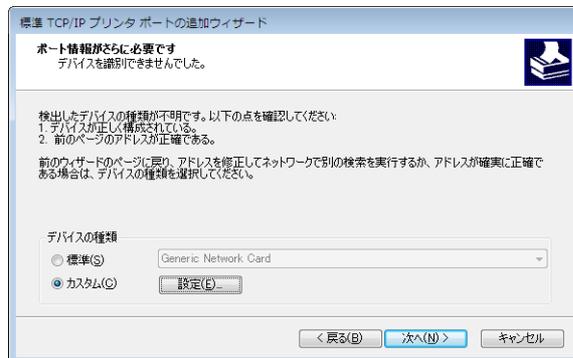
3 [次へ] ボタンをクリックします。



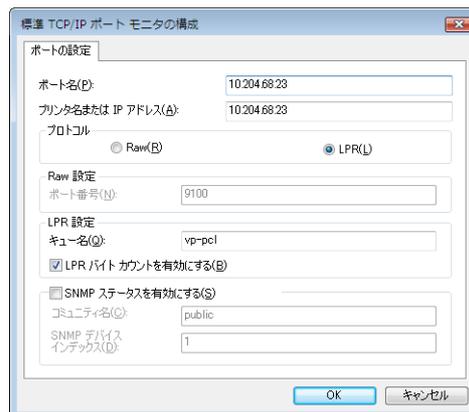
4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。

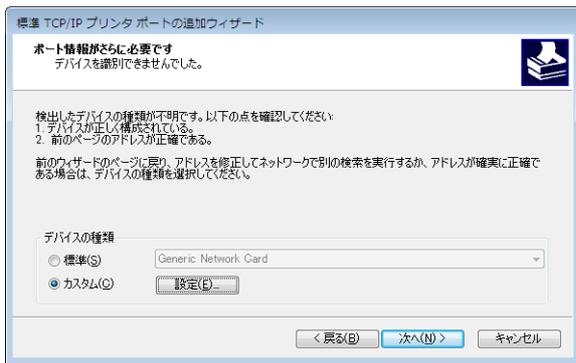


ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、「vp-pcl」などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、「vp-pcl」を論理プリンタ名として使用します。「vp-pcl」はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

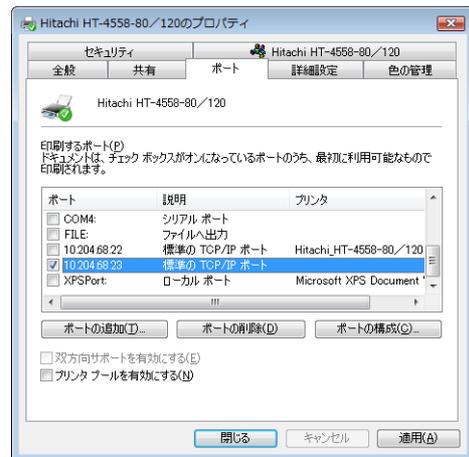


注意 [LPR バイトカウントを有効にする] のチェックが ON のとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



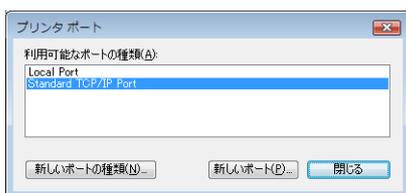
10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



8 [完了] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



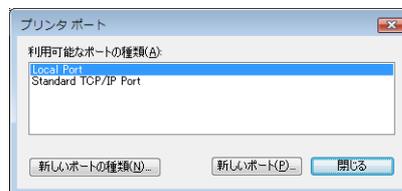
2.7.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

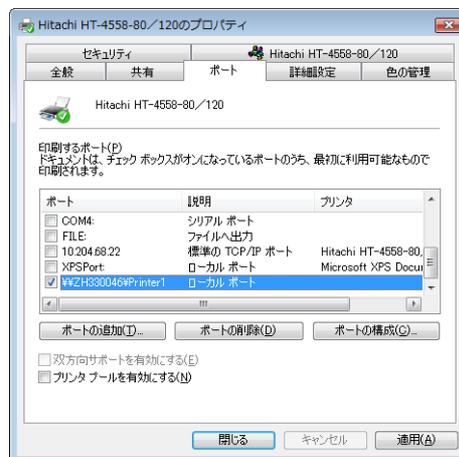
2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。



5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



注意 ポートの追加ができない場合、一度 [共有] プロパティで [共有オプションの変更] ボタンをクリックした後、再度 **1** から操作してください。

3 [ポート名] を“¥サーバ名¥共有プリンタ名”の書式で入力し、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名が ZH330046 で共有プリンタ名が Printer1 の場合の例です。



ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、スタートメニューの [ネットワーク] を起動します。[ネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



2.8 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更し、新たな初期値として保存するには、次の手順で操作を行います。アプリケーションソフトから印刷する場合、ここでのプリンタドライバの設定が初期値となります。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



2 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



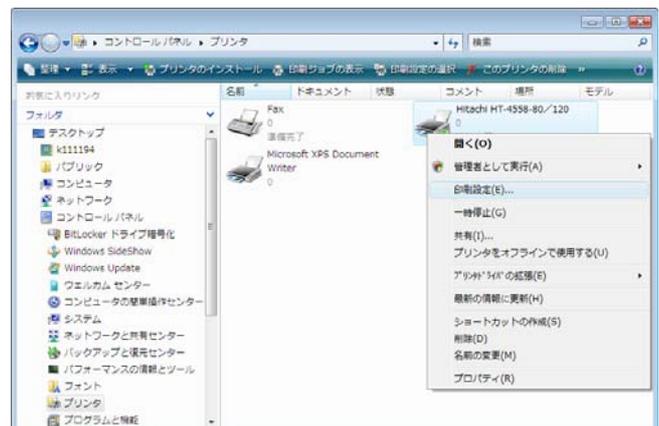
参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

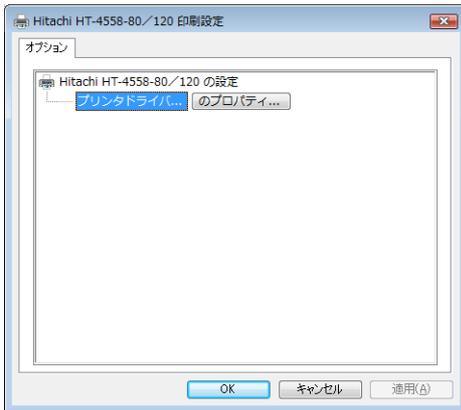
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

3 プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[印刷設定] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

4 [のプロパティ] ボタンをクリックします。



5 プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。[OK] ボタンをクリックして設定を保存します。



各ダイアログの詳細は「[第4章 プリンタドライバの設定](#)」をご覧ください。

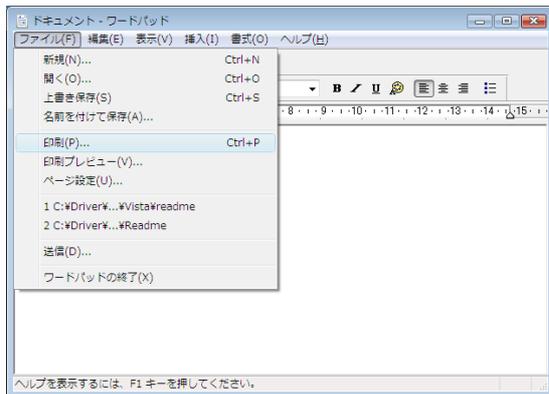
2.9 アプリケーションソフトからの印刷

プリンタドライバのさまざまな機能を利用してアプリケーションソフトから印刷するには、次の手順でプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。

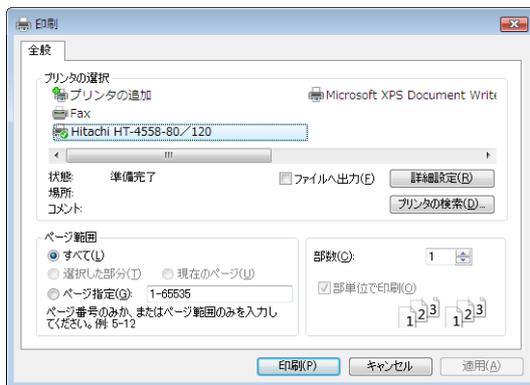


ここではWindows Vista 付属のワードパッドで印刷する場合の例を示します。ご使用になるアプリケーションソフトごとにメニューやダイアログの表示内容は異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

1 [ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [のプロパティ] ボタンをクリックします。



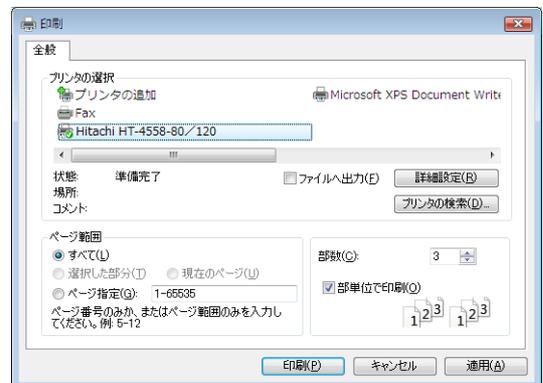
4 プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。



各ダイアログの詳細は「[第4章 プリンタドライバの設定](#)」をご覧ください。

5 [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログを閉じます。

6 必要に応じて [ページ範囲] や [部数]などを指定します。[印刷] ボタンをクリックすると印刷が行われます。



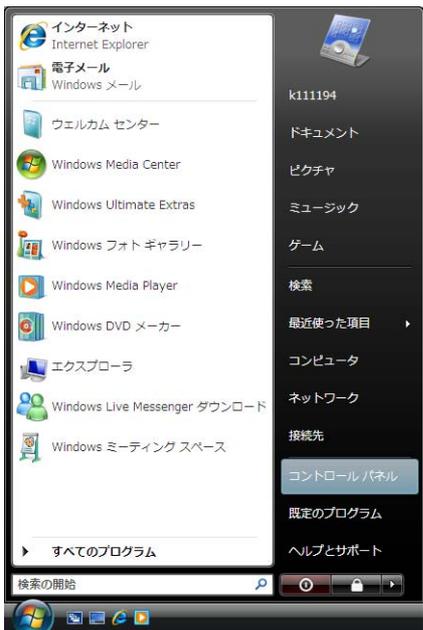
アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷を行うと、プリンタへ送信する印刷データ量が増大して印刷スピードが低下する原因となります。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷を行っても、プリンタドライバの [ドキュメント] ダイアログで [丁合い] のチェックが ON (初期値) であれば、各ページごとにページ順で印刷を行うことができます。

2. 10 プリンタドライバのアンインストール

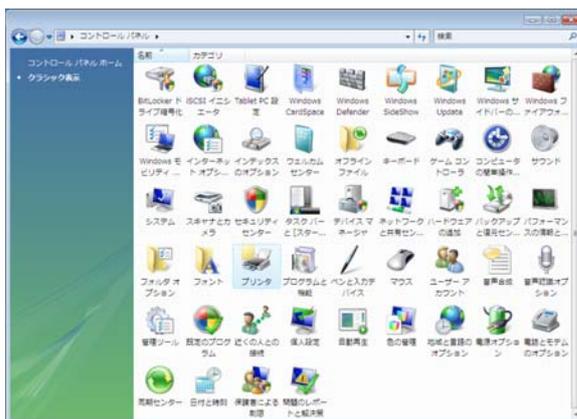
2. 10. 1 プリンタアイコンの削除

プリンタドライバを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。
- 2** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



- 3** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 4** 削除するプリンタドライバのプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



- 参考** Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。
 - (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 - (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 - (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

- 参考** Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスの削除] を選択します。

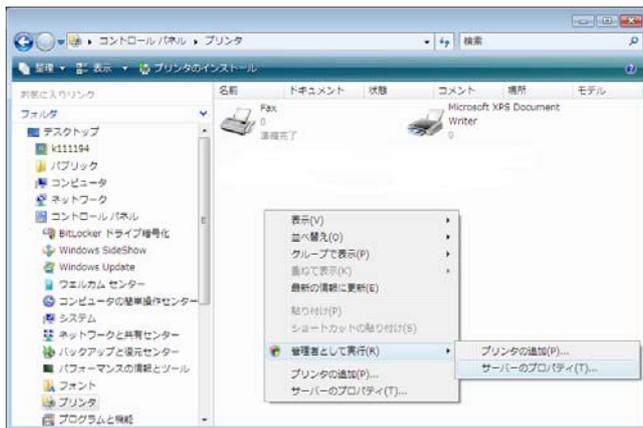
- 5** [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **4** から **5** を繰り返します。



- 6** 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

ポイント 続けて **7** 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタドライバ関連のファイルを削除することができません。

- 7** 再度、[コントロールパネル] → [プリンタ] を開きプリンタリスト上で右ボタンをクリックして [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。



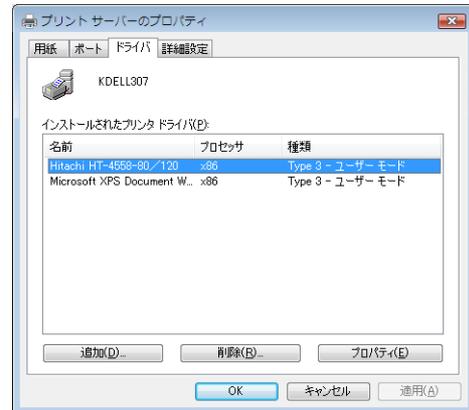
注意

[サーバーのプロパティ] メニュー選択すると、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。



参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、Fax またはプリンタを選択し、画面上の [プリントサーバープロパティ] をクリックしてください。

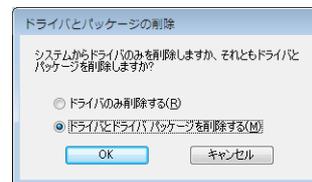
- 8** [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックします。



注意

[Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012の場合は、[ドライバー設定の変更] ボタンをクリックして、[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックしてください。

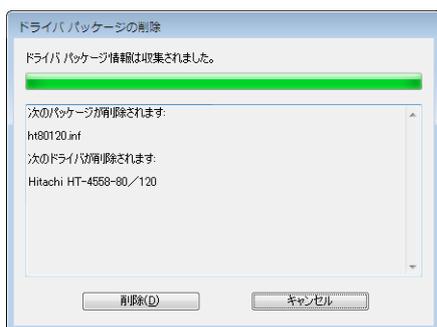
- 9** [ドライバとドライバパッケージを削除する] を選択して [OK] ボタンをクリックします。



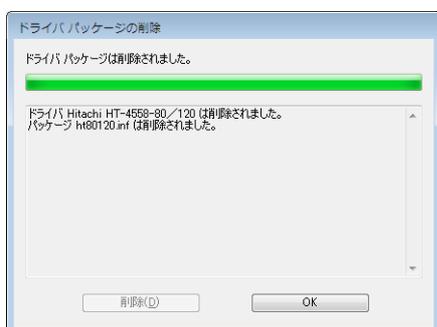
- 10** 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。



- 11** [ドライバパッケージの削除] ダイアログが表示されますので [削除] ボタンをクリックします。



- 12** 削除されたドライバパッケージが表示されます。最後に [OK] ボタンをクリックします。



2.10.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除

プリンタドライバを構成するファイルを Windows システムから削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。



注意

本節の操作が必要となるのは次のような場合です。同じバージョンのプリンタドライバを追加インストールする場合は以下の操作は不要です。

- プリンタドライバをすべて削除してから、再度プリンタドライバをインストールする。
- プリンタドライバのバージョンアップを行う。

1

すべてのプリンタドライバを [プリンタ] フォルダから削除します。

プリンタドライバの削除方法については、「[2.10.1 プリンタアイコンの削除](#)」を参照してください。

2

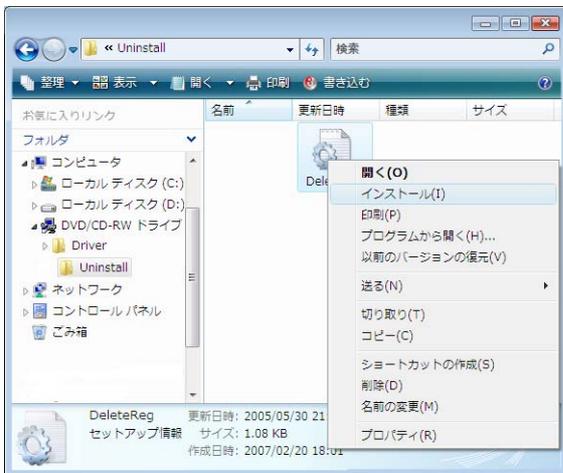
「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3

[Driver] → [Uninstall] フォルダを開きます。

4

次に [DeleteReg.inf] アイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [インストール] を選択します。



注意

この操作を行うと [プロファイル] の設定など、プリンタドライバの設定情報はすべてなくなります。



注意

ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されるときは、[続行] ボタンをクリックします。

5

Windows を再起動します。

第 3 章

Windows XP/Server 2003 からの印刷

第3章 Windows XP/Server 2003 からの印刷

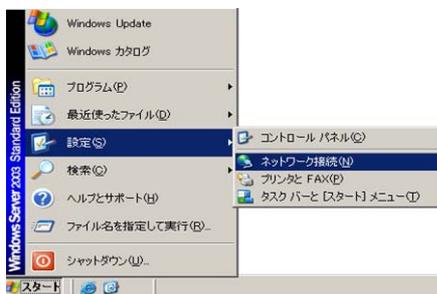
Windows XP/Server 2003 から印刷するためには、ご使用のコンピュータにあらかじめプリンタドライバをインストールする必要があります。以下の手順にしたがってプリンタとの接続確認を行い、プリンタドライバをインストールしてください。

3.1 プリンタとの接続確認

Windows からネットワーク経由でプリンタに直接印刷するためには、Windows に対して TCP/IP 環境を構築し、LPR ポートの設定を行う必要があります。プリンタドライバをインストールする前に、Windows のネットワーク設定、プリンタとコンピュータとの接続確認を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

 **参考** プリンタ本体のネットワークに関する設定方法は、製品添付の「ユーザズ ガイド」をご覧ください。また、Windows からネットワーク経由でプリンタに印刷する場合、本章で説明する LPR 印刷以外に NetWare サーバ経由で印刷する方法や Windows 同士の共有プリンタ経由で印刷する方法もあります。

- 1** プリンタとコンピュータをネットワークに接続して、プリンタの電源を入れます。
- 2** Windows を起動して、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。
- 3** まず、Windows の TCP/IP 設定を確認します。
[スタート] → [設定] → [ネットワーク接続] を選択し、ネットワーク接続を開きます。

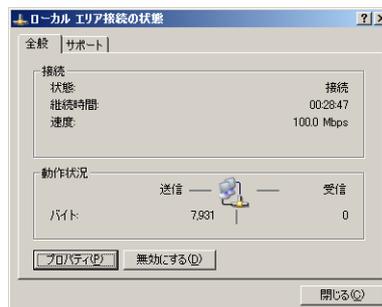


- 4** Windows Server 2003 の場合
[ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。



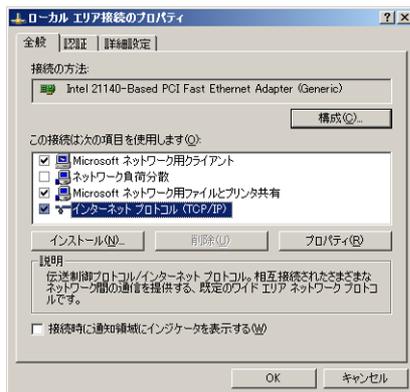
Windows XP の場合
[ネットワーク接続] をクリックします。
次に [ローカルエリア接続] アイコンを選択し、[ネットワークタスク] → [この接続の設定を変更する] をクリックします。

- 5** Windows Server 2003 の場合
[プロパティ] ボタンをクリックします。



Windows XP の場合
6 に進みます。

- 6 リストから [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択して、[プロパティ] ボタンをクリックします。



- 7 [IP アドレス] などの設定が正しく行われていることをご確認ください。



参考 IP アドレスなどの Windows に関する設定方法の詳細は、Windows のマニュアルやヘルプを参照したり、ネットワーク管理者にお問い合わせください。また、TCP/IP に関する技術情報は市販の図書などを参考にしてください。

- 8 次に、プリンタと Windows の間で TCP/IP 通信ができることを確認します。
[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [コマンドプロンプト] を選択します。

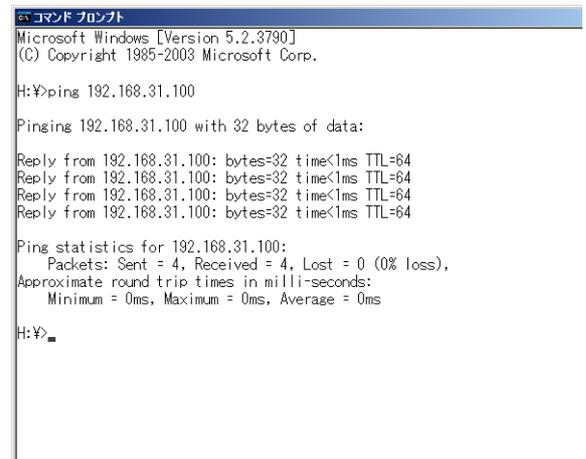


- 9 図のように ping コマンドを入力します。ping に続けてプリンタの IP アドレスを入力します。



参考 プリンタの IP アドレスは、プリンタ本体の操作パネルで [インフォメーション] → [ネットワーク] を選択して表示される内容をご確認ください。

- 10 図のように「Reply」メッセージが表示されれば接続確認の完了です。プリンタドライバのインストールに進みます。
「Request timed out.」が表示された場合は、プリンタの電源、ネットワークケーブルの接続、プリンタまたはコンピュータの TCP/IP 設定などを、再度ご確認ください。



ポイント LPR ポートの設定はプリンタドライバのインストール時に行います。

3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加

当社製プリンタドライバにおけるプリンタ状態監視機能はネットワーク管理の標準プロトコル SNMP (Simple Network Management Protocol) を用いてコンピュータとプリンタ間で通信を行い、印刷処理状況やプリンタに障害が発生していないかどうかを確認します。当社製プリンタドライバをインストールする前に、この SNMP を追加します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] を選択します。

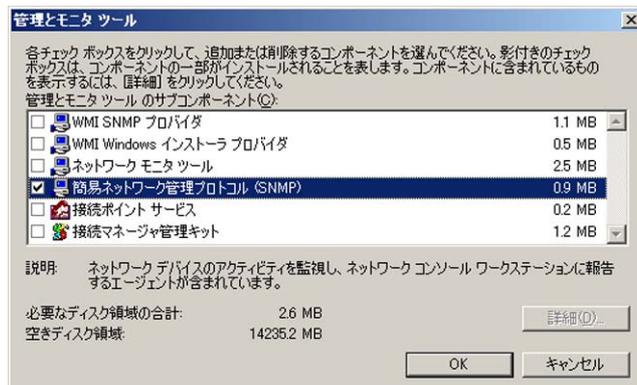
3 [プログラムの追加と削除] をダブルクリックします。

4 [Windows コンポーネントの追加と削除] をクリックします。

5 [コンポーネント] の [管理とモニタツール] を選択し、[詳細] ボタンをクリックします。このとき、[管理とモニタツール] のチェック状態は変更しないでください。



6 [簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP)] のチェックを ON にし、[OK] ボタンをクリックします。



7 [次へ] をクリックします。



8 下記のダイアログが表示された場合は指定された CD-ROM を挿入し、[OK] ボタンをクリックします。



9 下記のダイアログが表示された場合は [コピー元] を CD-ROM 上の有効なフォルダに設定し、[OK] ボタンをクリックします。



10 [完了] ボタンをクリックします。



15 [スタートアップの種類] → [自動] を選択し、[開始] ボタンをクリックします。



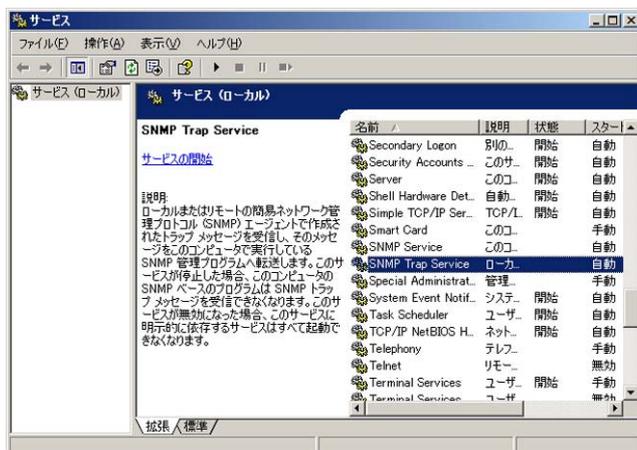
11 [プログラムの追加と削除] 画面右上の [×] をクリックします。

16 [OK] ボタンをクリックします。

12 コントロールパネル上の [管理ツール] をダブルクリックします。

13 [サービス] をダブルクリックします。

14 [SNMP Trap Service] をダブルクリックします。



3.3 プリンタドライバのインストール

Windows XP/Server 2003 用プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM から以下の手順にしたがって直接インストールすることができます。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

注意 製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前にお読みください。

ポイント プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、同じバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上に複数インストールして併用することは可能ですが、異なるバージョンのプリンタドライバを同じコンピュータ上で併用することはできません。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。

2 「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。

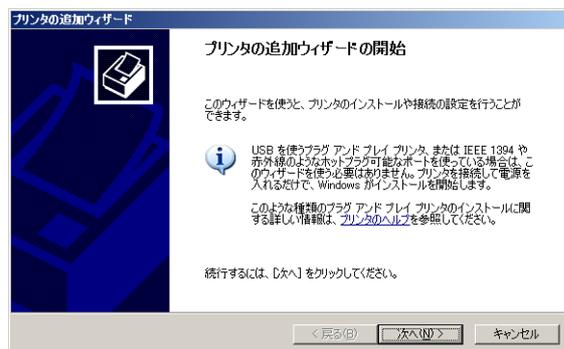


4 Windows Server 2003 の場合 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。



Windows XP の場合
[プリンタのタスク] → [プリンタのインストール] をクリックします。

5 [次へ] ボタンをクリックします。



6 [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] ボタンをクリックします。



ポイント プリンタをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択してください。



ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

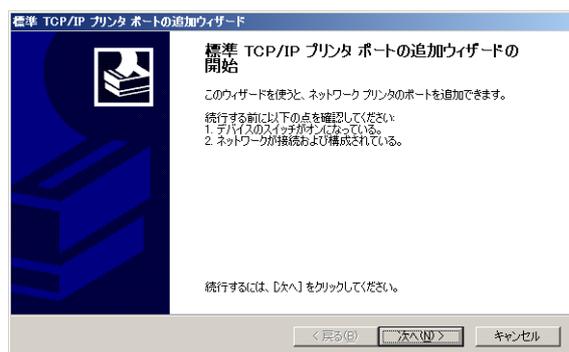
7 プリンタとの接続ポートを選択します。

一覧からポートを選択した場合は、[次へ] ボタンをクリックして **14** へ進んでください。新しい LPR ポートを作成する場合は、[新しいポートの作成] を選択し、[種類] から [Standard TCP/IP Port] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



プリンタポートは、プリンタドライバのインストール完了後に変更することもできます。詳しくは、**3.6 印刷するポートの変更** をご覧ください。

8 [次へ] ボタンをクリックします。



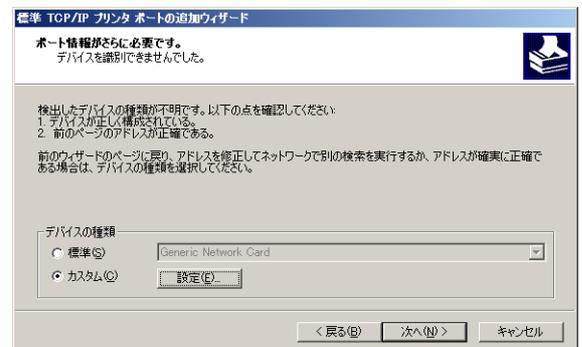
9

[プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



10

[カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



11

[プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。





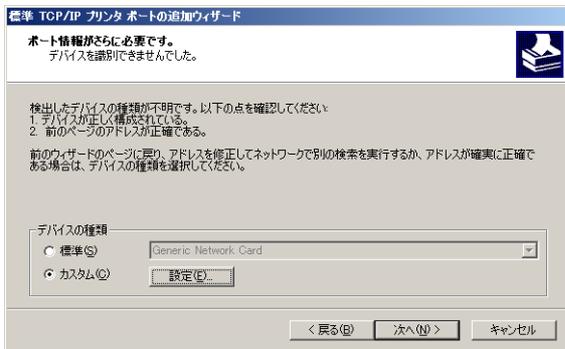
ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。



注意 [LPR バイトカウントを有効にする]のチェックがONのとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

12

[次へ] ボタンをクリックします。



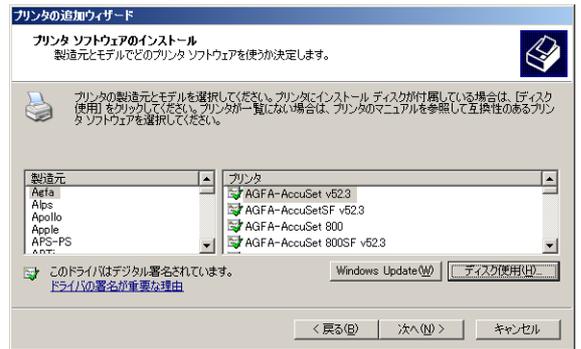
13

[完了] ボタンをクリックします。



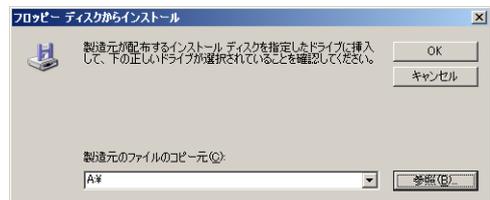
14

[ディスク使用] ボタンをクリックします。



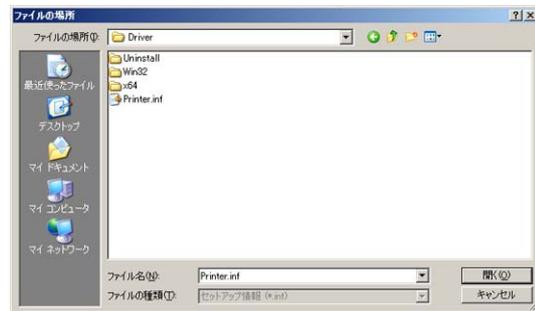
15

[参照] ボタンをクリックします。



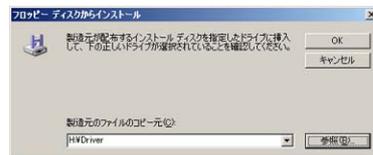
16

CD-ROM ドライブの [Driver] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



17

[OK] ボタンをクリックします。



- 18** プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



プリンタモデル
Hitachi HT-4558 Series/Type A
Hitachi HT-4558 Series/Type B

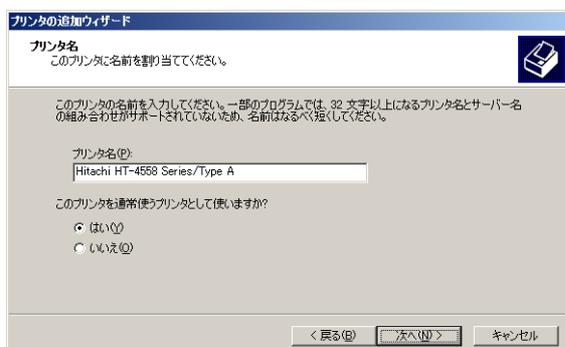


注意 プリンタモデルの違いについては、「[1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について](#)」をご覧ください。

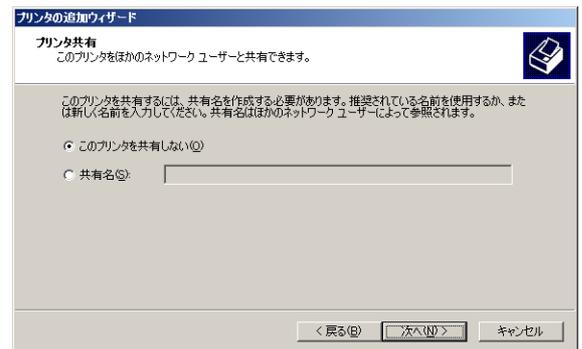
- 19** 下図のダイアログが表示された場合は、[新しいドライバに置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。このダイアログが表示されない場合は **20** に進みます。



- 20** [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

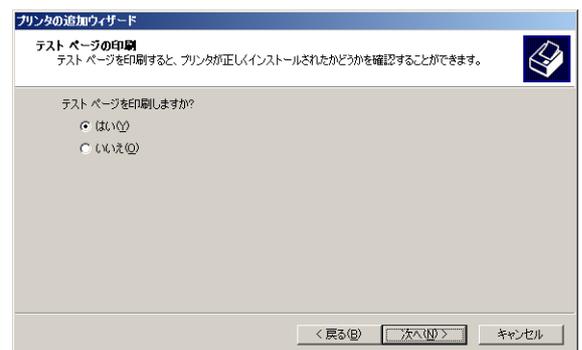


- 21** [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

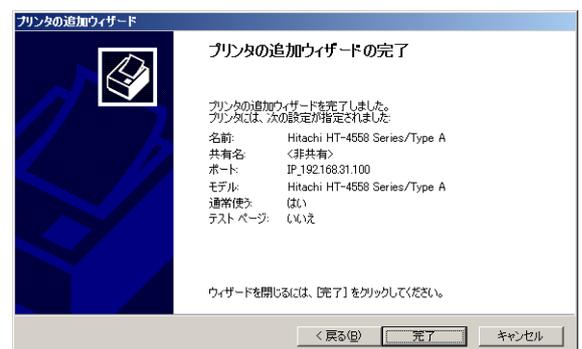


ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。プリンタ共有については、「[3.5 プリンタ共有](#)」をご覧ください。

- 22** プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため、[はい] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- 23** [完了] ボタンをクリックします。



- 24** [ハードウェアのインストール] ダイアログが表示されますので、[続行] ボタンをクリックします。ここでファイルのコピーが行われ、[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが追加されます。

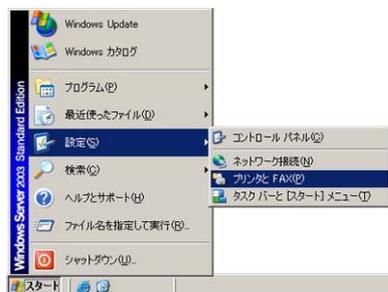
- 25** 最後に Readme ファイルをお読みください。
[プリンタと FAX] フォルダで、プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プリンタドライバの拡張] → [Readme ファイル] を選択します。



3.4 プロパティの表示

プリンタの [プロパティ] を表示するには次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

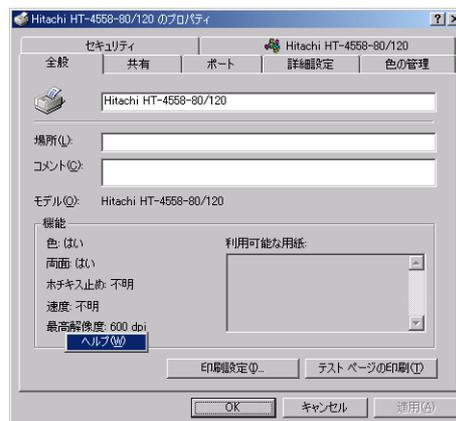
- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



- 3** [全般] や [共有] などのタブをクリックすると、プロパティの表示内容が切り替わります。各項目の説明については、オンラインヘルプをご覧ください。



! オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。

参考 [共有] については、「3.5 プリンタ共有」を、[ポート] については「3.6 印刷するポートの変更」をそれぞれご覧ください。

- 4** プリンタドライバのバージョンを確認するには、プリンタアイコンと同じ名称のプロパティを表示します。

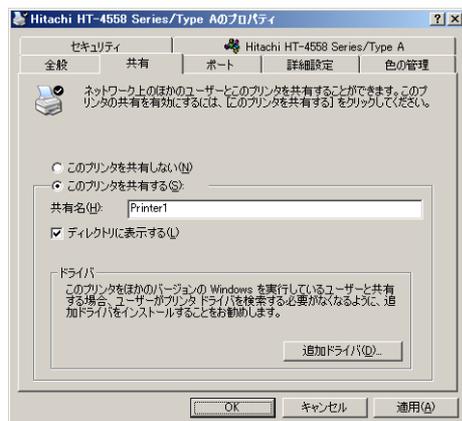


参考 プリンタドライバをご使用の場合はプリンタアイコンと同じ名称のプロパティが表示されますが、別の種類のプリンタドライバでは [デバイスの設定] プロパティが表示されます。

3.5 プリンタ共有

ネットワーク接続された他のクライアントコンピュータから、Windows XP/Server 2003 が動作しているコンピュータを経由して印刷するとき、プリンタの [共有] 機能を使用します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** 「3.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、[共有] プロパティを表示します。



- 2** [共有する] を選択して、共有プリンタの名前を入力します。クライアントコンピュータでは、通常ここで入力した名前が「共有プリンタ名」として認識されます。



ポイント プリンタを [共有する] とネットワーク上に共有プリンタとして公開されます。Windows 上の共有プリンタは、クライアントコンピュータが送信した印刷データを受信し、さらに [ポート] プロパティで指定されたポートにこの印刷データを送信します。なお、クライアントコンピュータから Windows 上の共有プリンタを経由して印刷するには、クライアントコンピュータから共有プリンタを公開している Windows にネットワーク接続でログオンできることが前提となります。

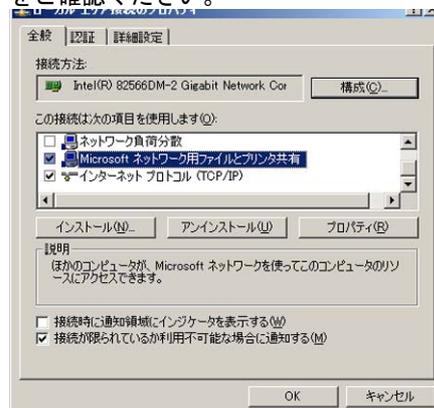
- 3** [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



注意 [共有] プロパティの [追加ドライバ] ボタンをクリックすると、クライアントコンピュータから要求があった時にプリンタドライバを自動的にダウンロードするように、あらかじめプリンタドライバを共有プリンタを公開している Windows 上に格納しておくことができます。しかし、製品添付のプリンタドライバを [追加ドライバ] として格納することはできません。クライアントコンピュータ用のプリンタドライバは、個々のコンピュータごとにインストールしてください。



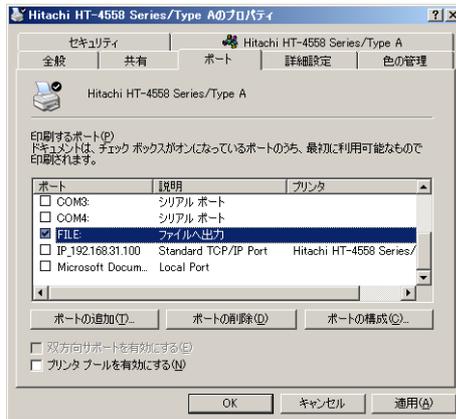
[共有] 設定ができない場合は、[Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。[スタート] → [設定] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択し、[ローカルエリア接続] の [プロパティ] を表示します。[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有] が組み込まれていて、チェックボックスが ON になっていることをご確認ください。



3.6 印刷するポートの変更

IP アドレスの変更などによりプリンタとの接続先を変更しなければならない場合や、プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は、次の手順でプリンタとの接続ポートを変更します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** 「3.4 プロパティの表示」の手順にしたがって、[ポート] を表示します。



- 2** [印刷するポート] リストから接続ポートを選択し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

! **ポイント** プリンタドライバが生成する印刷データをファイルに保存する場合は [FILE] を選択します。新たに接続ポートを追加する場合は [ポートの追加] ボタンをクリックします。

3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

2 [Standard TCP/IP Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



ポイント リストに [LPR Port] が表示される場合でも、必ず [Standard TCP/IP Port] を選択してください。

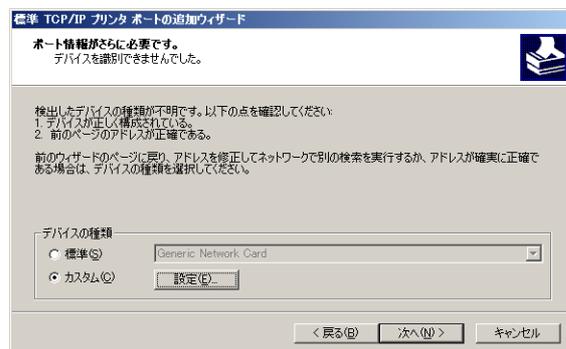
3 [次へ] ボタンをクリックします。



4 [プリンタ名または IP アドレス] にはプリンタの IP アドレスを入力して、[次へ] ボタンをクリックします。なお、[ポート名] は任意の名称に変更することも可能です。



5 [カスタム] を選択して [設定] ボタンをクリックします。



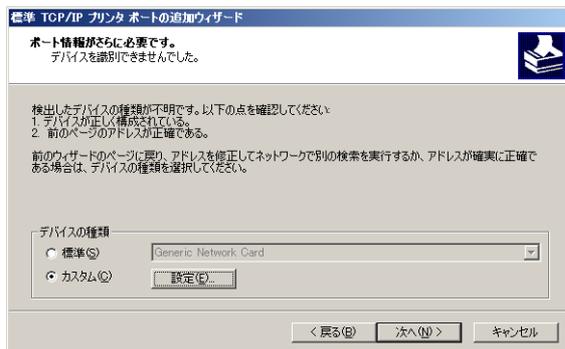
6 [プロトコル] は [LPR] を選択します。[キュー名] には論理プリンタ名を入力し、[LPR バイトカウントを有効にする] のチェックを ON に、[SNMP ステータスを有効にする] のチェックを OFF にして [OK] ボタンをクリックします。



ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、「vp-pcl」などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、「vp-pcl」を論理プリンタ名として使用します。「vp-pcl」はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

注意 [LPR バイトカウントを有効にする] のチェックが ON のとき、印刷ジョブサイズが制限値を超えた場合、途中ページで印刷を中止し、再度先頭ページから印刷する場合があります。詳細につきましては、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

7 [次へ] ボタンをクリックします。



8 [完了] ボタンをクリックします。



9 [閉じる] ボタンをクリックします。



10 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



3.6.2 プリントサーバを経由して印刷する場合

1 [ポート] プロパティで [ポートの追加] ボタンをクリックします。

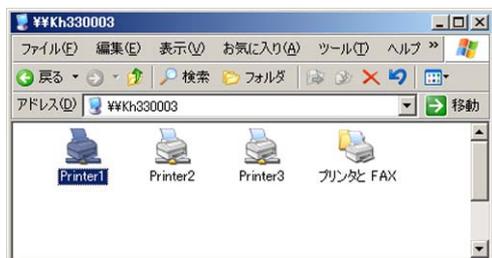
2 [Local Port] を選択し、[新しいポート] ボタンをクリックします。



3 [ポート名] を“¥サーバ名¥共有プリンタ名”の書式で入力し、[OK] ボタンをクリックします。図はサーバ名が kh330003 で共有プリンタ名が Printer1 の場合の例です。



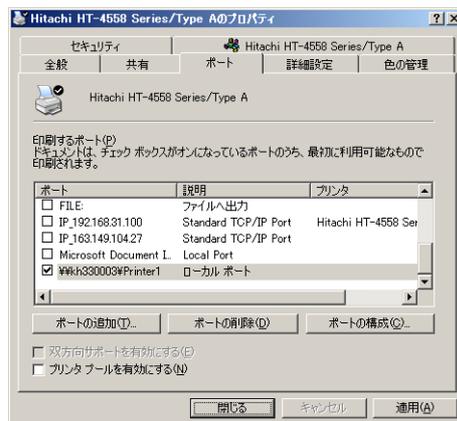
ポイント ポート名として入力することができるサーバ名と共有プリンタ名を確認するには、デスクトップ上の [マイネットワーク] を使用します。[マイネットワーク] からサーバとなるコンピュータを探します。サーバとなるコンピュータのアイコンをダブルクリックして開くと、共有することが可能なプリンタ名が表示されます。



4 [閉じる] ボタンをクリックします。



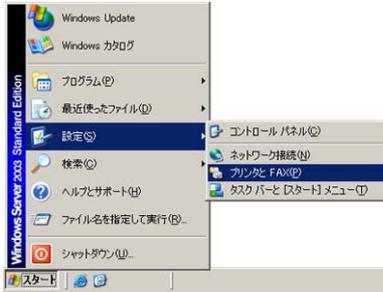
5 [閉じる] ボタンをクリックしてプリンタの [プロパティ] を閉じます。



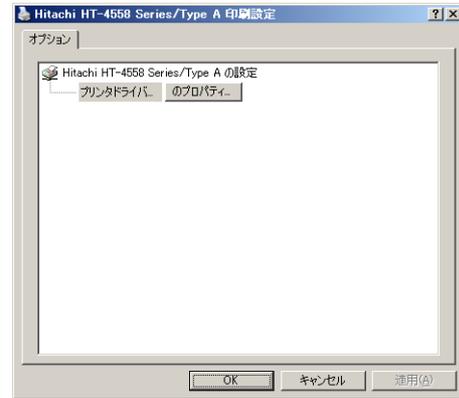
3.7 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更し、新たな初期値として保存するには、次の手順で操作を行います。アプリケーションソフトから印刷する場合、ここでのプリンタドライバの設定が初期値となります。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 3** [のプロパティ] ボタンをクリックします。



- 2** プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



- 4** プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。



- 参考** 各ダイアログの詳細は「[第4章 プリンタドライバの設定](#)」をご覧ください。

- 5** [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログと [プロパティ] を閉じます。

3.8 アプリケーションソフトからの印刷

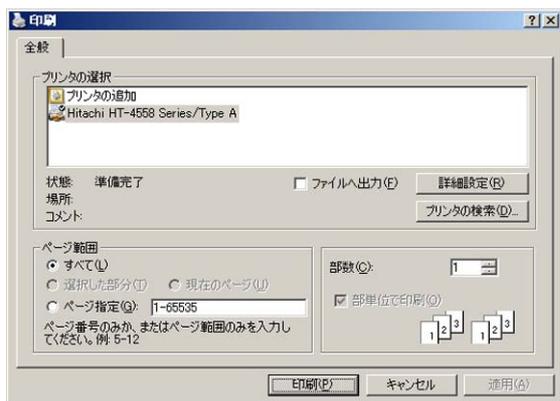
プリンタドライバのさまざまな機能を利用してアプリケーションソフトから印刷するには、次の手順でプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

参考 ここでは Windows Server 2003 付属のワードパッドで印刷する場合の例を示します。ご使用になるアプリケーションソフトごとにメニューやダイアログの表示内容は異なります。詳しくはアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

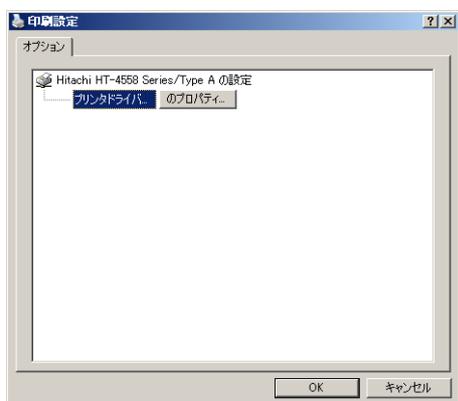
1 [ファイル] → [印刷] を選択します。



2 [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [のプロパティ] ボタンをクリックします。



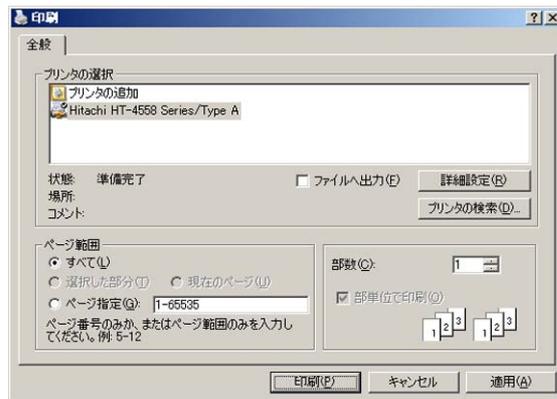
4 プリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。ここでプリンタドライバの設定を変更します。



参考 各ダイアログの詳細は「第4章 プリンタドライバの設定」をご覧ください。

5 [OK] ボタンをクリックしてプリンタドライバの設定ダイアログを閉じます。

6 必要に応じて [ページ範囲] や [部数]などを指定します。[印刷] ボタンをクリックすると印刷が行われます。



注意 アプリケーションソフトによっては、[部単位で印刷] や [丁合い] のチェックボックスが表示されるものがあります。この [部単位で印刷] や [丁合い] のチェックは必ず外してください。チェックボックスをチェックした状態で複数部数印刷すると、プリンタへ送信する印刷データ量が增大して印刷スピードが低下する原因となります。印刷ダイアログの [部単位で印刷] または [丁合い] のチェックを外して印刷しても、プリンタドライバの [ドキュメント] ダイアログ→ [丁合い] のチェックが ON (初期値) であれば、各部ごとにページ順で印刷することができます。

3.9 プリンタドライバのアンインストール

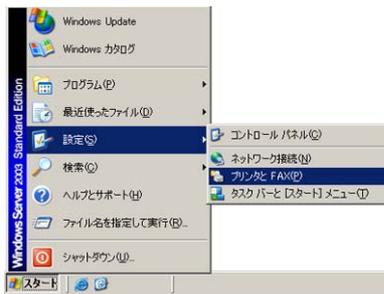
3.9.1 プリンタアイコンの削除

プリンタドライバを削除するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名で Windows にログオンします。このとき動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。

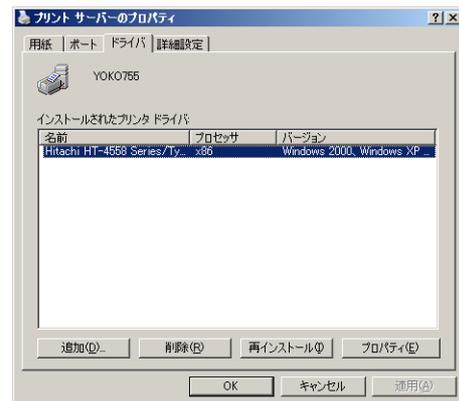
！ **ポイント** 続けて **6** 以降の処理を行うためには必ずコンピュータを再起動してください。再起動しない場合はプリンタドライバ関連のファイルを削除することができません。

2 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。

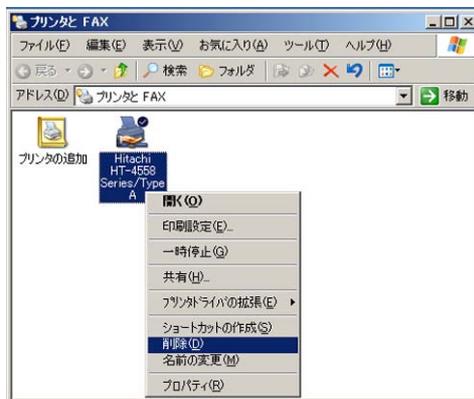


6 再度、[プリンタと FAX] を開き [ファイル] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

7 [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログが表示されます。[ドライバ] タブを選択して、[インストールされたプリンタドライバ] のリストから削除対象のプリンタ名を選択して [削除] ボタンをクリックします。



3 削除するプリンタドライバのプリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [削除] を選択します。



8 削除確認メッセージが表示されますので [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **7** から **8** を繰り返します。

4 [はい] ボタンをクリックします。削除したいプリンタに対して **3** から **4** を繰り返します。



5 次の処理を行うために一旦 Windows を再起動します。

3.9.2 プリンタドライバを構成するファイルの削除

プリンタドライバを構成するファイルを Windows システムから削除するには、次の手順で操作を行います。



注意

本節の操作が必要となるのは次のような場合です。同じバージョンのプリンタドライバを追加インストールする場合は以下の操作は不要です。

- プリンタドライバをすべて削除してから、再度プリンタドライバをインストールする。
- プリンタドライバのバージョンアップを行う。

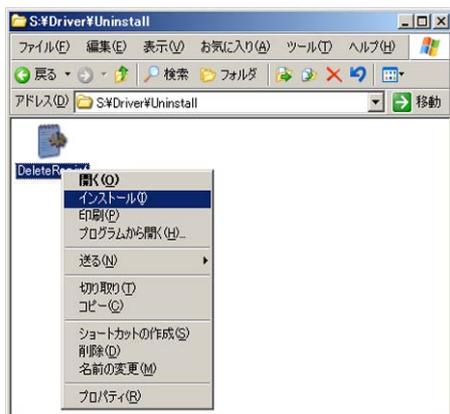
1 すべてのプリンタドライバを [プリンタ] フォルダから削除します。

プリンタドライバの削除方法については、「[3.9.1 プリンタアイコンの削除](#)」を参照してください。

2 「ソフトウェア & ユーティリティ」CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

3 CD-ROM 内の [Driver] → [Uninstall] フォルダを開きます。

4 次に [DeleteReg.inf] アイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [インストール] を選択します。



参考 Windows Server 2003 では、警告メッセージが表示されます。ファイル名と発信元をご確認の上 [開く] ボタンをクリックしてください。



注意

この操作を行うと [プロファイル] の設定など、プリンタドライバの設定情報はすべてなくなります。

5 Windows を再起動します。

第4章

プリンタドライバの設定

第4章 プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定をすると、いろいろな機能を使って印刷することができます。本章では、プリンタドライバの設定方法について説明します。



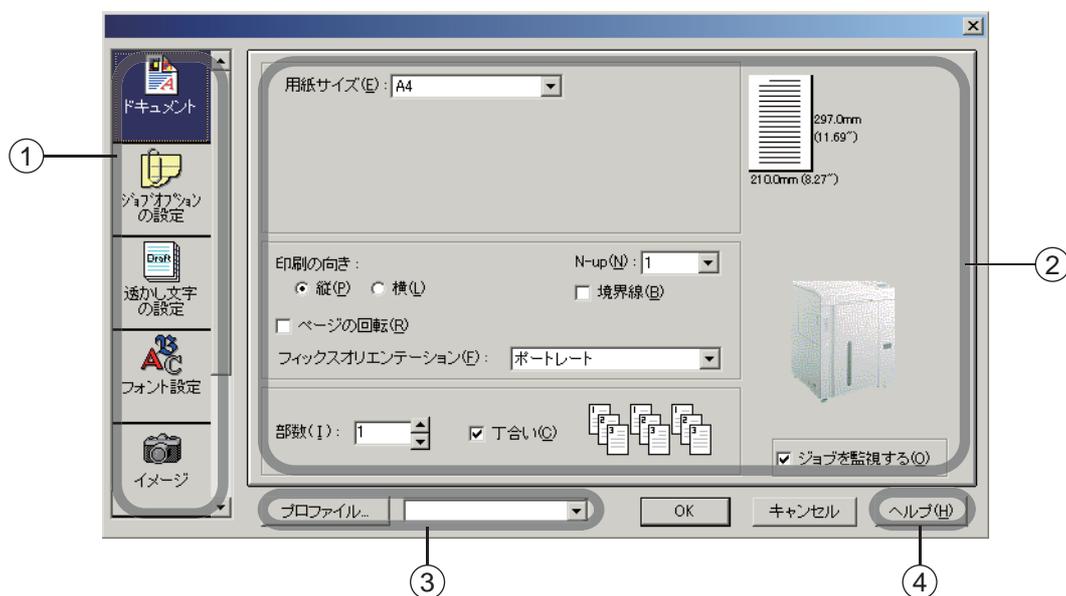
本マニュアルに記載している画面の図は、説明のためにすべての設定項目を表示しています。プリンタドライバインストール時の設定によって表示内容は変わります。

4.1 ダイアログの構成

プリンタドライバのダイアログ構成を説明します。



プリンタドライバの設定ダイアログを開くには、第2章～第3章の「プリンタドライバ初期値の変更」または「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。



① 設定メニューリスト
プリンタドライバの各機能グループの選択に使用します。項目をクリックすることにより「②設定画面」が切り替わります。

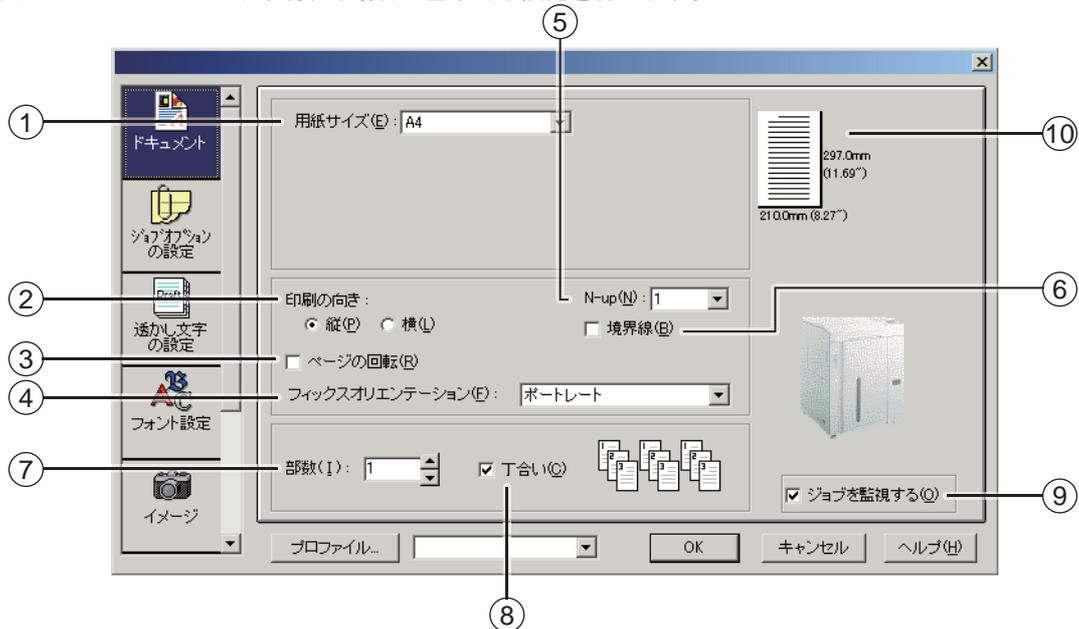
② 設定画面
各種設定を行うために使用します。

③ プロファイル
プロファイルのリストを表示します。プロファイルとは、プリンタドライバの各種設定情報（用紙サイズなどの設定）をライブラリとして登録しておき、いつでも呼び出して瞬時にプリンタドライバの設定内容を切り換えるためのものです。設定内容はプロファイル名として任意の名前を付けておくことができ、使用目的に応じてリストから選択することができます。詳しくは「[4.10 プロファイルの活用](#)」をご覧ください。

④ ヘルプボタン
プリンタドライバの機能説明を画面に表示します。

4.2 [ドキュメント] ダイアログ

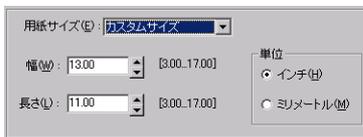
アプリケーションソフトから印刷する場合の基本的な設定を行います。



- ① 用紙サイズ
用紙のサイズを選択します。

[カスタムサイズ] を選択すると、カスタム用紙のサイズを定義することができます。カスタムサイズの設定は、プリンタモデルごとに以下ようになります。

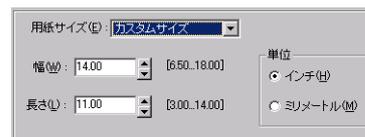
・「Hitachi HT-4558 Series/Type A」の場合



用紙送り方向に対し、垂直方向を [幅]、水平方向を [長さ] として入力します。このとき、用紙両端の送り穴の部分の長さ (1inch = 25.4mm) は引き算します。以下の設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		13 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		10 inch	14 inch

・「Hitachi HT-4558 Series/Type B」の場合



用紙送り方向に対し、垂直方向を [幅]、水平方向を [長さ] として入力します。このとき、用紙両端の送り穴の部分の長さ (1inch = 25.4mm) は含めるようにします。以下に設定例を示します。

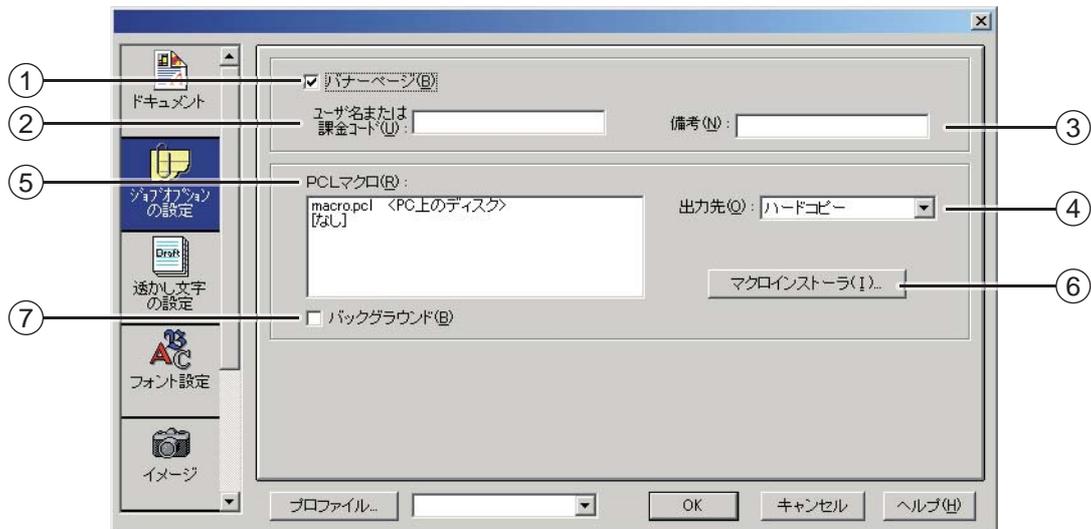
用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		14 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		11 inch	14 inch

- ② 印刷の向き
アプリケーションソフトでの文書の用紙方向を選択します。
- ③ ページの回転
チェックボックスを選択すると、180度回転して印刷します。

- ④ **フィックスオリエンテーション**
プリンタにセットされている用紙に関わらず、設定値の用紙方向に印刷イメージを固定します。本オプションには [ポートレート]、[ランドスケープ] のいずれかを選択できます。詳しくは「[4.9 フィックスオリエンテーションについて](#)」をご覧ください。
- ！** [N-up] の設定やアプリケーションソフトによっては、印刷方向が逆になることがあります。このような場合には、本オプションの設定を行います。
- ⑤ **N-up**
1 枚の用紙片面に何ページ分のページイメージを印刷するかを指定します。
- ⑥ **境界線**
ページの境界線を印刷します。
- ⑦ **部数**
コピー部数を指定します。
- ⑧ **丁合い**
チェックボックスを選択すると、ページ順に複数部数の印刷を行います。
- ⑨ **ジョブを監視する**
チェックボックスを選択すると、アプリケーションソフトから印刷するときにプリントモニタを起動して印刷ジョブを監視します。
- ！** プリンタドライバのインストール時にプリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を有効とした場合にのみ適用されます。
- ⑩ **用紙アイコン**
用紙サイズを選択状態を表示します。

4.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ

バナーページに印刷する情報の入力と PCL マクロの設定を行います。



① **バナーページ**
 チェックボックスを選択すると、バナーページを印刷します。

② **ユーザ名または課金コード**
 バナーページの [User/Project] 欄に、ここで入力した文字列が印刷されます。

③ **備考**
 バナーページの [Note] 欄に、ここで入力した文字列が印刷されます。

④ **出力先**
 プリンタドライバが生成する印刷データの出力先を指定します。
 通常では [ハードコピー] を選択します。この場合はプリンタに印刷データを出力します。一方、[PCL マクロ] を選択してアプリケーションソフトから印刷すると、コンピュータ上のファイルとしてマクロデータを作成することができます。

! マクロデータを作成するときは、⑤ [PCL マクロ] ポイント リストで [なし] を選択します。

! 「4.11 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

⑤ **PCL マクロ**
 ⑥ [マクロインストーラ] により登録されたマクロデータをリスト表示します。リストからマクロデータを選択してアプリケーションソフトから印刷すると、印刷データにマクロデータを重ね合わせた印刷をすることができます。

! マクロデータの重ね合わせ印刷をするときは、④ ポイント [出力先] は [ハードコピー] にします。

! 「4.11 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

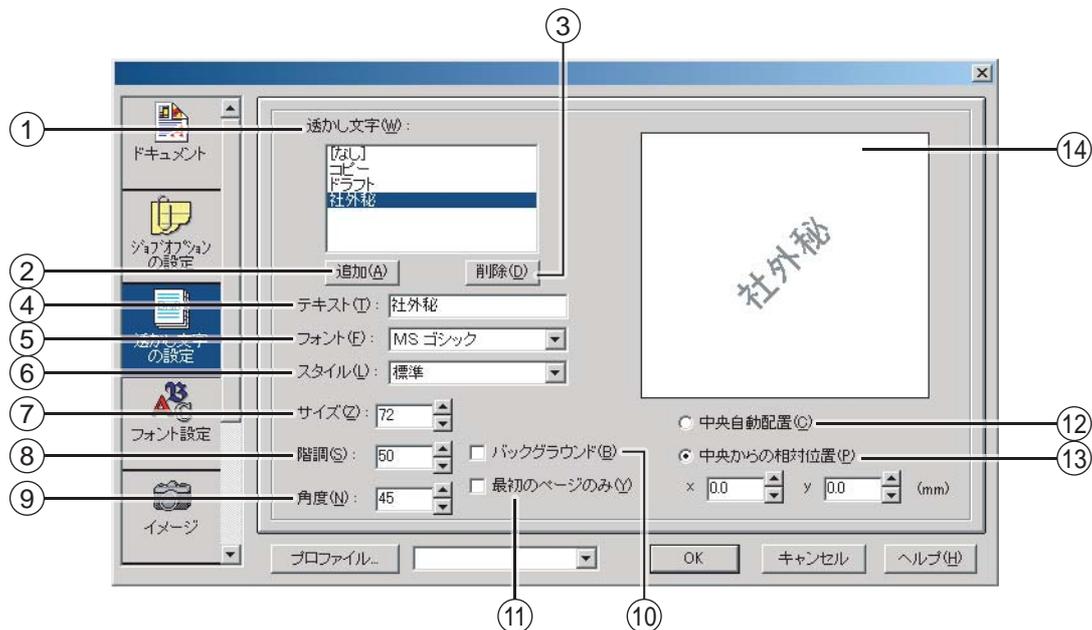
⑥ **マクロインストーラ**
 ボタンをクリックすると、PCL マクロインストーラが起動します。PCL マクロインストーラを使用すると、プリンタドライバで作成したマクロデータを⑤ [PCL マクロ] リストに登録することができます。

! 「4.11 PCL マクロによる重ね合わせ印刷」をご覧ください。

⑦ **バックグラウンド**
 チェックボックスを選択すると、マクロデータを最初に描画してから印刷イメージを重ね合わせて印刷します。印刷イメージがマクロデータによって消されてしまうような場合に有効です。

4.4 [透かし文字の設定] ダイアログ

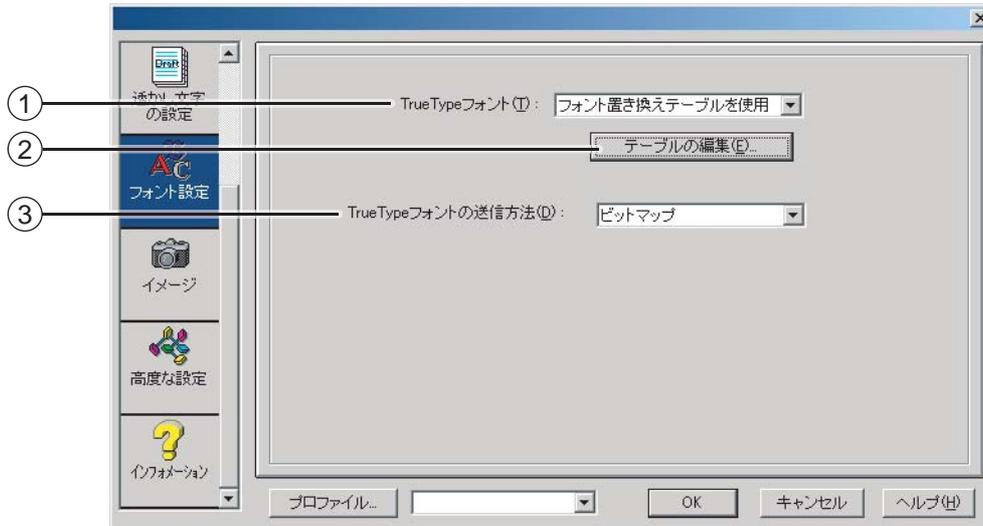
透かし文字を印刷イメージに重ね合わせて印刷する場合の設定を行います。



- ① 透かし文字
透かし文字として印刷する文字列をリストから選択します。
- ② 追加
ボタンをクリックすると、④ [テキスト] に<新規>入力用のテキストが表示されます。任意の文字列を入力することにより、① [透かし文字] リストに追加することができます。
- ③ 削除
① [透かし文字] リストで選択されている文字列を、リストから削除します。
- ④ テキスト
透かし文字として登録する文字列を入力します。② [追加] ボタンをクリックしてから文字列を入力します。
- ⑤ フォント
透かし文字を印刷するときに使用するフォントを指定します。
- ⑥ スタイル
透かし文字を印刷するときに使用するフォントスタイルを選択します。
- ⑦ サイズ
透かし文字を印刷するときに用いるフォントのサイズを指定します。
- ⑧ 階調
透かし文字の濃度を指定します。0% が白で 100% が黒となります。
- ⑨ 角度
透かし文字の角度を指定します。[0] ~ [360] の範囲で指定します。日本語フォントの1文字1文字は角度を持ちません。
- ⑩ バックグラウンド
チェックボックスを選択すると、透かし文字を最初に描画してから印刷イメージを重ね合わせて印刷します。印刷イメージが透かし文字によって消されてしまうような場合に有効です。
- ⑪ 最初のページのみ
チェックボックスを選択すると、先頭ページのみ透かし文字を印刷します。
- ⑫ 中央自動配置
透かし文字の印刷位置を、用紙中央にします。
- ⑬ 中央からの相対位置
透かし文字の印字位置を、用紙中央からの相対位置で指定します。相対位置は (x, y) それぞれ、-2540.0 ~ 2540.0 mm の範囲で指定します。
- ⑭ プレビュー
透かし文字のプレビューを表示します。

4.5 [フォント設定] ダイアログ

TrueType フォントの印刷に関する設定を行います。



① TrueType フォント

アプリケーションソフトの文書中で使用されている TrueType フォントをどのように印刷するかを指定します。

[フォント置き換えテーブルを使用]

[フォント置き換えテーブル] の設定にしたがって、任意の TrueType フォントを任意のプリンタフォントに置き換えて印刷するように指定します。TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えると、一般に印刷データ量が小さくなりますが、画面上のフォントと印刷で使用するフォントのデザインは一致しなくなります。

[常にプリンタフォントを使用]

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷します。TrueType フォントが送信されずに印刷速度は向上しますが、画面上のフォントと印刷で使用するフォントのデザインが一致しない場合があります。

[常に TrueType フォントを使用]

プリンタフォントへの置き換えは行わずに、TrueType フォントをそのまま使用して印刷します。画面上のフォントと印刷で使用するフォントが同じになりますが、印刷データ量が大きくなり印刷時間が長くなる場合があります。

② テーブルの編集

ボタンをクリックすると [フォント置き換えテーブル] ダイアログが開きます。



Windows に登録されている [TrueType フォント] がリストアップされますので、[プリンタフォント] への置き換えを指定します。[プリンタフォント] リスト最上部の [ソフトフォントとしてダウンロード] を指定すると、[プリンタフォント] への置き換えはしません。

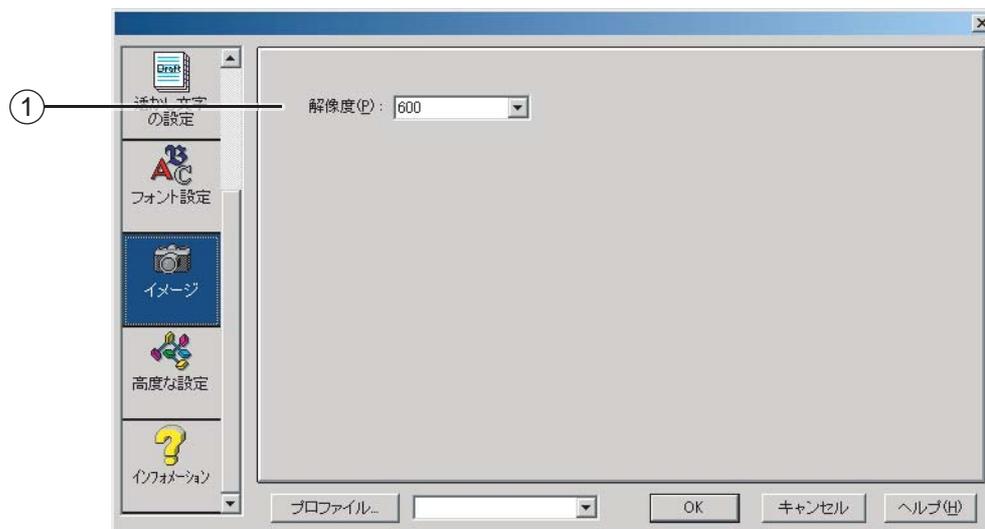
ポイント 外字などを印刷する場合は [ソフトフォントとしてダウンロード] を指定します。

参考 [プリンタフォント] への置き換えを指定すると、[TrueType フォント] 名の後に (プリンタフォント名) が付加されます。

③ TrueType フォントの送信方法 [ビットマップ] 固定です。

4.6 [イメージ] ダイアログ

解像度の設定を行います。



- ① 解像度
プリンタの解像度を指定します。

4.7 [高度な設定] ダイアログ

プリンタドライバが印刷データを生成する際に使用するページ記述言語の選択などを行います。



- ① ページ記述言語
プリンタドライバが生成するページ記述言語を選択します。[PCL5e] 固定です。
- ② 圧縮方式
画像データの圧縮方式を選択します。[なし] 以外を選択するとプリンタへの送信データ量が少なくなります。
- ③ メタファイルスプーリング
メタファイル (EMF) スプーリングを必要とするアプリケーションソフトをご使用の場合は、チェックボックスを選択します。
- ④ 利用可能メモリ
印刷時に利用可能なプリンタメモリの量を指定します。印刷中に問題が発生した場合は、設定値を小さくしたり、⑤ [1 ページごとにメモリをクリア] を選択します。
- ⑤ 1 ページごとにメモリをクリア
印刷ジョブの各ページごとにプリンタ内部で使用しているメモリをクリアします。



注意

メタファイルスプーリングする場合は、次の機能は無効になります。
[ドキュメント] ダイアログ → [ジョブを監視する]
[ジョブオプションの設定] ダイアログ → [バナーページ]
[透かし文字の設定] ダイアログ

4.8 [インフォメーション] ダイアログ

プリンタドライバのバージョン情報や著作権情報などを表示します。



4.9 フィックスオリエンテーションについて

フィックスオリエンテーションは、プリンタにセットされている用紙に関わらず、設定値と同じ用紙方向で印刷する時のイメージで印刷する機能で、本オプションの設定値には「無効」、「ポートレート」（初期値）、「ランドスケープ」があります。

「無効」の場合は、プリンタにセットされている用紙に対応する「印刷の向き」のイメージで印刷します。

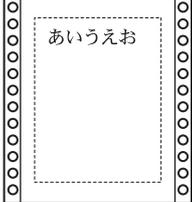
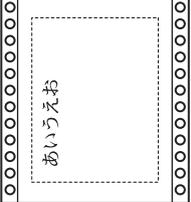
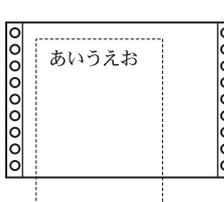
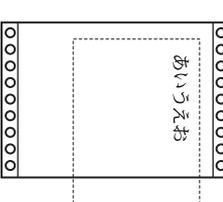
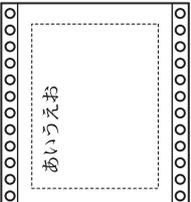
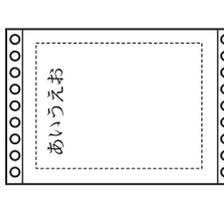
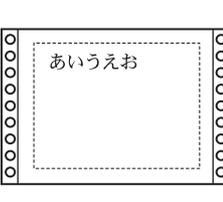
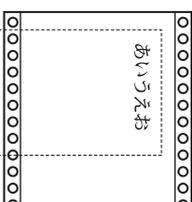
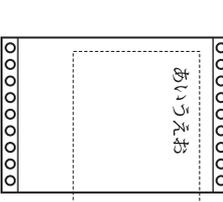
「ポートレート」の場合は、プリンタにセットされている用紙に関係なく、ポートレートの用紙を使用した時のイメージで印刷します。

「ランドスケープ」の場合は、プリンタにセットされている用紙に関係なく、ランドスケープの用紙を使用した時のイメージで印刷します。

なお、用紙方向とはプリンタにセットされている用紙の向きを表し、「ポートレート」は「用紙幅 ≤ 用紙長」、「ランドスケープ」は「用紙幅 > 用紙長」の用紙がセットされていることを表します。

下表に、プリンタモデル毎にフィックスオリエンテーション、用紙方向、印刷の向きの設定による印刷イメージを示します。なお、用紙送り方向は上向きとします。

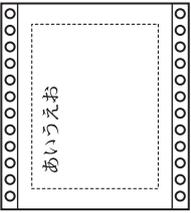
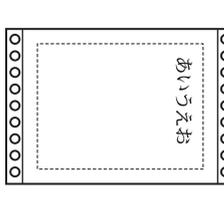
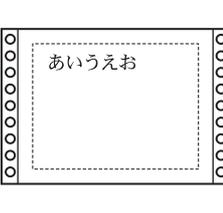
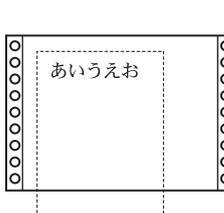
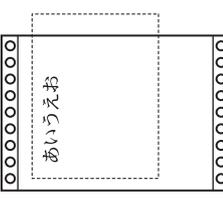
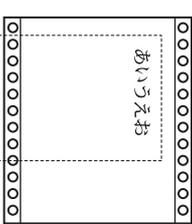
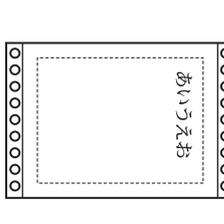
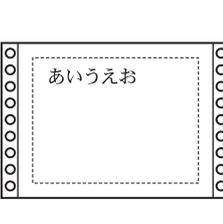
◇当社製プリンタドライバ「Hitachi HT-4558 Series/Type A」の場合

用紙方向 印刷の向き	ポートレート 		ランドスケープ 	
	縦 	横 	縦 	横 
無効				
ポートレート				
ランドスケープ				



2-up を指定した時やアプリケーションによっては印刷結果の「印刷の向き」が逆になる場合があります。このような場合には本オプションの「無効」、または「ランドスケープ」を指定して印刷してください。

◇当社製プリンタドライバ「Hitachi HT-4558 Series/Type B」の場合

用紙方向 印刷の向き	ポートレート 		ランドスケープ 	
	縦 	横 	縦 	横 
無効				
ポートレート				
ランドスケープ				



プリンタドライバのプリンタモデルが「Hitachi HT-4558 Series/Type B」の場合、本オプションの初期値は「無効」となります。



通常は初期設定値の「無効」を指定しますが、2-up を指定した時やアプリケーションによっては印刷結果の「印刷の向き」が逆になる場合があります。このような場合には本オプションの「ポートレート」、または「ランドスケープ」を指定して印刷してください。例えば、横長用紙 18 × 11 インチに A4 縦長の PDF ファイルを Acrobat 5.x または Acrobat Reader 5.x から 2-up 指定して印刷する場合は、期待する 2-up 印刷ができませんので、本オプションで「ポートレート」を指定して印刷してください。

4.10 プロファイルの活用

用紙サイズ、ジョブオプションなどのプリンタドライバの各種設定情報をライブラリとして登録しておき、瞬時に呼び出してプリンタドライバの設定内容を切り換えるための機能がプロファイルです。このプロファイル機能を活用すると、面倒な操作を行わずに効率よく印刷設定することができます。

4.10.1 プロファイルによる設定内容の切り換え

プロファイルとして登録されているライブラリは、[プロファイル] ボタンの右にリストアップされます。例えば [標準] を選択すると、プリンタドライバの初期設定値となります。また、[カスタム] を選択すると、カスタムサイズの文書を印刷するように、プリンタドライバの設定が変更されます。



プロファイルの登録方法や削除方法については、以下の説明をご覧ください。

4.10.2 プロファイルの登録

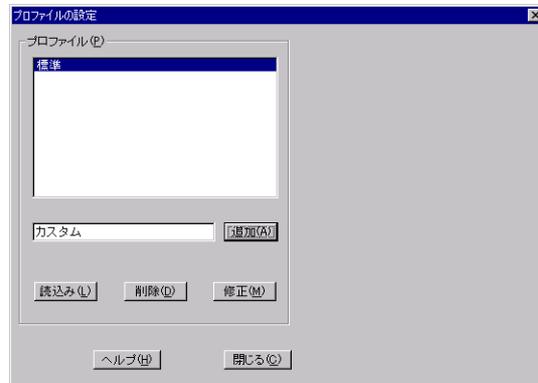
ここではカスタム用紙サイズの設定をプロファイルとして登録する場合の例を示します。

1 プロファイルとして保存するプリンタドライバの設定を行います。カスタム用紙サイズの設定をするには、[ドキュメント] ダイアログの [用紙サイズ] で [カスタムサイズ] を選択します。

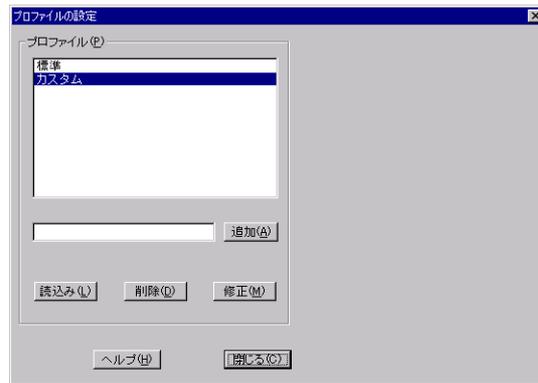
2 [プロファイル] ボタンをクリックします。



3 プロファイル名を入力して、[追加] ボタンをクリックします。



4 [プロファイル] リストに追加されたことを確認して、[閉じる] ボタンをクリックします。



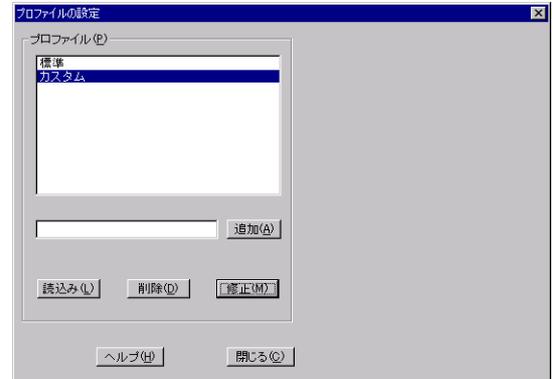
4.10.3 プロファイル登録内容の変更

ここでは既にプロファイルとして登録されている設定内容を変更する手順を示します。

1 変更するプロファイルを選択します。



3 登録内容を変更するプロファイル名を [プロファイル] リストから選択します。



2 プリンタドライバの設定を変更して、[プロファイル] ボタンをクリックします。



4 [修正] ボタンをクリックします。これにより変更したプリンタドライバの設定内容が保存されます。

参考 [修正] ボタンを選択できない場合は、[プロファイル] リストで他のプロファイル名を選択してから再度登録内容を変更するプロファイル名を選択します。

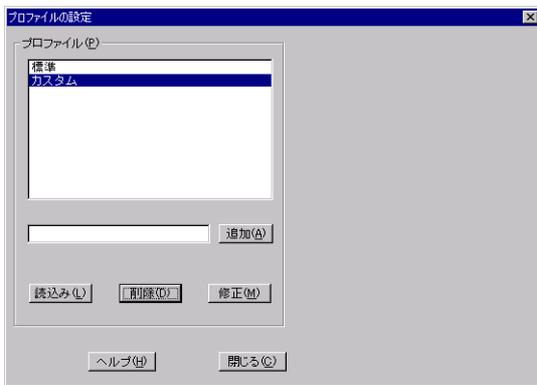
5 [閉じる] ボタンをクリックします。

4.10.4 プロファイルの削除

1 [プロファイル] ボタンをクリックします。



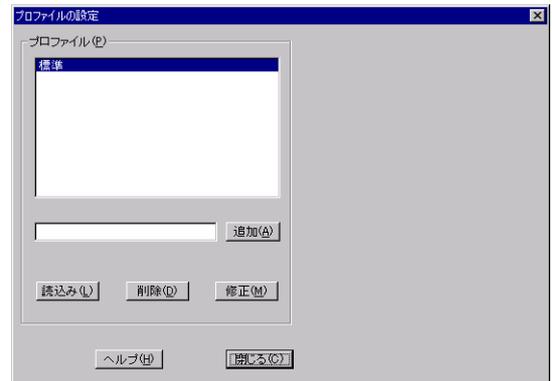
2 [プロファイル] リストから削除するプロファイル名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。



3 [はい] ボタンをクリックします。



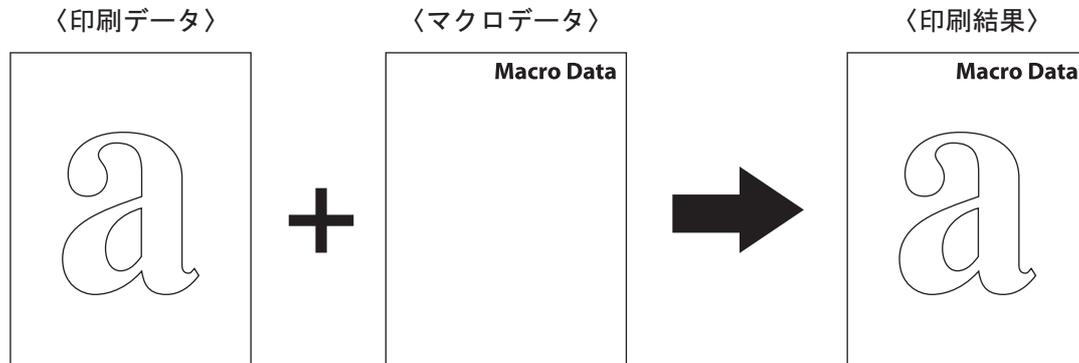
4 [閉じる] ボタンをクリックします。



4.11 PCL マクロによる重ね合わせ印刷

4.11.1 PCL マクロの概要

PCL マクロ機能を利用すると、アプリケーションソフトから印刷するときに、あらかじめ作成しておいたマクロデータを、印刷データに重ね合わせて印刷することができます。



! 印刷データにマクロデータを上書きしますので、印刷データとマクロデータが重なる部分はマクロデータの方がポイント上になります。「5.3 [ジョブオプションの設定] ダイアログ ⑦バックグラウンド」をご覧ください。

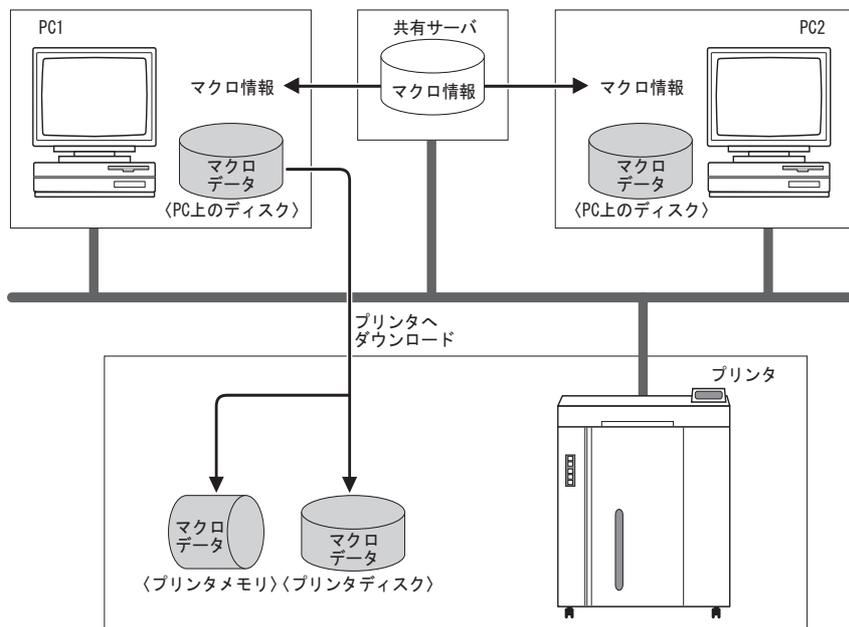
PCL マクロによる重ね合わせ印刷を行うには次の手順が必要です。

- ①マクロデータの作成
- ②マクロデータの登録
- ③マクロデータを指定した重ね合わせ印刷

詳しくは以下の説明をご覧ください。

4.11.2 マクロデータについて

マクロデータを使用するためには、まずマクロデータを作成し、次にコンピュータ（PC）やプリンタに登録する必要があります。マクロデータの登録場所には、[PC上のディスク] [プリンタメモリ] [プリンタディスク] の3種類があります。



マクロデータの登録場所によっては印刷スピードに影響を与えます。次のような特徴や注意点を考慮してご使用ください。

① PC上のディスク

PC上のマクロデータは、アプリケーションソフトから印刷するたびに印刷データと共にプリンタヘダウンロードされます。したがって、印刷データ以外にマクロデータをダウンロードする時間も常にかかります。

！ 一度マクロデータをPC上のディスクに登録すれば、印刷スピードを上げるためにプリンタメモリヘダウンロードポイントしてから使用することもできます。

② プリンタメモリ

プリンタメモリ上のマクロデータは、他の登録場所と比較して印刷スピードが最も速くなりますが、プリンタの電源が切られた場合はプリンタメモリから消失してしまいます。このためその都度プリンタメモリにダウンロードする必要があります。

！ プリンタメモリにも物理的な制限があるため、プリンタメモリにダウンロードしたマクロデータが印刷できない場合があります。このような場合は、PC上のディスクまたはプリンタディスクに登録したマクロデータをご使用ください。

③ プリンタディスク

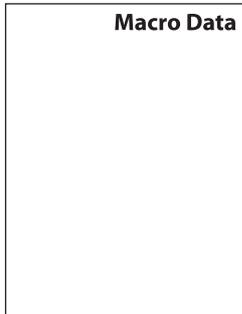
プリンタディスク上にマクロデータを登録すると、アプリケーションソフトから印刷するたびにマクロデータをプリンタヘダウンロードする必要がなくなります。ただし、プリンタディスクからプリンタメモリヘマクロデータを転送する時間は必要です。

！ PC上に登録されたマクロデータは、そのPCユーザしか使用できませんが、プリンタディスク上のマクロデータは、共有サーバ上の[マクロ構成ファイル]にアクセス可能なすべてのネットワークユーザが使用できます。[マクロ構成ファイル]は、プリンタディスクヘダウンロードされたマクロデータの情報を格納しておくもので、管理者が共有サーバ上にあらかじめこのファイルを作成しておく必要があります。この[マクロ構成ファイル]により、ネットワークユーザがプリンタディスク上のマクロデータを利用したり、新たなマクロデータをプリンタディスクに登録できるようになります。

4.11.3 マクロデータの作成

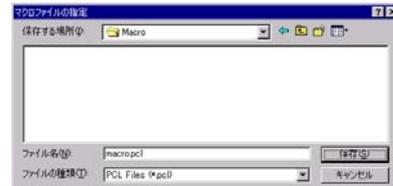
ここではアプリケーションソフトとプリンタドライバを使用して、マクロデータを作成する手順を説明します。

1 アプリケーションソフトでマクロデータ用の文書を作成します。



3 アプリケーションソフトから印刷を実行します。

4 マクロデータのファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。



2 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[出力先] で [PCL マクロ] を選択します。



! **ポイント** [PCL マクロ] リストでは何も選択されていないか、[なし] が選択されていることを確認します。もし [なし] 以外のマクロデータが選択されていると、作成するマクロデータに [PCL マクロ] リストで選択されているマクロデータが重ね合わされてしまいます。

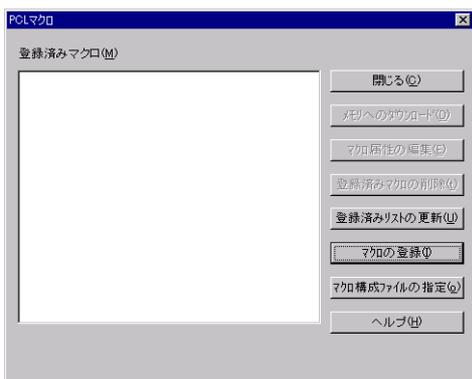
4.11.4 マクロデータの登録 (PC 上のディスク)

ここではプリンタドライバを使用して、あらかじめ作成しておいたマクロデータを [PC 上のディスク] に登録する場合の手順を説明します。

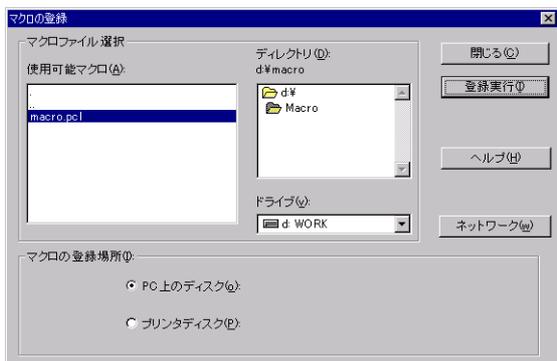
1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストール] ボタンをクリックします。



2 [マクロの登録] ボタンをクリックします。



3 [マクロの登録場所] で [PC 上のディスク] を選択します。



4 [マクロファイル選択] から、あらかじめ作成しておいたマクロデータを選択し、[登録実行] ボタンをクリックします。

5 [マクロ名] を入力して [OK] ボタンをクリックすると、マクロデータが [PC 上のディスク] に登録されます。



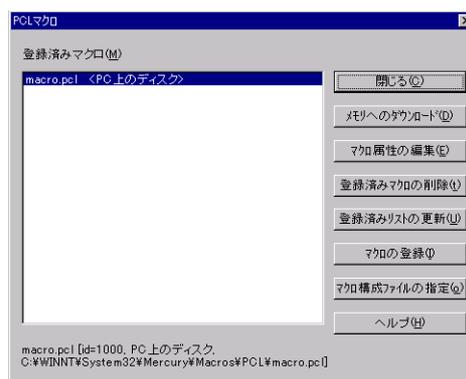
参考 [マクロファイル] には、マクロデータが保存されている場所がディレクトリ付きで表示されます。

6 [OK] ボタンをクリックします。



7 [マクロの登録] ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。

8 [登録済みマクロ] リストにマクロデータが登録されていることを確認します。



参考 [登録済みマクロ] リストには“マクロデータ名 <マクロデータの登録場所>”という書式で表示されます。また、ダイアログ下部には [登録済みマクロ] リストで選択されているマクロデータの詳細情報が表示されます。左から順に、マクロデータ名、マクロ ID、マクロデータの登録場所、マクロデータのオリジナルファイルの保存場所となります。

4.11.5 マクロデータの登録（プリンタメモリ）

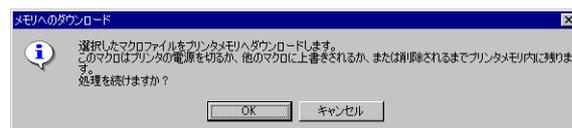
ここではプリンタドライバを使用して、[PC 上のディスク] に登録したマクロデータをさらに [プリンタメモリ] へダウンロードする場合の手順を説明します。

！ マクロデータを [プリンタメモリ] へ登録するためには、あらかじめ [PC 上のディスク] にマクロデータを登録しておく必要があります。

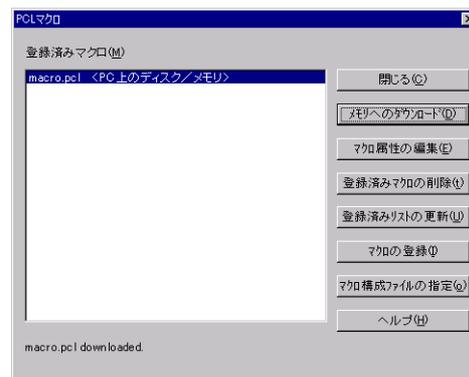
1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。



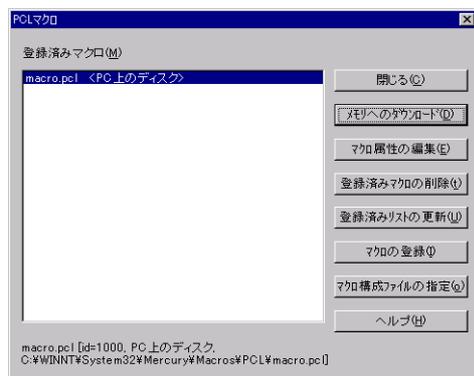
3 [OK] ボタンをクリックします。



4 マクロデータが [プリンタメモリ] へダウンロードされ、画面左下にダウンロード終了のメッセージが表示されます。



2 [プリンタメモリ] へダウンロードするマクロデータを [登録済みマクロ] リストから選択して、[メモリへのダウンロード] ボタンをクリックします。



参考 [登録済みマクロ] リストの <マクロデータの登録場所> の表示が、[PC 上のディスク] から [PC 上のディスク/メモリ] に変わります。

！ [プリンタメモリ] にダウンロードされた個々のマクロデータを識別するには、プリンタおよびプリンタドライバでは [マクロ ID] と呼ばれる値が使用されます。このマクロ ID はマクロデータの登録時にプリンタドライバによって自動的に割り当てられます。同一のコンピュータから複数のマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードする場合は特に問題ありませんが、異なるコンピュータからマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードする場合は、マクロ ID の重複による問題が発生することがあります。もしマクロ ID が重複したマクロデータを [プリンタメモリ] にダウンロードすると、すでに [プリンタメモリ] にダウンロードされていたマクロデータは上書きされてしまいます。このようなマクロ ID の重複による問題を回避するためには、各コンピュータごとに使用可能なマクロ ID の範囲を割り当ててご使用ください。マクロ ID の設定を変更する場合は [4.11.8 マクロデータの属性編集](#) をご覧ください。

！ プリンタメモリの物理的制限により、マクロデータによってはプリンタメモリへダウンロードした場合、プリンタの電源を切らなくてもプリンタメモリ内のマクロデータが消失してしまう場合があります。このような場合はマクロデータを再度プリンタメモリへダウンロードするか、PC 上のディスクまたはプリンタディスクを指定してください。

4.11.6 マクロデータの登録（プリンタディスク）

ここではプリンタドライバを使用して、あらかじめ作成しておいたマクロデータを [プリンタディスク] へ登録する場合の手順を説明します。

1 [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストール] ボタンをクリックします。



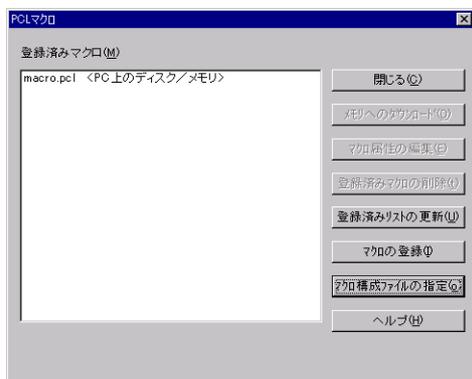
3 [無し] のチェックを外して共有サーバ上の [マクロ構成ファイル] を指定し、[OK] ボタンをクリックします。



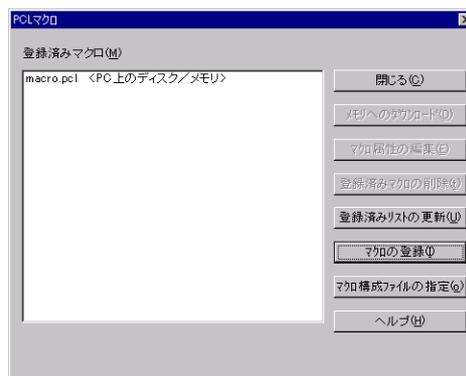
ポイント [マクロ構成ファイル] が共有サーバ上に作成されていない場合は、[参照] ボタンをクリックして [マクロ構成ファイル] の選択ダイアログを開きます。共有サーバ上のフォルダへ移動し、ファイル名を入力して [マクロ構成ファイル] を作成します。

ポイント [プリンタディスク] にマクロデータを登録するには管理者権限が必要です。

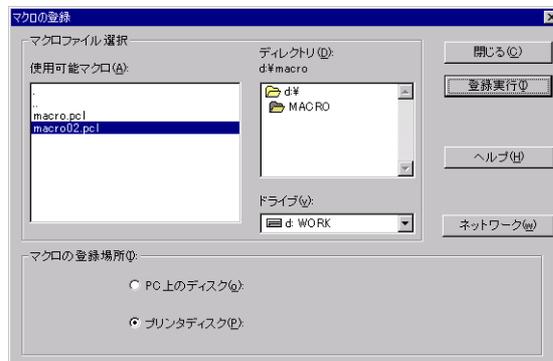
2 マクロデータを [プリンタディスク] に登録するには、まず [マクロ構成ファイル] を指定する必要があります。すでに [マクロ構成ファイル] が指定されている場合は **4** に進みます。[マクロ構成ファイル] の指定をはじめて行う場合は [マクロ構成ファイルの指定] ボタンをクリックします。



4 [マクロの登録] ボタンをクリックします。



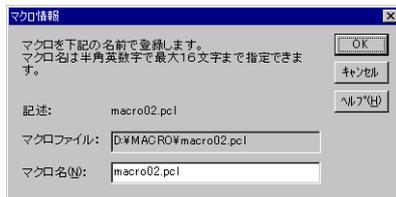
5 [マクロの登録場所] で [プリンタディスク] を選択します。



ポイント [マクロ構成ファイル] は、プリンタディスクへダウンロードされたマクロデータの情報格納しておくもので、管理者が共有サーバ上にあらかじめこのファイルを作成しておく必要があります。この [マクロ構成ファイル] により、ネットワークユーザがプリンタディスク上のマクロデータを利用したり、新たなマクロデータをプリンタディスクに登録できるようになります。

6 [マクロファイル選択] から、あらかじめ作成しておいたマクロデータを選択して、[登録実行] ボタンをクリックします。

7 [マクロ名] を入力して [OK] ボタンをクリックすると、マクロデータが [プリンタディスク] に登録されます。



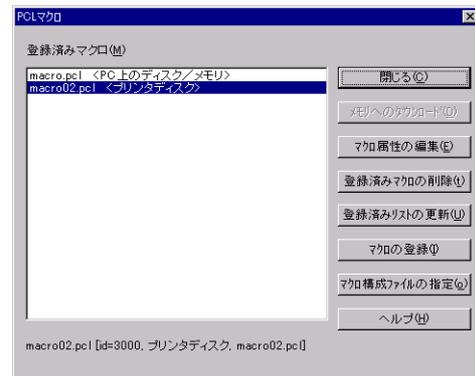
参考 [マクロファイル] には、マクロデータが保存されている場所がディレクトリ付きで表示されます。

8 [OK] ボタンをクリックします。



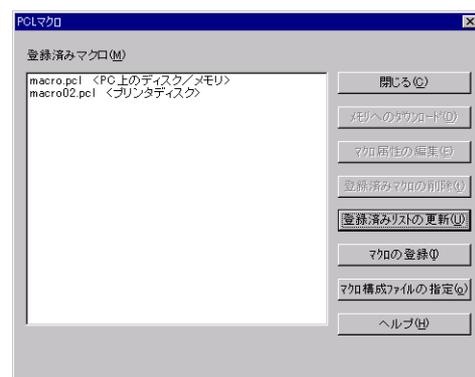
9 [マクロの登録] ダイアログで [閉じる] ボタンをクリックします。

10 [登録済みマクロ] リストにマクロデータが登録されていることを確認します。



参考 [登録済みマクロ] リストには“マクロデータ名 <マクロデータの登録場所>”という書式で表示されます。また、ダイアログ下部には [登録済みマクロ] リストで選択されているマクロデータの詳細情報が表示されます。左から順に、マクロデータ名、マクロ ID、マクロデータの登録場所、マクロデータのファイル名となります。

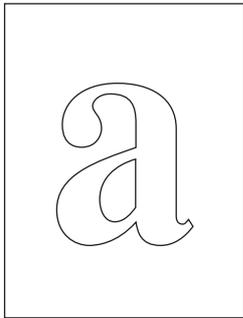
ポイント **3** で指定した [マクロ構成ファイル] は、ネットワーク環境で他のコンピュータと共有する「マクロデータに関する情報ファイル」です。他のコンピュータから [プリンタディスク] にマクロデータが登録されると、[マクロ構成ファイル] の内容はその都度更新されます。このため他のコンピュータから [プリンタディスク] に登録されたマクロデータのリストは、この [マクロ構成ファイル] から取得することができます。[登録済みリストの更新] ボタンをクリックすると、共有サーバ上の [マクロ構成ファイル] の内容に基づいて [登録済みマクロ] リストを更新することができます。



4.11.7 マクロデータを指定した重ね合わせ印刷

ここではアプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して、マクロデータを重ね合わせて印刷する手順を説明します。

- 1** アプリケーションソフト上で印刷データ用の文書を作成します。



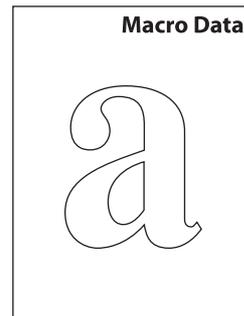
- 2** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開きます。



- 3** [PCL マクロ] リストから、印刷データに重ね合わせるマクロデータを指定します。

- 4** [出力先] で [ハードコピー] を選択します。

- 5** アプリケーションソフトから印刷を実行します。



! 次の例のように、マクロデータを作成したときのプリンタドライバの設定と、マクロデータを印刷データに重ね合わせて印刷するときのプリンタドライバの設定が異なると、意図した印刷結果が得られません。

- ① [ドキュメント] ダイアログの用紙サイズが異なる場合
 良い例：印刷データ [18X11]、マクロデータ [18X11]
 悪い例：印刷データ [18X11]、マクロデータ [15X11]

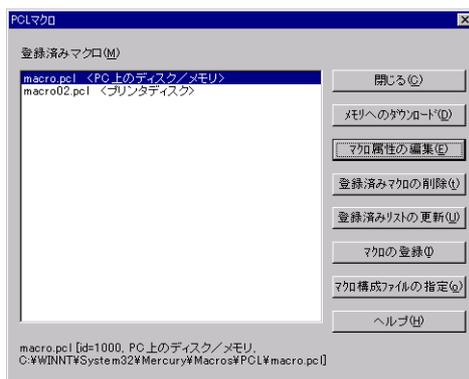
4.11.8 マクロデータの属性編集

ここではプリンタドライバを使用して、登録済みのマクロデータの属性を編集する手順を説明します。

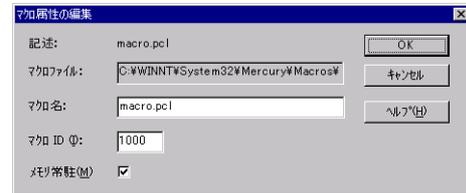
- 1** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストール] ボタンをクリックします。



- 2** [登録済みマクロ] リストから属性を編集するマクロデータを選択して、[マクロ属性の編集] ボタンをクリックします。



- 3** 下図ダイアログでマクロデータの属性を編集します。



[マクロ名]

マクロデータの登録時に指定した [マクロ名] が表示されます。他の名称に変更する場合は、半角英数字で最大 16 文字まで指定することが可能です。

[マクロ ID]

マクロデータの登録時に自動的に割り当てられた [マクロ ID] が表示されます。[マクロ ID] はマクロデータをプリンタメモリにダウンロードした場合に、個々のマクロデータを識別するために使用されます。

ポイント [マクロ ID] の指定可能範囲は 0 ~ 32767 です。ただし、プリンタドライバが自動的に割り当てる [マクロ ID] の範囲は 1000 ~ 1999 です。

ポイント マクロ ID の重複したマクロデータが [プリンタメモリ] にダウンロードされると、すでに [プリンタメモリ] にダウンロードされていたマクロデータは上書きされてしまいます。

[メモリ常駐]

マクロデータをプリンタメモリにダウンロードした場合に [メモリ常駐] は選択可能になります。[メモリ常駐] が選択されていると、マクロデータがプリンタメモリにダウンロードされていることを意味します。

ポイント プリンタの電源が切られるなどしてプリンタメモリ内のマクロデータが消失した場合は、[メモリ常駐] のチェックを外します。

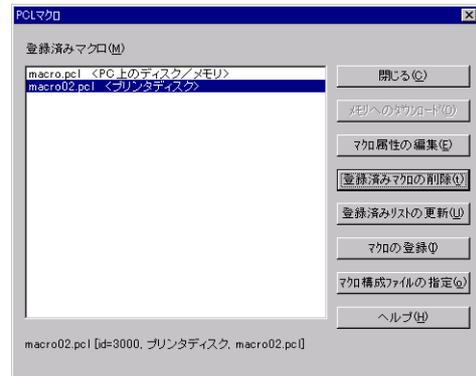
4.11.9 マクロデータの削除

ここではプリンタドライバを使用して、登録済みのマクロデータを削除する手順を説明します。

- 1** [ジョブオプションの設定] ダイアログを開き、[マクロインストーラ] ボタンをクリックします。

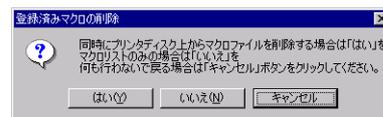


- 2** [登録済みマクロ] リストから削除するマクロデータを選択して、[登録済みマクロの削除] ボタンをクリックします。



- ポイント** [プリンタディスク] 上のマクロデータを削除するには管理者権限が必要です。

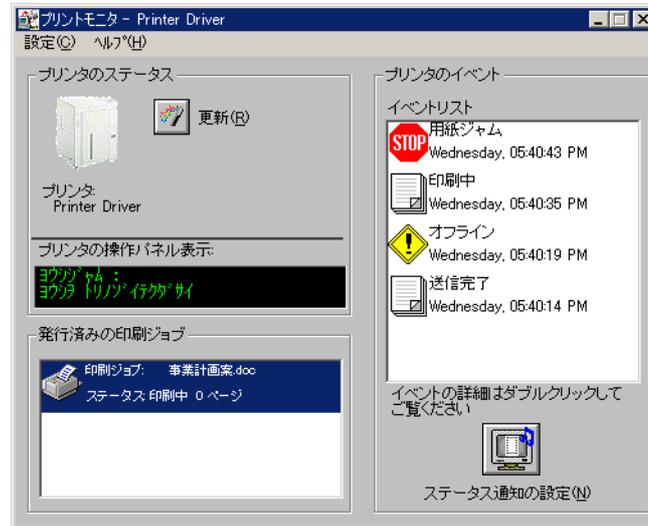
- 3** ダイアログの表示内容にしたがってボタンをクリックします。



4.12 プリントモニタについて

4.12.1 プリントモニタの概要

プリンタ状態監視機能（以下、プリントモニタ）を使用すると、プリンタドライバから印刷するコンピュータ上で、離れた場所に設置されたプリンタの状態を確認することができます。



プリントモニタの画面では、次のようなプリンタの状態監視を行います。

印刷ジョブの監視	アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷した場合、プリンタからコンピュータに印刷ジョブの処理状況がリアルタイムに通知されます。
プリンタ障害の監視	プリンタがオフライン状態になったり、用紙切れや用紙ジャムなどの障害が発生すると、プリンタからコンピュータにリアルタイムに通知されます。
プリンタ操作パネルの表示	プリンタの操作パネルの表示内容を取得します。

！ **ポイント** プリントモニタとプリンタとの相互通信には、ネットワーク管理の標準プロトコルである SNMP (Simple Network Management Protocol) を使用しています。このためご使用のコンピュータで“TCP/IP プロトコル”と“IP アドレス”の設定、および SNMP の追加が必要となります。プリントモニタを使用する場合は、あらかじめコンピュータとプリンタとの接続確認およびネットワーク管理プロトコルの追加を行ってください。詳しくは以下の説明箇所をご覧ください。

- ◇ Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合の場合: [「2.1 プリンタとの接続確認」](#)
[「2.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」](#)
- ◇ Windows XP/Server 2003 の場合 : [「3.1 プリンタとの接続確認」](#)
[「3.2 ネットワーク管理プロトコルの追加」](#)

！ **ポイント** プリントモニタはプリンタドライバの付加機能です。

！ **ポイント** Windows XP (Service Pack 2 以降) あるいは「ファイアウォール」機能をご利用の場合は、[「4.12.6 ファイアウォールの設定について」](#)をご覧ください。

4.12.2 プリントモニタの起動

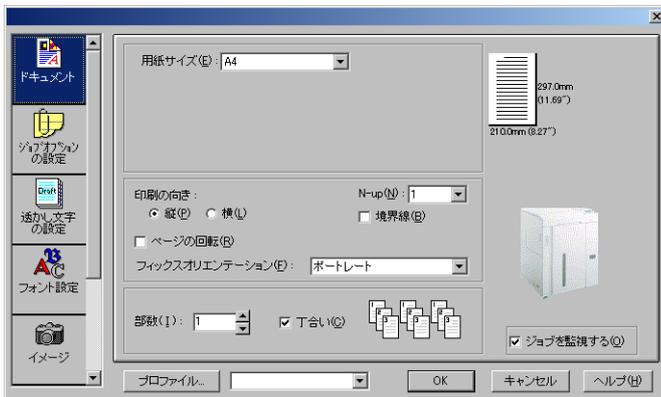
プリントモニタの使用目的としては次のような場合が考えられます。

- ①アプリケーションソフトからの印刷を監視する
- ②現在のプリンタの状態を確認する

このような使用目的ごとにプリントモニタの起動方法を選択することができます。

① アプリケーションソフトからの印刷を監視する

アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷を行います。このときプリントモニタは、タスクバーに格納された状態で自動的に起動します。



ポイント アプリケーションソフトからプリンタドライバを使用して印刷したときに、プリントモニタが自動的に起動するのは、[ドキュメント] ダイアログの[ジョブを監視する]が選択されている場合です。プリントモニタを自動的に起動させないようにするには[ジョブを監視する]のチェックを外します。また、プリンタドライバのインストール途中でプリンタ状態監視機能を「無効」にすると、[ジョブを監視する]のチェックボックスは表示されません。

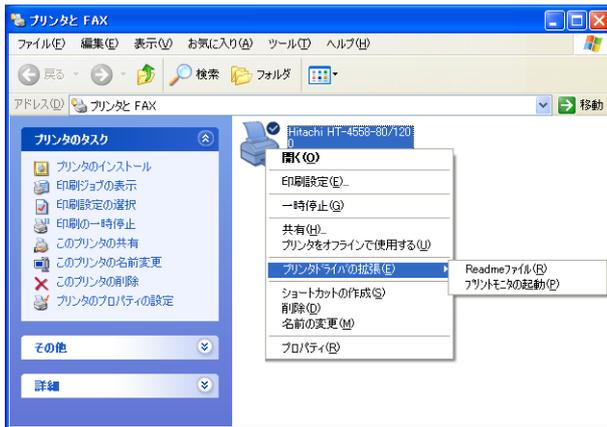
参考 プリントモニタが自動的に終了するのは、タスクバー上のプリントモニタが一度も最大化表示されないで印刷も正常に終了した場合です。印刷途中でプリンタ障害が通知されたり、一度でもプリントモニタを最大化表示した場合は、プリントモニタはプリンタ監視状態を継続します。

② 現在のプリンタの状態を確認する

次の手順でプリントモニタを起動します。

【Windows XP/Server 2003 の場合】

[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタと FAX] を開きます。監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します。



【Windows Vista/Server 2008 の場合】

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] アイコンをダブルクリックして [プリンタ] フォルダを開きます。監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します。



【Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合】

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[デバイスとプリンター] アイコンをダブルクリックして [デバイスとプリンター] フォルダを開きます。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。監視対象のプリンタアイコンにマウスポインタを合わせ右ボタンをクリックします。さらにコンテキストメニューから [プリンタドライバの拡張] → [プリントモニタの起動] を選択します。



同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[プリンタのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。



プリントモニタを上記手順で起動した場合は自動的に終了しません。プリンタ監視状態を継続します。



Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
 - (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
 - (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。
- 以降は上記と同様の手順でプリントモニタを起動します。



Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。コントロールパネルを開きます。

以降は上記と同様の手順でプリントモニタを起動します。

4.12.3 プリントモニタの画面

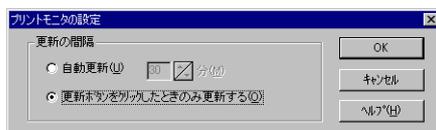
プリントモニタの画面について説明します。



- ① プリンタの操作パネル表示
プリンタ本体の操作パネルに表示されているメッセージ内容を表示します。

- ② 更新
ボタンをクリックすると、プリンタから操作パネルの表示情報を取得して① [プリンタの操作パネル表示] を更新します。

！ **ポイント** プリンタ操作パネルの表示内容を定期的に更新するには、[プリントモニタの設定] ダイアログで [自動更新] する時間間隔を設定します。メニューから [設定] → [プリントモニタの設定] を選択すると [プリントモニタの設定] ダイアログが開きます。



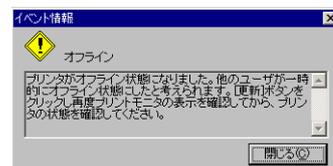
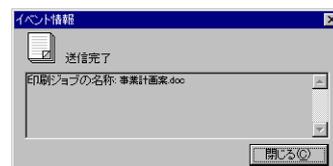
- ③ 発行済みの印刷ジョブ
アプリケーションソフトから印刷すると、その印刷ジョブがリストに追加されます。印刷ジョブの処理状況に応じて表示内容が切り替わり、印刷が終了したジョブはリストから消えていきます。

！ **参考** プリンタから [排紙完了] が通知されなかった場合は、リスト上に印刷ジョブが消えずに残ってしまいます。このような場合は、該当する印刷ジョブを選択して [Delete] キーを押してリストから削除してください。

- ④ イベントリスト
印刷ジョブの処理状態や障害情報など、プリンタから通知された情報をリスト表示します。プリンタから通知された情報は新しい順に上から表示します。

！ **参考** 印刷ジョブの処理状態については [送信完了] [印刷中] [印刷完了] [排紙完了] の通知があります。また、プリンタから通知される情報は重要度ごとに分類されています。詳しくは [ステータス通知の設定] ダイアログの説明をご覧ください。

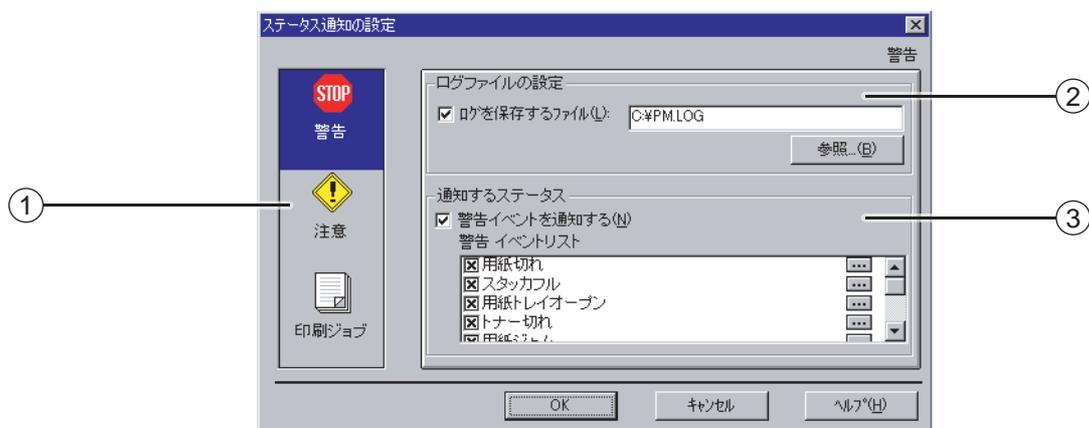
！ **ポイント** [イベントリスト] 上のイベント項目をダブルクリックすると、通知内容の詳細を確認することができます。



- ⑤ ステータス通知の設定
ボタンをクリックすると、[ステータス通知の設定] ダイアログを表示します。詳しくは「4.12.4 ステータス通知の設定」をご覧ください。

4.12.4 ステータス通知の設定

プリンタからプリントモニタに通知される個々のイベントについて、コンピュータ上でユーザにどのように通知するかを設定します。このダイアログで適切な通知方法を指定しておく、プリントモニタの画面をタスクバーに最小化しておいても、プリンタでどのようなイベントが発生したかを知ることができます。



 [ステータス通知の設定] ダイアログを開くには、プリントモニタの画面で [ステータス通知の設定] ボタンをクリックします。

① 重要度

これらのアイコンリストはステータス通知内容の重要度を表します。各アイコンをクリックすると、ダイアログ右側の [通知するステータス] 欄の表示内容が切り替わります。

[警告]

エラーリカバリが必要なプリンタ障害を意味します。
[用紙切れ] や [用紙ジャム] などが該当します。

[注意]

オフラインやその他のプリンタ障害を意味します。

[印刷ジョブ]

アプリケーションソフトから印刷したときのジョブの処理状態を意味します。

② ログファイルの設定

プリンタから通知されたイベントを保存するファイル名を指定します。[ログを保存するファイル] を選択すると、指定したファイルにプリンタイベントのログが保存されます。

③ 通知するステータス

プリンタからプリントモニタに通知される個々のイベントについて、コンピュータ上での通知方法を設定します。設定するには、まず [警告イベントを通知する] を選択します。次に [警告イベントリスト] で設定対象イベント名称の左側にチェックをします。さらにイベント名称の右側に現われる [...] ボタンをクリックします。

 [警告イベントを通知する] のチェックを外すと、すべての警告イベントの通知が無効となります。

また、[警告イベントを通知する] を選択した状態で、各イベント名称左側のチェックを外した場合にも通知は行われません。



[ステータス : xxx] ダイアログでは、個々のイベントをどのようにユーザに通知するかを設定します。

[サウンドファイルを鳴らす]

プリンタからステータス通知されたときに、ここで指定した WAVE ファイルを鳴らします。

[ビーブ音]

プリンタからステータス通知されたときに、ビーブ音を鳴らします。

[メッセージボックスをポップアップする]

プリンタからステータス通知されたときに、メッセージボックスをポップアップ表示します。

[プリントモニタを最大化]

プリンタからステータス通知されたときに、プリントモニタを最大化表示します。これはステータス通知方法の初期設定値です。

[イベントを削除するまでの時間]

プリンタから通知されたイベント情報を、プリントモニタ画面の [イベントリスト] に表示しておく時間を設定します。

4.12.5 プリントモニタ設定値の変更

プリンタの [IP アドレス] や [論理プリンタ名] を変更した場合や、プリンタドライバが生成するページ記述言語を変更する場合は、以下の手順でプリンタドライバを再設定します。なお、説明に用いる画面は Windows Server 2003 の例で、プリンタドライバの設定はすべて初期値に戻ります。

1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012の場合は第2章、Windows XP/Server 2003の場合は第3章の「プロパティの表示」の手順にしたがって、プロパティを表示します。ただし、Windows Vista/Server2008の場合は [管理者として実行] → [プロパティ] を選択してください。

2 プリンタアイコンと同じ名称のタブを選択して、[プリンタ状態監視機能] → [設定] ボタンをクリックします。



3 プリンタ状態監視機能 (プリントモニタ) を利用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。ここで [いいえ] を選択すると **5** に進みます。



4 プリンタの [IP アドレス] と [論理プリンタ名] を入力して [次へ] ボタンをクリックします。

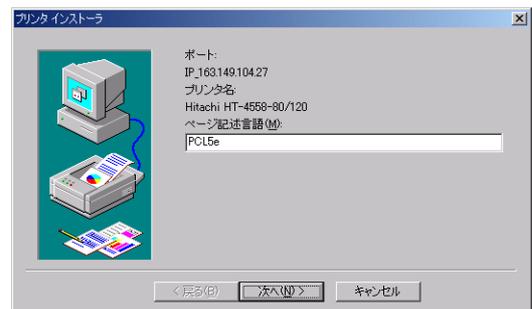


ここで [検出] ボタンをクリックすると、プリンタドライバに設定されたポートを利用してプリンタ本体と通信を行い、[IP アドレス] と [論理プリンタ名] を自動検出することが可能です。

ポイント 論理プリンタはプリンタ本体に設定されているもので、“vp-pcl”などの論理プリンタがあらかじめ定義されています。工場出荷時の状態では、“vp-pcl”を論理プリンタ名として使用します。“vp-pcl”はすべて英字の小文字で入力します。論理プリンタの設定に関する詳細は、製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

ポイント Windows XP (Service Pack 2 以降) あるいは「ファイアウォール」機能をご利用の場合は、「4.12.6 ファイアウォールの設定について」をご覧ください。

5 プリンタドライバで使用するページ記述言語は [PCL5e] です。[次へ] ボタンをクリックします。



ポイント **3** でプリンタ状態監視機能を有効にした場合は、プリンタ本体に定義されている論理プリンタの設定にしたがって、ページ記述言語が自動的に決定されます。

6 [完了] ボタンをクリックします。



4.12.6 ファイアウォールの設定について

「ファイアウォール」機能が組み込まれているコンピュータでは、プリンタの自動検出や状態監視をするために「ファイアウォール」の設定変更が必要となる場合があります。例えば、Windows XP (Service Pack 2) の初期状態では [Windows ファイアウォール] により次の現象が発生します。

- (1) プリンタ状態監視機能の設定画面で [検出] ボタンをクリックしたときにプリンタを自動検出できない。
 - (2) 印刷ジョブの処理状態やプリンタの障害情報がプリントモナのイベントリストに表示されない。
- これらの現象を回避するための設定例 (Windows XP Service Pack 2) を以下に示します。

ポイント プリンタの自動検出や状態監視をしない場合は、以下のような「ファイアウォール」の設定変更は必要ありません。

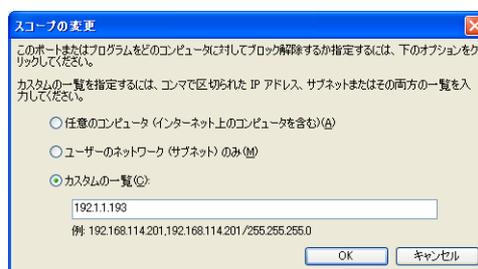
【Windows XP/Server 2003/Vista/Server 2008 の場合】

1 [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を開きます。

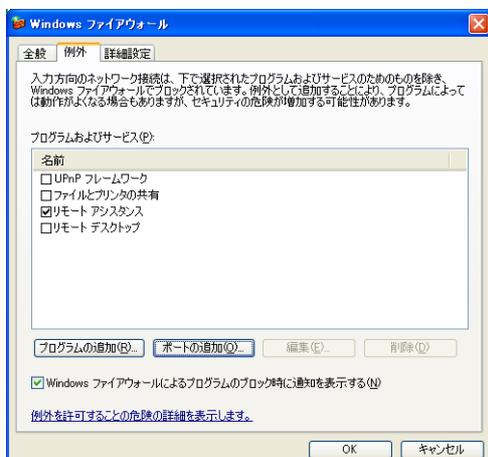
Windows Vista/Server 2008 の場合は [Windows ファイアウォール] ダイアログでさらに [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。



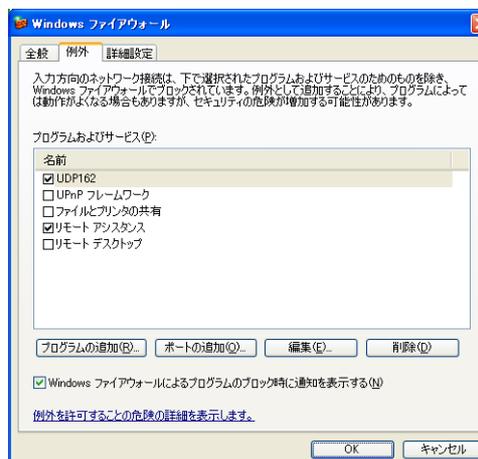
ポイント ご使用のプリンタからの通信のみを許可し、他の機器からの通信をブロックするには、手順 **3** で [スコープの変更] ボタンをクリックします。さらに [カスタムの一覧] をクリックしてプリンタの IP アドレスを追加します。



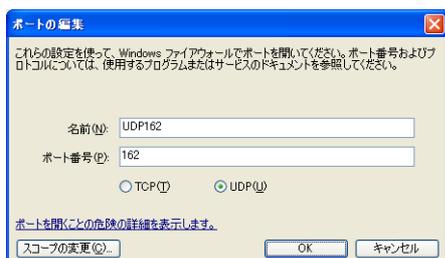
2 [例外] タブを選択して [ポートの追加] ボタンをクリックします。



4 手順 **3** で追加したポート名が [プログラムおよびサービス] 一覧に追加されます。チェックボックスを選択して [OK] ボタンをクリックします。



3 [ポート番号] に [162] を入力して [UDP] をクリックします。さらに、このポートの [名前] を入力して [OK] ボタンをクリックします。



5 Windows Vista/Server 2008 の場合、[プログラムまたはポート] リストに [WinSNMP DLL Support Application Release #XX] が存在する場合は本項目を選択 (ON) してください。最後に [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

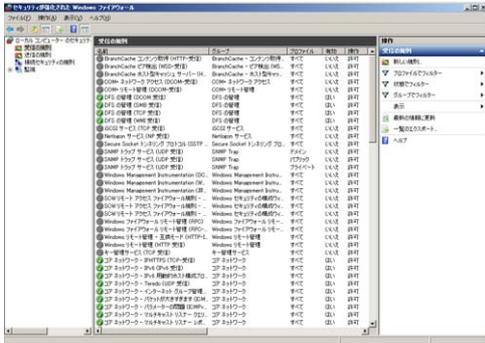
【Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合】

1 [コントロールパネル] から [Windows ファイアウォール] を開きます。
[Windows ファイアウォール] ダイアログでさらに [詳細設定] をクリックします。

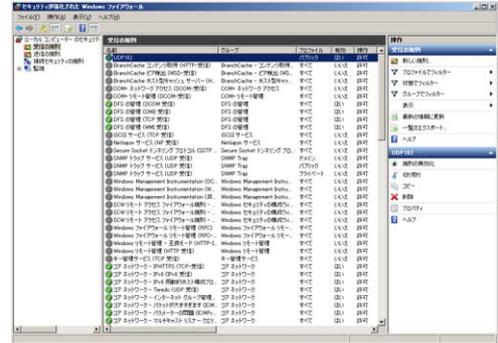


参考 アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

2 画面左の [受信の規則] を選択して画面右の [新しい規則] をクリックします。



4 手順 **3** で追加した規則名が [受信の規則] 一覧に追加されます。ダブルクリックして、プロパティを表示します。



5 [スコープ] のタブを選択して [リモート IP アドレス] の [これらの IP アドレス] を選択し、[追加] をクリックします。[この IP アドレスまたはサブネット] にプリンタの IP アドレスを入力し、[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



3 ウィザードに従って規則を追加します。



ポイント [規則の種類] では [ポート] を選択して [次へ] をクリックします。[プロトコルおよびポート] ではプロトコルは [UDP]、ポートは [特定のローカルポート] を選択し、ポート番号 [162] を入力して [次へ] をクリックします。[操作] では [接続を許可する] を選択し、[次へ] をクリックします。[プロファイル] では [パブリック] をオンにし、[次へ] をクリックします。[名前] に規則の名前を入力し、[完了] をクリックします。

第 5 章

その他のプリンタドライバについて

第 5 章 その他のプリンタドライバについて

本章では、第 2 章から第 4 章までに説明したプリンタドライバ以外の Windows 用プリンタドライバのインストール方法について説明します。



製品添付 CD-ROM 内の Readme.rtf ファイルには、このマニュアルに記載されていない最新の追加情報やプリンタドライバ使用時の注意事項が記述されています。プリンタドライバをインストールする前にお読みください。



プリンタドライバをインストールする前に、動作中のアプリケーションソフトはすべて終了させてください。また、本章で説明するプリンタドライバは、同じコンピュータ上で当社製プリンタドライバと併用することができます。

5.1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 添付 PCL5 プリンタドライバ

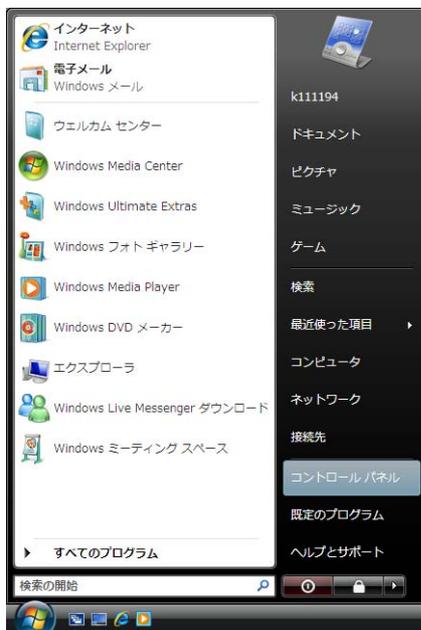
5.1.1 インストール手順

Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 添付 PCL5 プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタドライバのインストールを行ってください。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

- 1** Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

- 2** [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

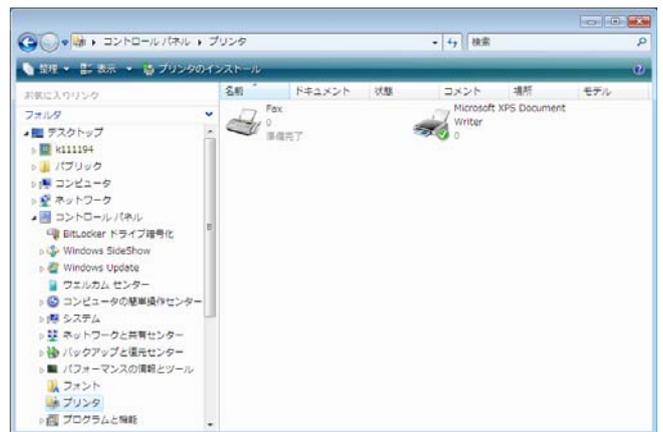


- 3** [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



- 参考** Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

- 4** Windows Vista の場合
画面上部の [プリンタのインストール] をクリックします。



参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

Windows Server 2008 の場合

[ファイル] → [管理者として実行] → [プリンタの追加...] を選択します。

Windows 7/8/Server 2012 の場合

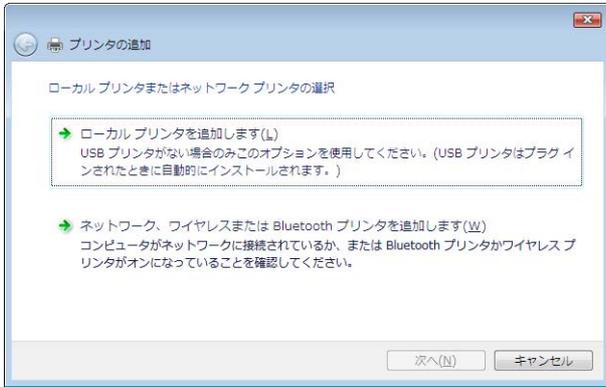
画面上部の [プリンターの追加] を選択します。

Windows Server 2008 R2 の場合

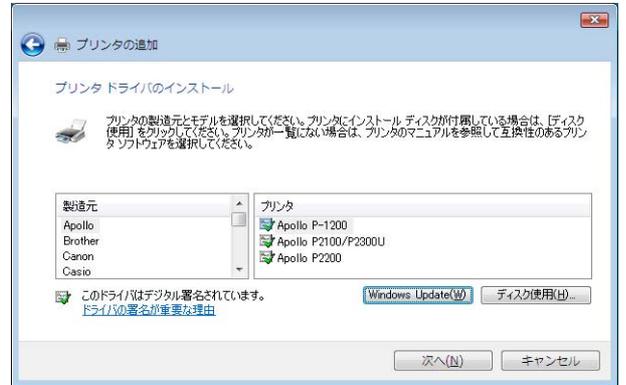
画面上部の [プリンターの追加] をクリックし、[管理者としてローカルプリンターまたはネットワークプリンターを追加する] をクリックします。

接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。[「2.7 印刷するポートの変更」](#) をご覧ください。

5 [ローカルプリンターを追加します] をクリックします。



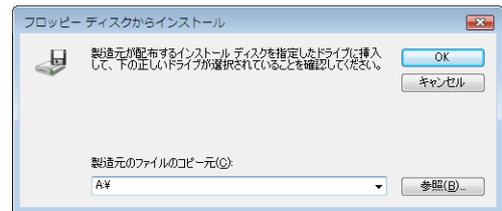
7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



ポイント プリンターをネットワーク接続でご使用になる場合や、他のプリントサーバを経由して印刷する場合でも通常は [ローカルプリンターを追加します] を選択してください。

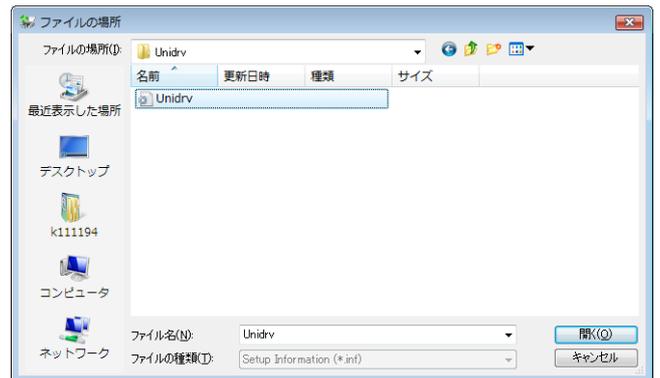
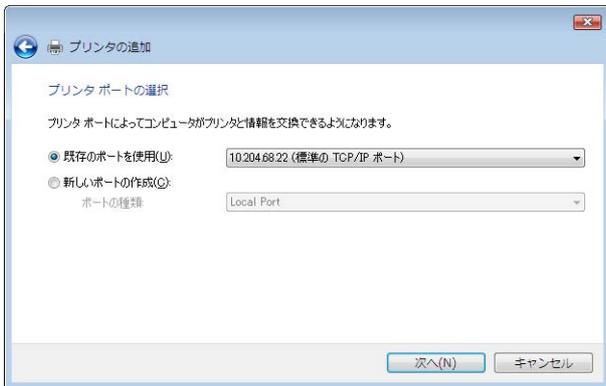
8 [参照] ボタンをクリックします。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンターに対する設定を行う場合は、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンターが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンターを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。



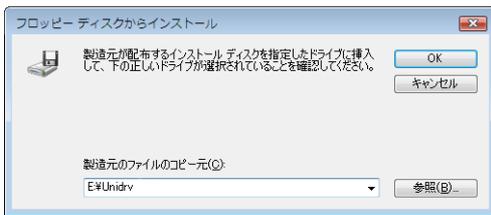
6 プリンターとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

9 CD-ROM ドライブの [Unidrv] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。

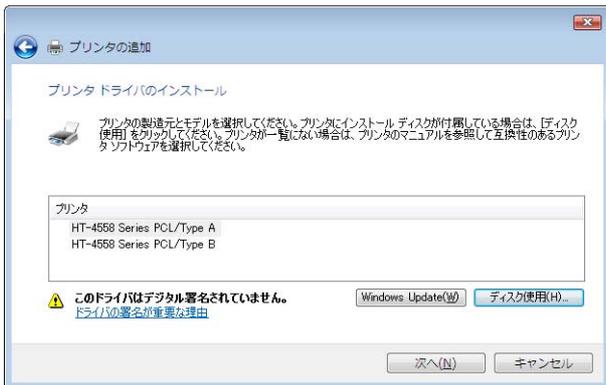


ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は [「2.3 LPR ポートの追加」](#) を参照してください。また、[「2.1 プリンターとの接続確認」](#) や [「2.7.1 LPR ポートを新規追加する場合」](#) も合わせてご覧ください。

10 [OK] ボタンをクリックします。



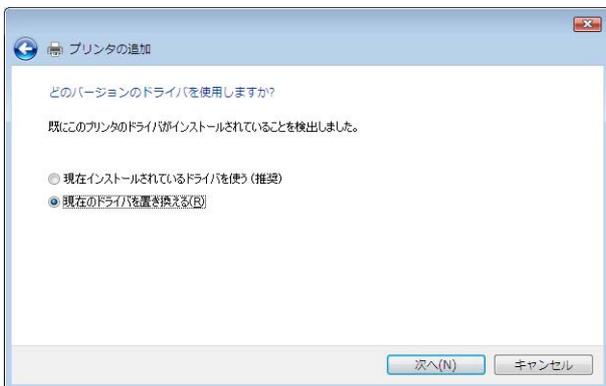
11 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



プリンタモデル
HT-4558 Series PCL/Type A
HT-4558 Series PCL/Type B

注意 プリンタモデルの違いについては、「[1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について](#)」をご覧ください。

12 下図のダイアログが表示された場合は、[現在のドライバを置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



13 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



注意 プリンタの追加を実行する前に、ユーザアカウントを確認するための [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示される場合は、[続行] ボタンをクリックします。

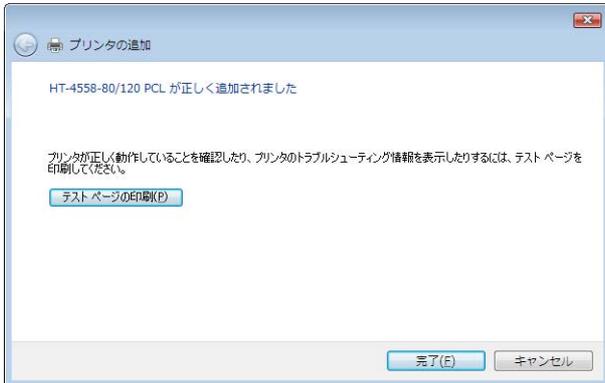
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、プリンタドライバを通常使用するかどうかを **15** で選択します。

参考 [Windows セキュリティ] ダイアログが表示された場合、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

14 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



- 15** プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するため [テストページの印刷] ボタンをクリックして [完了] ボタンをクリックします。



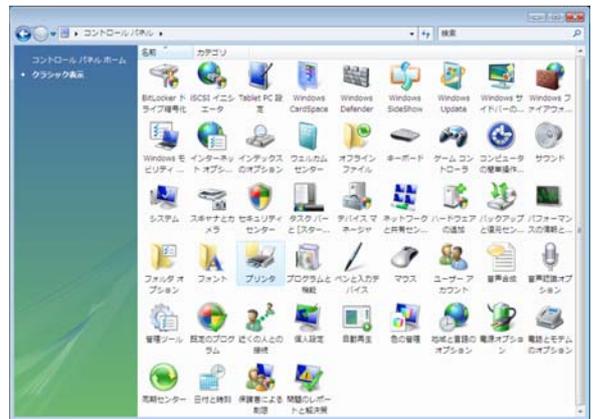
5.1.2 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更するには、次の手順で [印刷設定] を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

1 [スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



2 [プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



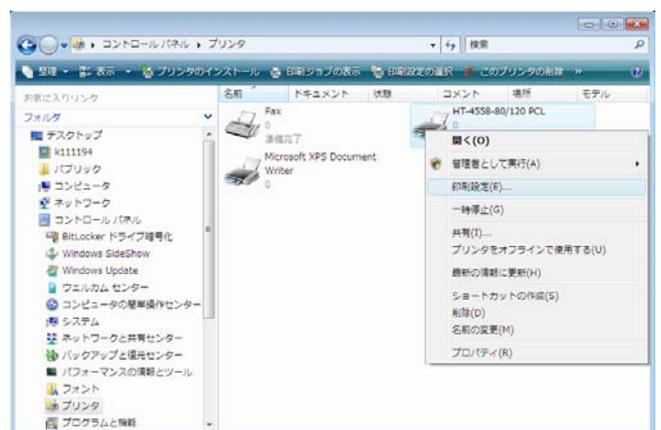
参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

参考 Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。

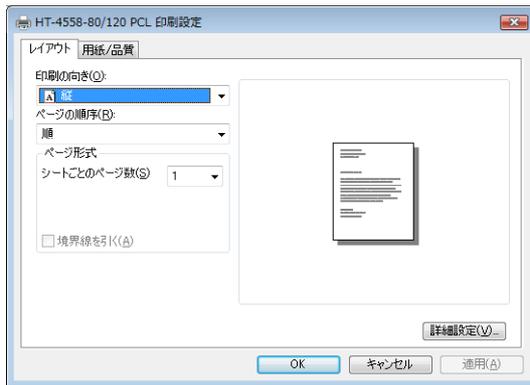
参考 Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

3 プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。

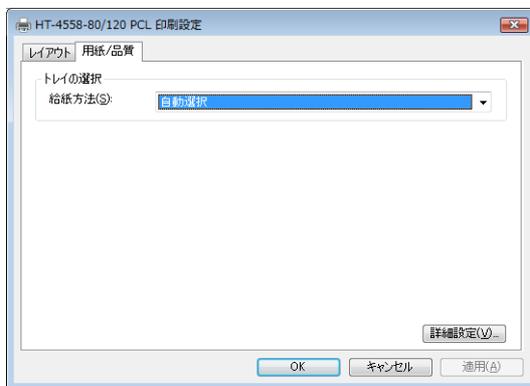


参考 Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは1つしか表示されません。[印刷設定] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

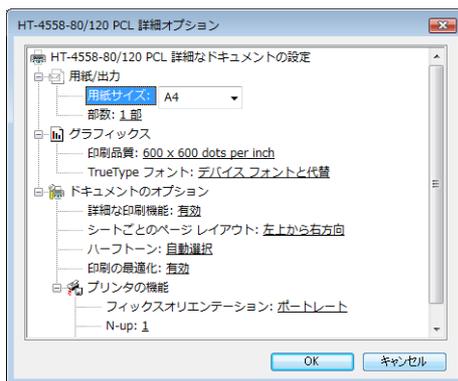
4 [レイアウト] [用紙 / 品質] タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



5 さらに [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



6 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



! 各項目の詳細については「[5.3 プリンタ固有機能](#)」のポイント説明をご覧ください。

5.1.3 アプリケーションソフトからの印刷

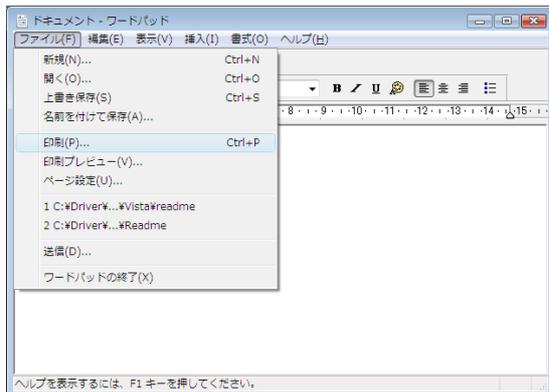
アプリケーションソフトから印刷するときプリンタドライバの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。なお、説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。



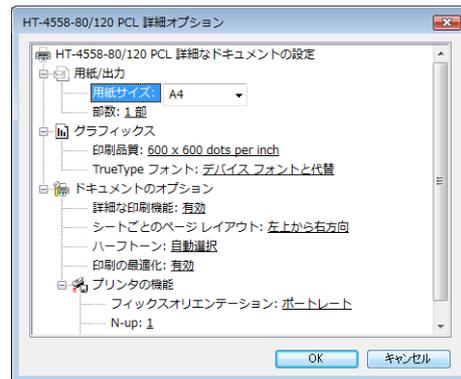
注意

アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。

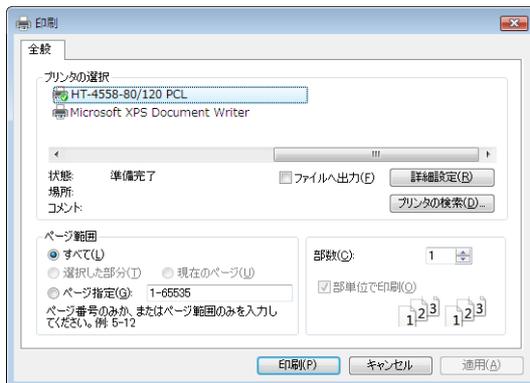
- 1** アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



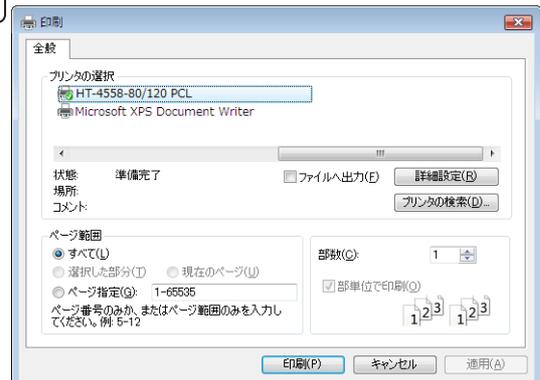
- 4** プリンタドライバの設定を変更し、[OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



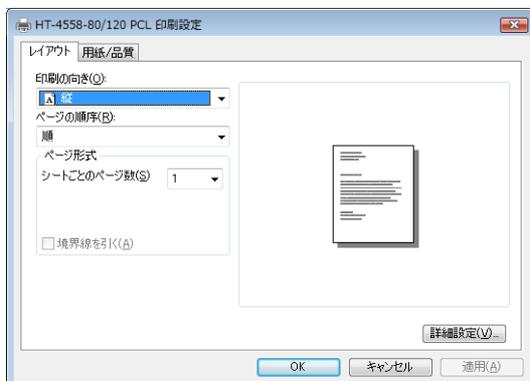
- 2** [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択し、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 5** [印刷] ボタンをクリックします。



- 3** [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



各項目の詳細については「5.3 プリンタ固有機能」の説明をご覧ください。

5.2 Windows XP/Server 2003 添付 PCL5 プリンタドライバ

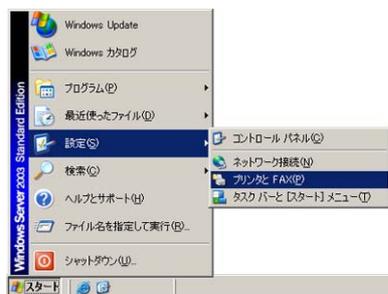
5.2.1 インストール手順

Windows XP/Server 2003 添付 PCL5 プリンタドライバは、「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を使用してインストールすることができます。以下の手順にしたがってプリンタドライバをインストールしてください。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1 Windows を起動して「ソフトウェア&ユーティリティ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。このときプリンタ本体の電源がオンになっていることをご確認ください。

ポイント Windows には [Administrator] などの管理者権限を持ったユーザ名でログオンします。

- 2 [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



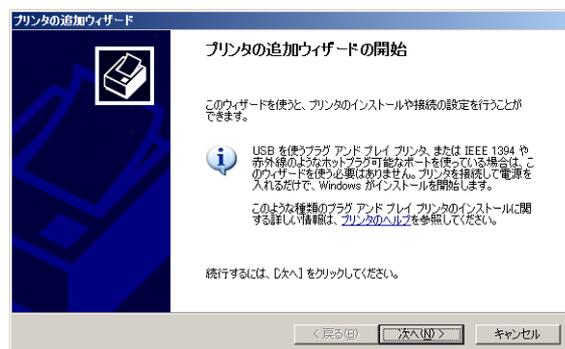
- 3 Windows Server 2003 の場合 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。



Windows XP の場合

[プリンタのタスク] → [プリンタのインストール] をクリックします。

- 4 [次へ] ボタンをクリックします。



- 5 [ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] ボタンをクリックします。



ポイント [ネットワークプリンタ] を選択することもできますが、ここではプリンタをネットワーク接続でご使用になる場合でも [ローカルプリンタ] を選択してください。

参考 ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、[ネットワークプリンタ] を選択します。ネットワーク上のコンピュータおよびプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用になるコンピュータおよび共有プリンタを選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

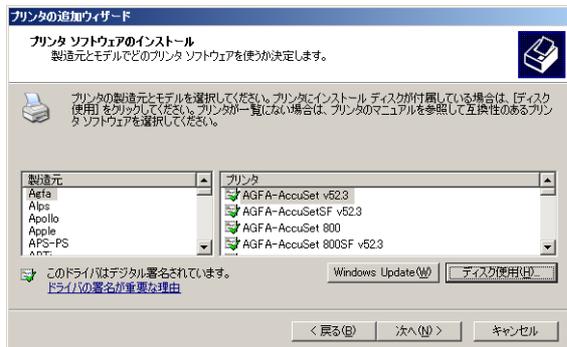
6 プリンタとの接続ポートを選択して [次へ] ボタンをクリックします。

新たに接続ポートを追加する場合は、[新しいポートの作成] とポートの [種類] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

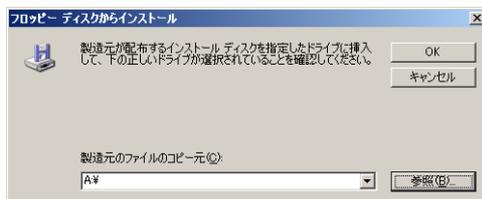


ポイント LPR ポート (Standard TCP/IP Port) を追加する場合は「[3.1 プリンタとの接続確認](#)」や「[3.6.1 LPR ポートを新規追加する場合](#)」をご覧ください。また、接続ポートの設定は、プリンタドライバのインストール完了後に変更することも可能です。「[3.6 印刷するポートの変更](#)」をご覧ください。

7 [ディスク使用] ボタンをクリックします。



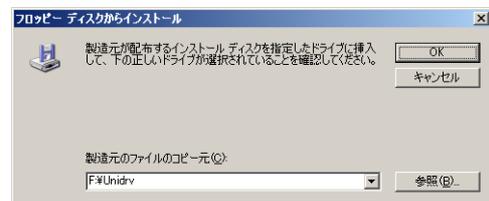
8 [参照] ボタンをクリックします。



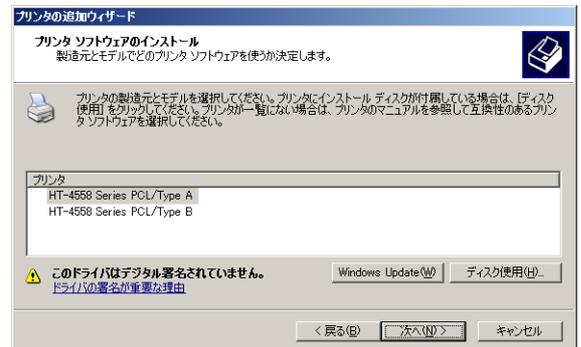
9 CD-ROM ドライブの [UniDrv] フォルダに移動し、[開く] ボタンをクリックします。



10 [OK] ボタンをクリックします。



11 プリンタモデルを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



プリンタモデル
HT-4558 Series PCL/Type A
HT-4558 Series PCL/Type B



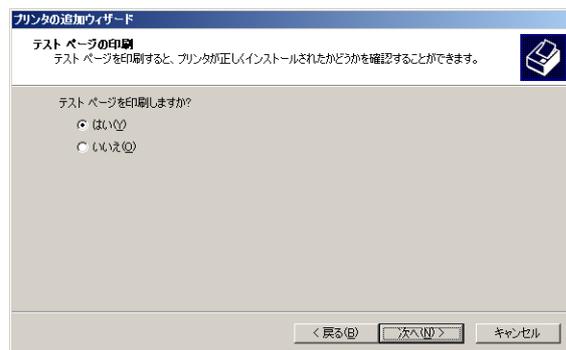
注意

プリンタモデルの違いについては、「[1.2.3 プリンタドライバの仕様差異について](#)」をご覧ください。

12 下図のダイアログが表示された場合は、[新しいドライバに置き換える] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



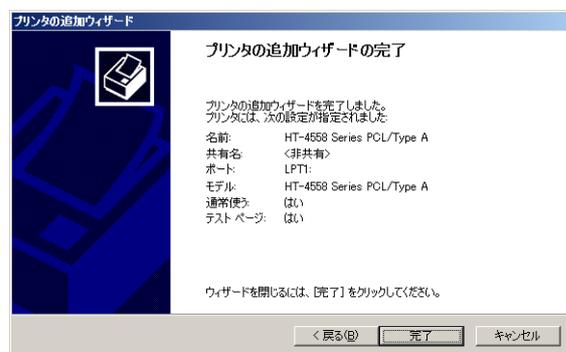
15 プリンタのセットアップおよびプリンタドライバのインストールが正しく行われたかどうかを確認するには [はい] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



13 [プリンタ名] を入力します。このプリンタドライバを通常使用するかどうかを選択して [次へ] ボタンをクリックします。



16 [完了] ボタンをクリックします。



14 [このプリンタを共有しない] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。

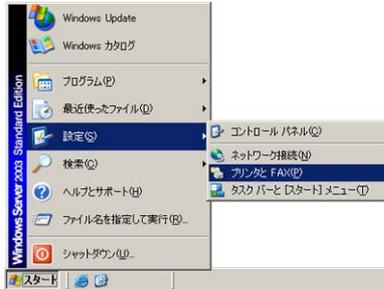


ポイント プリンタ共有はプリンタドライバのインストール完了後にも設定することができます。

5.2.2 プリンタドライバ初期値の変更

プリンタドライバの初期設定値を変更するには、次の手順で [印刷設定] を表示します。なお、説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。



- 2** Windows Server 2003 の場合
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [印刷設定] を選択します。



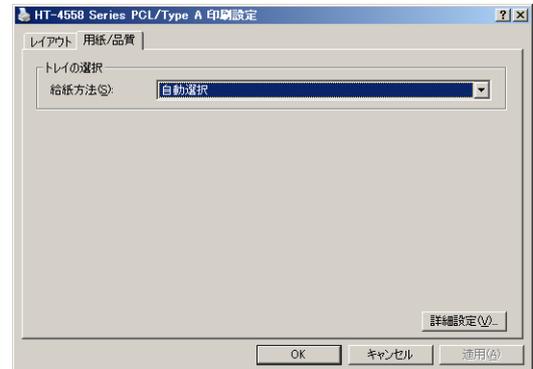
Windows XP の場合

プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [印刷設定の選択] をクリックします。

- 3** [レイアウト] [用紙 / 品質] タブをクリックすると、印刷設定の表示内容が切り替わります。



- 4** さらに [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



- 5** 設定内容を保存するには [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



! 各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、「[5.3 プリンタ固有機能](#)」の説明もご覧ください。

5.2.3 アプリケーションソフトからの印刷

アプリケーションソフトから印刷するときプリンタドライバの設定を変更するには、次の手順で操作を行います。



アプリケーションソフトによっては、印刷ダイアログを独自に拡張しているものがあります。アプリケーションソフト固有の印刷機能やオプション設定などについては、それぞれのアプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。以下の手順は Windows Server 2003 付属のワードパッドの例です。

1 アプリケーションソフトを起動して、[ファイル] → [印刷] を選択します。



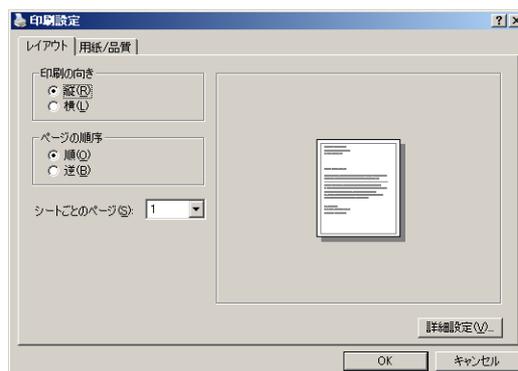
4 プリンタドライバの設定を変更したら [OK] ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。



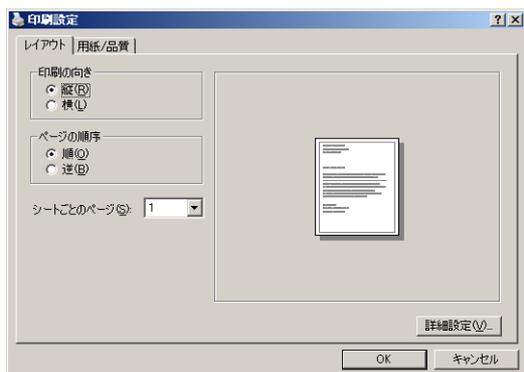
2 [プリンタの選択] リストからプリンタドライバを選択して [詳細設定] ボタンをクリックします。



5 [印刷] ボタンをクリックすると印刷処理が開始されます。



3 [詳細設定] ボタンをクリックすると [詳細オプション] が表示されます。



各項目の説明についてはオンラインヘルプをご覧ください。オンラインヘルプを表示するには、ヘルプを表示させたい項目にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [ヘルプ] を選択します。また、[「5.3 プリンタ固有機能」](#)の説明もご覧ください。

5.3 プリンタ固有機能

プリンタ固有機能の設定項目について説明します。



プリンタドライバで「プリンタの機能」を表示するには、本章の「プリンタドライバ初期値の変更」「アプリケーションソフトからの印刷」をご覧ください。

- ◇用紙サイズ（初期値：A4）
印刷する用紙を選択します。



「用紙サイズ」の設定はプリンタモデルごとに以下のようになります。

・「HT-4558 Series PCL/Type A」の場合

「用紙サイズ」とプリンタ操作パネルの用紙設定をあわせます。このとき「用紙サイズ」には用紙両端の送り穴の部分の長さ（1 inch = 25.4 mm）は含まれないようにします。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	プリンタ操作パネル	プリンタドライバ
	用紙設定	用紙サイズ
15 x 11 (長辺給紙)		15x11 (14x11) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅14 inch 高さ11 inch
10 x 11 (短辺給紙)		10x11 (9x11) inch ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅9 inch 高さ11 inch

・「HT-4558 Series PCL/Type B」の場合

「用紙サイズ」とプリンタ操作パネルの用紙設定をあわせます。このとき「用紙サイズ」には用紙両端の送り穴の部分の長さ（1 inch = 25.4 mm）は含めるようにします。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	プリンタ操作パネル	プリンタドライバ
	用紙設定	用紙サイズ
15 x 11 (長辺給紙)		15x11 インチ ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅15 inch 高さ11 inch
10 x 11 (短辺給紙)		10x11 インチ ※カスタムサイズとして定義する場合（原則） 幅10 inch 高さ11 inch



カスタムサイズの設定については、「5.4 カスタムサイズ用紙に印刷するには」をご覧ください。

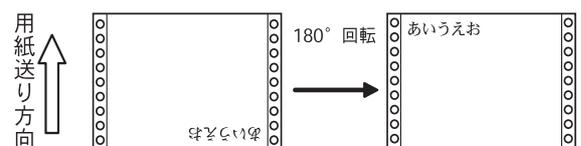
- ◇印刷品質（初期値：600 x 600 dots per inch）
プリンタの解像度を指定します。

- ◇フィックスオリエンテーション（初期値：ポートレート）
プリンタにセットされている用紙に関わらず、設定値の用紙方向に印刷イメージを固定します。本オプションでは「無効」、「ランドスケープ」のいずれかを選択できます。詳しくは、「5.5 フィックスオリエンテーションについて」をご覧ください。



アプリケーションソフトによっては、印刷方向が逆になる場合があります。このような場合には、本オプションの設定を行います。

- ◇N-up（初期値：1）
1枚の用紙片面に何ページ分のページイメージを印刷するかを指定します。本オプションでは「2」を選択することができます。
- ◇回転（初期値：しない）
現在の印刷方向を180°回転します。本オプションでは「する」を選択することができます。例えば、下記印刷イメージの場合、本オプションで「する」を選択することで用紙送り方向と同一方向の印刷結果を得ることができます。



5.4 カスタムサイズ用紙に印刷するには

! プリンタの操作パネルで [プリンタ設定] → [用紙サイズ] により、カスタム用紙のサイズを設定してください。
ポイント なお、プリンタの操作パネルの操作方法については製品添付の「ユーザズガイド」をご覧ください。

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

1 Windows XP/Server 2003 の場合

[スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2 の場合

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

Windows 8 の場合

[スタート] 画面にて背景を右クリックし、画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択すると、[アプリ] 画面が表示されます。[アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

Windows Server 2012 の場合

[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、[コントロールパネル] から [デバイスとプリンター] をクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。

2 Windows XP/Server2003 の場合

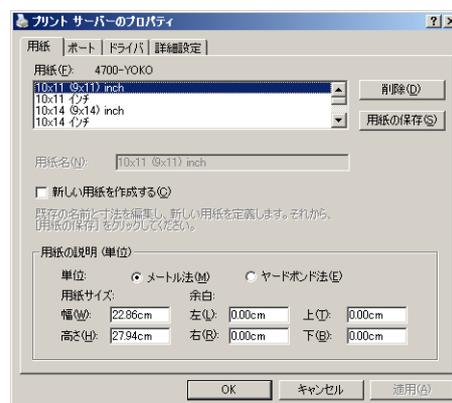
[ファイル] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows Vista/Server 2008 の場合

プリンタリスト上で右ボタンをクリックして [管理者として実行] → [サーバーのプロパティ] を選択します。

Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合

Fax またはプリンタを選択し、画面上の [プリントサーバープロパティ] をクリックします。



3 [用紙] タブ上で、[新しい用紙を作成する] をチェックし、幅と高さを設定して [用紙の保存] ボタンをクリックします。



用紙方向に対し、垂直方向を [幅]、水平方向を [高さ] として入力します。
 入力値はプリンタモデルごとに以下ようになります。

・「HT-4558 Series PCL/Type A」の場合

プリンタの操作パネルで設定した用紙サイズにあわせませす。このとき、用紙両端の送り穴の部分の長さ (1 inch = 25.4mm) は引き算します。以下に設定例を示します。

用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		13 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		10 inch	14 inch

・「HT-4558 Series PCL/Type B」の場合

プリンタの操作パネルで設定した用紙サイズにあわせませす。このとき、用紙両端の送り穴の部分の長さ (1 inch = 25.4mm) は含めるようにします。以下に設定例を示します。

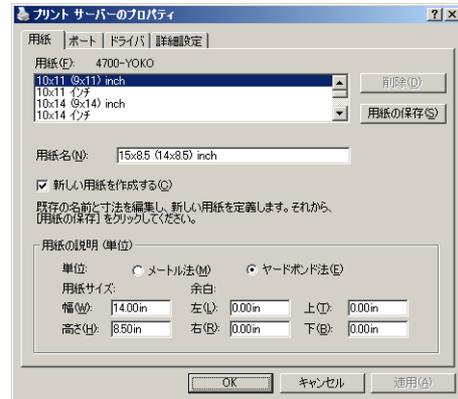
用紙サイズ (inch)	給紙のイメージ	入力値	
		幅	高さ
14 x 11 長辺から出力		14 inch	11 inch
11 x 14 短辺から出力		11 inch	14 inch

なお、作成したカスタムサイズ用紙が用紙リスト上に追加されると、追加されたカスタムサイズ用紙がプリンタドライバの [用紙サイズ] 上に表示されます。ただし、カスタムサイズとして使用できる用紙の [幅] と [高さ] の範囲内のときだけです。なお、カスタムサイズとして使用できる用紙の [幅] と [高さ] の範囲はプリンタ本体により異なります。詳しくは製品添付の「ユーザーズガイド」をご覧ください。

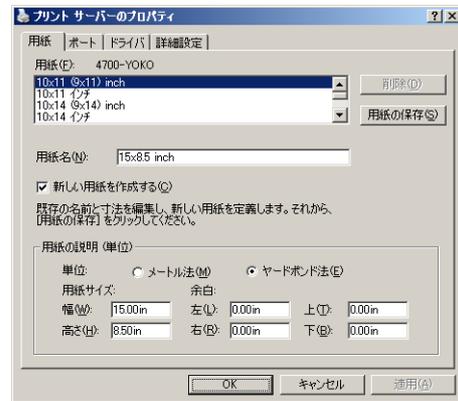


たとえば、15x8.5 インチの用紙サイズをすべて余白無しで作成した場合は下記ようになります。

・「HT-4558 Series PCL/Type A」の場合



・「HT-4558 Series PCL/Type B」の場合



Windows Server 2008 R2 の場合は、[用紙設定の変更] ボタンをクリックして [新しい用紙を作成する] をチェックし、幅と高さを設定して [用紙の保存] ボタンをクリックします。



アプリケーションソフト上では新しく追加した用紙サイズ名を直接指定します。新しく追加した用紙サイズは、アプリケーションソフトとプリンタドライバとの組み合わせにより正しく動作しない場合があります。あらかじめ試し印刷を行い、正しく印刷できることを確認してからご使用ください。

5.5 フィックスオリエンテーションについて

フィックスオリエンテーションは、プリンタにセットされている用紙に関わらず、設定値と同じ用紙方向で印刷する時のイメージで印刷する機能で、本オプションの設定値には「無効」、「ポートレート」（初期値）、「ランドスケープ」があります。

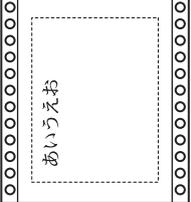
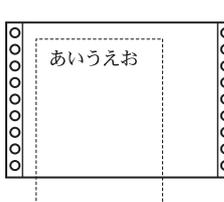
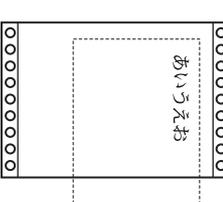
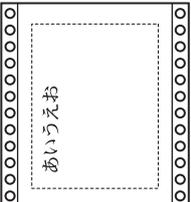
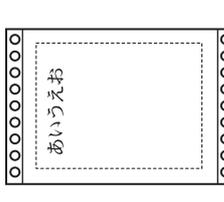
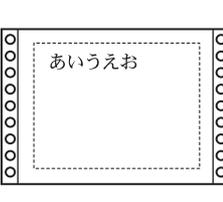
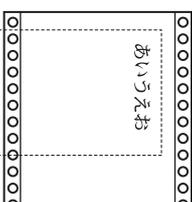
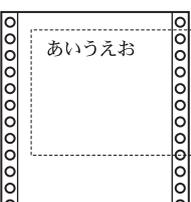
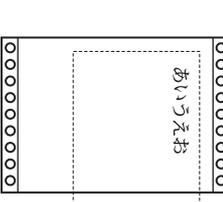
「無効」の場合は、プリンタにセットされている用紙に対応する「印刷の向き」のイメージで印刷します。

「ポートレート」の場合は、プリンタにセットされている用紙に関係なく、ポートレートの用紙を使用した時のイメージで印刷します。

「ランドスケープ」の場合は、プリンタにセットされている用紙に関係なく、ランドスケープの用紙を使用した時のイメージで印刷します。

なお、用紙方向とはプリンタにセットされている用紙の向きを表し、「ポートレート」は「用紙幅 ≤ 用紙長」、「ランドスケープ」は「用紙幅 > 用紙長」の用紙がセットされていることを表します。

下表に、フィックスオリエンテーション、用紙方向、印刷の向きの設定による印刷イメージを示します。なお、用紙送り方向は上向きとします。

用紙方向 印刷の向き	ポートレート 		ランドスケープ 	
	縦 	横 	縦 	横 
無効				
ポートレート				
ランドスケープ				



2-up を指定した時やアプリケーションによっては印刷結果の「印刷の向き」が逆になる場合があります。このような場合には本オプションの「無効」、または「ランドスケープ」を指定して印刷してください。

5.6 プリンタドライバのバージョンを確認するには

プリンタドライバのバージョン情報は次の画面でご確認ください。

5.6.1 Windows Vista/Server 2008/7/Server 2008 R2/8/Server 2012 添付 PCL5 プリンタドライバ

説明に用いる画面は、Windows Vista の例です。

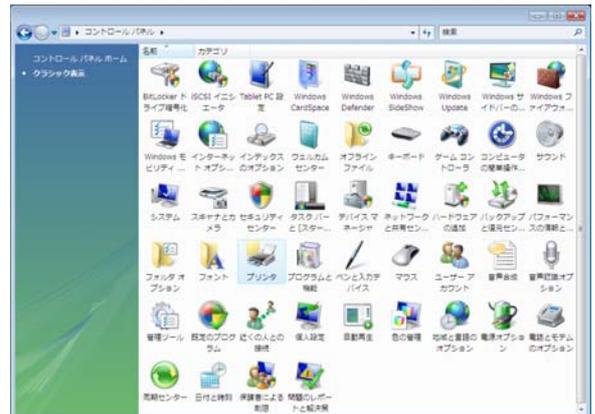
1

[スタート] → [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。



2

[プリンタ] アイコンをダブルクリックします。[プリンタ] アイコンが表示されていない場合は、画面左側のメニューから [クラシック表示] を選択してください。



Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[デバイスとプリンター] アイコンをクリックします。アイコンが表示されていない場合は、画面右上の場合は、画面右上の [表示方法] を [カテゴリ] から [大きいアイコン] か [小さいアイコン] に変更してください。してください。



Windows 8 の場合は、以下 (1) ~ (3) の手順にてコントロールパネルを開きます。

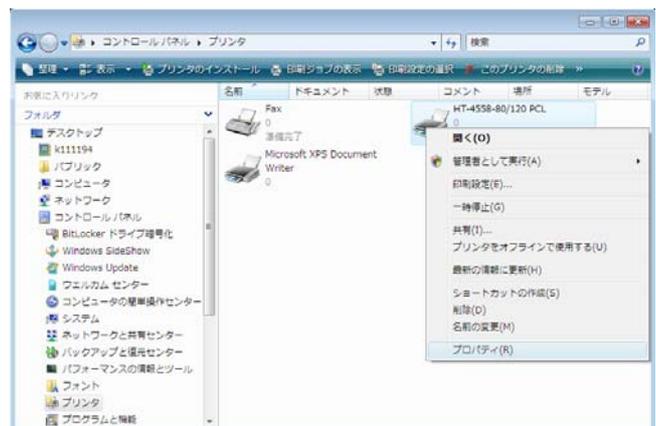
- (1) [スタート] 画面にて背景を右クリックします。
- (2) [スタート] 画面右下隅に表示される [すべてのアプリ] アイコンを選択します。
- (3) [アプリ] 画面にて [コントロールパネル] を選択します。



Windows Server 2012 の場合は、[スタート] 画面にて [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルを開きます。

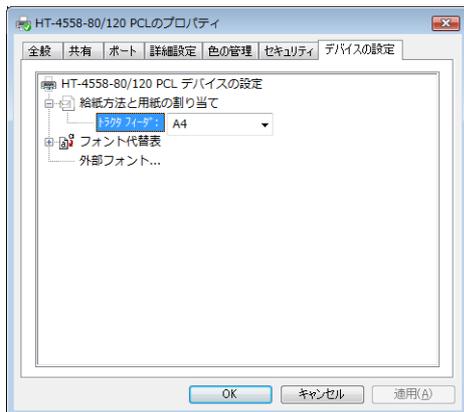
3

プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして [プロパティ] を選択します。



Windows 7/Server 2008 R2/8/Server 2012 の場合は、[プリンターのプロパティ] を選択します。同一プリンタで複数台ドライバーがインストールされている場合、プリンタアイコンは 1 つしか表示されません。[プリンターのプロパティ] を選択するとプリンタ名一覧が表示されますので、該当するプリンタを選択してください。

- 4** [デバイスの設定] タブを選択し、[...] デバイスの設定」と表示されている部分をクリックします。さらに右クリックして [バージョン情報] を選択します。



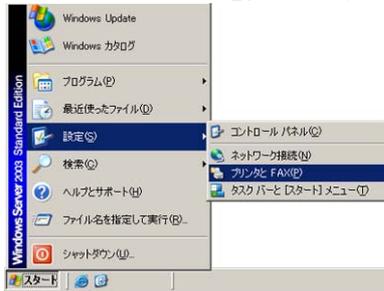
- 5** バージョン情報を確認します。



5.6.2 Windows XP/Server 2003 添付 PCL5 プリンタ ドライバ

説明に用いる画面は、Windows Server 2003 の例です。

- 1** [スタート] → [設定] → [プリンタと FAX] を選択し、プリンタと FAX を開きます。

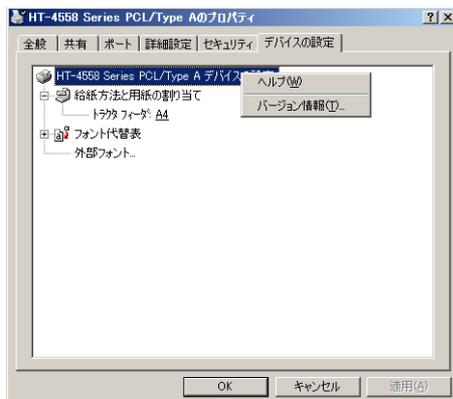


- 2** **Windows Server 2003 の場合**
プリンタアイコン上にマウスポインタを合わせます。右ボタンをクリックして[プロパティ]を選択します。

Windows XP の場合

プリンタアイコンを選択し、[プリンタのタスク] → [プリンタのプロパティの設定] をクリックします。

- 3** [デバイスの設定] タブをクリックします。さらに [... デバイスの設定] と表示されている部分を選択して、右クリックします。



- 4** [バージョン情報] を選択します。



HITACHI
Inspire the Next